2025年度前期・学生による授業認識アンケート:結果報告

全学 FD 委員会

1. 目的

履修学生の授業に対する認識を調査することで、授業の内容や方法の改善に役立てるこ とを目的として実施した。

2. 実施の対象

- (1)シラバスに記載されている開講科目(大学院の科目を除く)。但し、受講者が5名未 満の科目、オムニバス科目、専門演習科目(ゼミ)については対象外とした。
- (2) 対象科目は教員(専任・非常勤を問わず)1名につき1科目を対象とし、原則として 履修者の多い科目を対象とした。
- (3) 実施対象科目を全学 FD 委員会にて選定し、各学部学科にて精査したうえ決定とし た。

3. アンケート項目

2025年度前期の授業に関する学生の授業認識アンケートは以下の項目の通りであった。

【シラバス】

Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか?

- 2) はい(おおよそ) 知っています → O1b に
- 1) いいえ (あまりよく) 知りません \rightarrow Q1b はとばして Q2 に

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。

- 5) 強くそう思う 4) どちらかと言えばそう思う 3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない 1) まったくそう思わない

【授業の難易度】

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。

- 5) とても難しかった
- 4) やや難しかった 3) 適切だった

- 2) やや易しかった
- 1) とても易しかった

【質問対応】

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。

2) tiv, $\text{sbst} \rightarrow \text{Q4} \text{ } \text{c}$

【フィードバック】

- O4 質問に対する教員の対応は適当だったと思いますか。
- 5) 強くそう思う 4) どちらかと言えばそう思う 3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない 1) まったくそう思わない

【学生の意欲/熱意】

- Q5 あなたはこの授業に対して意欲/熱意を持って取り組んだと思いますか。
- 5) 強くそう思う 4) どちらかと言えばそう思う 3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない 1) まったくそう思わない

【教員の意欲/熱意】

- O6 教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。
- 5) 強くそう思う 4) どちらかと言えばそう思う 3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない 1) まったくそう思わない

【成長感覚】

- Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」 あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。
- 5) 強くそう思う 4) どちらかと言えばそう思う 3) どちらとも言えない
- 2) どちらかと言えばそう思わない 1) まったくそう思わない

【総合満足】

- Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「大いに満足した」を 10、「まったく満足できなかった」を1として、10 段階で最も近いと思われるものを選 んでください。
- 10) 10 9) 9 8) 8 3) 3 2) 2 1) 1

【自由記述】

- **Q9a 授業について良かった点があれば具体的に書いてください。**(授業担当教員が直接読みます)
- **Q9b 授業について困った点があれば具体的に書いてください。**(<u>授業担当教員が</u>直接読みます)。

4. 結果

4.1 対象科目数と対象人数

対象科目数は842科目、対象延べ学生数(各対象科目内の履修者数の合計)は10,830人、実際に回答した延べ学生数は23,370人であった。2023年度に重回帰分析からクロス集計へと分析方法を変更しており、今年度は前年度と結果を比較し傾向や改善点を確認することができた。2023年度と同じく、各設問の相関関係を示し、全学的な結果について分析を行った。

ただし、全学共通科目 (94 科目) を教員所属別に集計すると、学科によっては該当する 教員が 1 人となり個人が特定されることから、2024 年度後期同様に 2025 年度前期も (全 学共通科目を含む) 全科目を教員所属別に集計した。

全学共通科目のみを対象とした学生所属別の集計は、昨年度同様に実施している。今期から、人文系・社会系・自然系・保健体育系に分類し、それぞれの系別間において授業認識の相違が生じているかどうかの検証も試みた。

2025年度前期の分析も2024年度後期と同様に、平均値とその標準偏差を用いて算出した「変動係数(変異係数、あるいは変化係数ともいう)」に基づいて、アンケートの各項目における学科別の「格差」の有無について検証を行っている。変動係数は複数の変数間の相対的な格差を示す指標として用いられる。本アンケートでは複数の学科間の相対的な格差を表す。その値が高い程、相対的なバラツキが大きいことを示し、良い傾向とは言えない。なお、変動係数の数値は100分率で表している。

変動係数はローデータに基づいて算出しているため、各表の平均と標準偏差を用いて計算する値と異なる場合があるが、学科間の相対的な格差分析に問題は生じない。

なお、表の数値は小数点以下 3 桁までを記載し、本文中では下 2 桁(下 3 桁は四捨五入)で示している。前回の回答結果比較のために、(後期○○)と表記している場合は、2024 年度後期を示すものとする。

4.2 のべ回答者数と回答率

各質問項目の回答分布(学科/部局別)にある回答者数 (Q1b は 20,215 人、Q2 は 23,404 人、Q4 は 9,143 人、Q5 は 23,401 人、Q6 は 23,429 人、Q7 は 23,415 人、Q8 は 23,370 人)は、設問によって異なるが、全学平均の回答者数・回答率は、23,370 人、41.66%(昨年度後期 30.66%)であった。

学生たちの回答科目数の多さから生じる負担、教員のコメント対応の負担等を考慮し、回答率をあげることを目的として、2025 年度前期も担当科目のなかから最も履修者数の多い1科目を対象としてアンケートを実施した。1科目であっても、確実にアンケートを実施し、学生の回答から教員自身が授業方法について見直し、課題を認識し、改善に向けて取り組んでいくことが重要だと考えたからである。

2025 年度前期の回答率 (41.66%) は 2024 年度前期の 32.89%、2024 年度後期の 30.66%

と比較すると、それぞれ 8.77%、11.00%増加した。このように、回答率が大幅に増加したのは各教員がアンケート期間中、学生たちに回答するよう、意識的に強く促してくれるようになったお陰である。これからもアンケート期間中は学生たちに意識的に回答を一層促してほしい。

学科部局別の回答率とその増減は以下の表の通りである。各学科部局における回答率の増減(=2025年度前期-2024年度後期)の場合、看護学科(-3.25%)と国際交流センター(-6.10%)の以外は増加している。ただし、看護学科において、2025年度前期の回答率(63.31%)は2024年度後期(66.56%)よりも減少しているものの、全学で最も高い率を示している。

学科別の回答率と増減

	2024後期	2025前期	増減(%)
健康科学科	35.79%	57.62%	21.83%
日本語学科	30.89%	50.23%	19.34%
スポーツ科学科	26.48%	45.68%	19.20%
歴史文化学科	29.64%	48.19%	18.55%
法律学科	24.11%	40.27%	16.15%
英語学科	32.39%	47.80%	15.41%
国際関係学科	28.49%	42.52%	14.04%
中国文学科	36.21%	49.95%	13.74%
中国語学科	37.89%	50.78%	12.89%
英米文学科	39.24%	51.94%	12.70%
国際文化学科	32.10%	43.66%	11.56%
書道学科	38.00%	48.87%	10.87%
政治学科	35.81%	44.78%	8.97%
教育学科	26.05%	34.46%	8.41%
経営学科	22.39%	30.69%	8.30%
社会学科	41.69%	48.94%	7.25%
現代経済学科	19.43%	25.37%	5.94%
日本文学科	39.22%	44.33%	5.11%
社会経済学科	22.35%	26.58%	4.23%
教職課程センター	42.54%	46.27%	3.73%
看護学科	66.56%	63.31%	-3.25%
国際交流センター	47.83%	41.73%	-6.10%

学科/部局別(左)および学年別(右)回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	1,099	1,380	2,479	44.332%
中国文学科	508	509	1,017	49.951%
英米文学科	977	904	1,881	51.940%
教育学科	1,646	3,131	4,777	34.457%
書道学科	346	362	708	48.870%
歴史文化学科	825	887	1,712	<mark>4</mark> 8.189%
社会経済学科	1,179	3,257	4,436	26.578%
現代経済学科	603	1,774	2,377	25.368%
中国語学科	655	635	1,290	5 0.775%
英語学科	2,201	2,404	4,605	47.796%
日本語学科	438	434	872	5 0.229%
法律学科	2,033	3,016	5,049	40.265%
政治学科	1,282	1,581	2,863	44.778%
国際関係学科	765	1,034	1,799	42.524%
国際文化学科	623	804	1,427	43.658%
経営学科	1,917	4,330	6,247	30.687%
スポーツ科学科	1,770	2,105	3,875	45.677%
健康科学科	1,100	809	1,909	57.622%
看護学科	604	350	954	63.312%
社会学科	2,033	2,121	4,154	4 <mark>8.941%</mark>
教職課程センター	708	822	1,530	4 6.275%
国際交流センター	58	81	139	41.727%
全学	23,370	32,730	56,100	41.658%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	11,984	8,817	20,801	57.613%
2	6,790	10,334	17,124	39.652%
3	3,648	9,000	12,648	28.843%
4	908	4,537	5,445	16.676%

本アンケートは、授業に対する学生の認識を問うだけではなく、その結果に対して、教員からのコメント入力も必須となっている。授業改善のためには、学生からの指摘あるいは好評であった部分も含め、無視するわけにはいかない。学生からのアンケート回答率は徐々に上昇し、教員側のコメント入力状況も僅かに上昇が見られたとはいえ、けっして良い数値とは言えない。専任と非常勤を合わせた回答率は、56.1%、専任のみ 68.1%、非常勤のみ 49.2%であった。表にあるように、学科間の入力率の差が大きく、この点は意識的な改善が求められる(専任:中国語学科 100%、書道学科 33.3%)。中国語学科は専任 100%と大幅な改善がみられた。

その一方で、非常勤よりも専任のコメント入力率が低い学科が5学科あり(日本文学科、中国文学科、教育学科、書道学科、現代経済学科)、このうち4学科が文学部であった。 各学科においても教員に対して入力を強く促すことが必要だと思われる。

教員のアンケートへの反応の低さが、学生のアンケートへの回答意欲を低下させかねないことはいうまでもない。教員のコメント入力率を上げることは、教員自身のアンケートへの意識を高めることでもあり継続課題である。

コメント入力状況

コンフト人刀1人ル	1			
学部名	学科名	入力率	入力率	入力率
i i	3	専任、非常勤	専任のみ	非常勤のみ
文学部	日本文学科	66.0%	50.0%	72.2%
	中国文学科	88.2%	85.7%	90.0%
	英米文学科	45.2%	72.7%	39.2%
	教育学科	43.9%	41.7%	45.5%
	書道学科	45.0%	33.3%	54.5%
	歴史文化学科	53.1%	87.5%	41.7%
	文学部集計	53.4%	56.2%	52.1%
経済学部	社会経済学科	56.0%	73.3%	30.0%
	現代経済学科	58.3%	53.8%	63.6%
	経済学部集計	57.1%	64.3%	47.6%
外国語学部	中国語学科	56.3%	100.0%	40.0%
	英語学科	50.5%	78.9%	44.0%
	日本語学科	63.6%	85.7%	53.3%
	外国語学部集計	53.8%	87.2%	44.0%
法学部	法律学科	64.1%	82.4%	57.4%
	政治学科	61.5%	75.0%	52.2%
	法学部集計	63.1%	78.8%	55.7%
国際関係学部	国際関係学科	67.9%	69.2%	66.7%
	国際文化学科	63.6%	70.0%	58.3%
	国際関係学部集計	66.0%	69.6%	63.0%
経営学部	経営学科	63.8%	75.9%	44.4%
	経営学部集計	63.8%	75.9%	44.4%
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	43.8%	65.2%	24.0%
	健康科学科	41.7%	47.4%	20.0%
	看護学科	61.9%	75.0%	20.0%
スポー	ツ・健康科学部集計	47.3%	62.1%	22.9%
社会学部	社会学科	58.0%	68.2%	50.0%
	社会学部集計	58.0%	68.2%	50.0%
教職課程センター		64.5%	_	64.5%
教	 職課程センター集計	64.5%	-	64.5%
国際交流センター		37.5%	50.0%	33.3%
国	際交流センター集計	37.5%	50.0%	33.3%
全学集計		56.1%	68.1%	49.2%
		-1-		

4.3.1 【Q1a】あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。 [シラバス既知]

全学では 2「知っている」と回答したのは 79.93% (24 年度後期 80.49%) であった。2024 年度後期よりも僅かに減少している。20.07%の回答学生がシラバスを承知していないこと に留意が必要である。「知っている」と回答した比率が最も高かったのは、89.02%の書道 学科(24 年度後期 83.71%)であった。

学年別では学年が上がるにつれ、1年生を除き、2「知っている」の比率が80%を超え、高くなる傾向にある。

Q 1a 「シラバス既知」の学科/部局別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	14.364%	85.636%
中国文学科	<mark>1</mark> 9.843%	80.157%
英米文学科	<mark>1</mark> 9.450%	80.550%
教育学科	<mark>2</mark> 0.109%	79.891%
書道学科	10.983%	89.017%
歴史文化学科	<mark>1</mark> 9.471%	80.529%
社会経済学科	13.717%	86.283%
現代経済学科	15.232%	84.768%
中国語学科	<mark>2</mark> 2.358%	77.642%
英語学科	<mark>2</mark> 1.739%	78.261%
日本語学科	25.000%	75.000%
法律学科	<mark>23</mark> .171%	76.829%
政治学科	18.189%	81.811%
国際関係学科	16.969%	83.031%
国際文化学科	15.630%	84.370%
経営学科	17.898%	82.102%
スポーツ科学科	<mark>23</mark> .467%	76.533%
健康科学科	<mark>29.</mark> 012%	70.988%
看護学科	16.364%	83.636%
社会学科	<mark>2</mark> 1.944%	78.056%
教職課程センター	23.944%	76.056%
国際交流センター	1.724%	98.276%
全学	20.073%	79.927%

学年	1	2
1	23.512%	76.488%
2	15.979%	84.021%
3	18.212%	81.788%
4	13.421%	86.579%

4.3.2 【Q1b】 この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。[シラバス通り] この設問は Q1a で 2「はい (おおよそ) 知っています」と回答した学生のみが回答した。 全学の平均は 4.34 (後期 4.42) で標準偏差は 0.74 (後期 0.70) であり、この結果は 2024 年度後期と同じ傾向である。

学科で最も平均値が高かったのは書道学科で 4.57 (後期は日本語学科 4.57) であった。 標準偏差の 0.58 を加味すると、その値は 3.99 から 5.15 の幅に位置する。

学科部局別、学年別、全学の回答分布状況は、5「強くそう思う」、4「どちらかと言えばそう思う」の合計は全学89.63%(後期91.58%)であった。学生は「シラバスの記述通りに授業が行われた」と認識しており、概ね満足していると言えるだろう。

尚、全学の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が 生じているが、全体には影響を及ぼさない。

変動係数からみると、学科間の格差を確認できる。平均 16.28%に対し、係数が最も大きかったのは教育学科 21.39%(後期:17.50%)、次いで現代経済学科 18.83%(後期:15.66%)、日本語学科 18.28%(後期:14.04%)、政治学科 18.01%(後期:15.69%)、健康科学科 18.00%(後期:15.84%)、法律学科 17.35%(後期:17.16%)、社会学科 17.02%(後期:15.16%)、が 17%を超えている。2024 年度後期よりもバラツキが広がっており、留意が必要であろう。

Q 1b 「シラバス通り」の学科/部局別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	966	4.519	0.594	13.152%
中国文学科	448	4.328	0.692	15.997%
英米文学科	839	4.404	0.724	16.444%
教育学科	1,414	4.204	0.899	21.393%
書道学科	317	4.565	0.578	12.664%
歴史文化学科	708	4.355	0.699	16.054%
社会経済学科	1,079	4.342	0.704	16.214%
現代経済学科	546	4.264	0.803	18.832%
中国語学科	546	4.388	0.698	15.896%
英語学科	1,889	4.360	0.695	15.930%
日本語学科	353	4.448	0.813	18.278%
法律学科	1,711	4.271	0.741	17.353%
政治学科	1,120	4.277	0.770	18.006%
国際関係学科	678	4.417	0.701	15.862%
国際文化学科	569	4.439	0.694	15.636%
経営学科	1,689	4.308	0.729	16.927%
スポーツ科学科	1,534	4.373	0.734	16.788%
健康科学科	925	4.301	0.774	18.003%
看護学科	556	4.394	0.677	15.405%
社会学科	1,698	4.275	0.727	17.016%
教職課程センター	572	4.385	0.666	15.180%
国際交流センター	58	4.690	0.499	10.630%
全学	20,215	4.341	0.735	16.280%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	10,099	4.28	0.77	18.002%
2	6,087	4.38	0.70	15.905%
3	3,179	4.39	0.70	15.989%
4	811	4.54	0.61	13.473%

Q 1b「シラバス通り」に対する学科/部局別回答分布

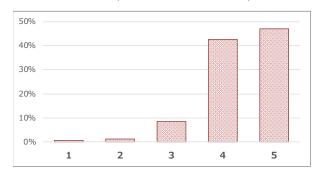
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.518%	3.623%	39.337%	56.522%
中国文学科	0.000%	1.116%	9.598%	44.643%	44.643%
英米文学科	0.834%	0.834%	6.675%	40.405%	51.251%
教育学科	2.475%	2.687%	9.406%	42.786%	42.645%
書道学科	0.000%	0.315%	3.470%	35.647%	60.568%
歴史文化学科	0.000%	1.836%	7.486%	44.068%	46.610%
社会経済学科	0.556%	0.649%	8.248%	45.134%	45.412%
現代経済学科	1.465%	2.015%	7.692%	46.337%	42.491%
中国語学科	0.366%	0.549%	8.608%	40.842%	49.634%
英語学科	0.212%	0.794%	8.947%	42.880%	47.168%
日本語学科	2.266%	0.283%	6.232%	32.861%	58.357%
法律学科	0.584%	1.110%	10.754%	45.763%	41.788%
政治学科	0.625%	1.964%	10.000%	43.929%	43.482%
国際関係学科	0.442%	0.885%	7.080%	39.676%	51.917%
国際文化学科	0.351%	1.230%	5.975%	39.016%	53.427%
経営学科	0.710%	1.243%	7.934%	46.714%	43.398%
スポーツ科学科	0.391%	0.913%	10.169%	38.070%	50.456%
健康科学科	0.541%	0.865%	13.622%	37.946%	47.027%
看護学科	0.000%	0.899%	8.273%	41.367%	49.460%
社会学科	0.530%	1.531%	8.716%	48.351%	40.872%
教職課程センター	0.175%	0.350%	8.217%	43.357%	47.902%
国際交流センター	0.000%	0.000%	1.724%	27.586%	70.690%
全学	0.618%	1.167%	8.588%	42.755%	46.871%

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.921%	1.347%	10.001%	43.826%	43.905%
2	0.329%	1.051%	7.360%	42.928%	48.333%
3	0.346%	1.070%	7.455%	41.208%	49.921%
4	0.123%	0.247%	4.809%	35.142%	59.679%

Q 1b 「シラバス通り」に対する全学の回答分布

(1「まったくそう思わない」/2「どちらかと言えばそう思わない」/3「どちらとも言えない」/4「どちらかと言えばそう思う」/5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	125	0.618%
2	236	1.167%
3	1,736	8.588%
4	8,643	42.755%
5	9,475	46.871%
合計	20,215	

4.3.3 【Q2】 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。[難易度適切]

この設問の回答は、5「とても難しかった」 \sim 1「とても易しかった」の5段階であり、数値が高いほど良いわけではない。全学の平均は3.57(24年度後期:3.53)、標準偏差は0.80(24年度後期:0.76)であった。どの学科も3「適切だった」から4「やや難しかった」の間に平均があることから、難易度は概ね適切と言えるだろう。

学科部局別と全学の回答分布状況をみると、全学では3と4の合計が82.85%であり、全体としては概ね適切ではあるものの、やや難しいと受け止めているようだ。なお、3「適切だった」が5割を超える高い数値を示したのは、高い順に国際交流センター63.79%、スポーツ科学科59.50%、教職課程センター56.06%、書道学科55.91%、日本文学科55.15%、国際文化学科53.12%、国際関係学科52.53%、日本語学科50.91%、英米文学科50.00%であった。

国際交流センターは、授業を易しいと受け止めている1と2の回答の合計値が比較的高く(10.34%)、授業を難しいと捉えている5の回答が他学科に比べて相対的に低かった(3.45%)。

学年別の平均値は、1年生3.59、2年生3.55、3年生3.56と、ほぼ同じ水準であるが、4年生は3.45と僅かに低くなり、他学年よりは授業を難しいとは捉えていない。

全学の学年別回答分布を 2024 年度後期と比較すると、1 年生から 3 年生は 3 「適切だった」が減少している(1 年生 43.05%: 後期 49.37%、2 年生 47.74%: 後期 49.34%、3 年生 49.60%: 後期 52.77%)。一方で、4 年生 59.16%(後期 52.35%)は増加している。これに連動して、5 「とても難しかった」は 1 年生 14.13%(後期 11.47%)、2 年生 11.28%(後期 10.19%)、3 年生 12.17%(後期 10.68%)と、1 年生で 2.66%、2 年生で 1.09%、3 年生で 1.49%の増加が見られた。これにより、学生の授業難易度に対する認識は 2024 年度後期に比べて、2025 年度前期の授業を難しいと捉えていることが示された。

4年生の場合、5が9.38%(後期10.50%)と、前年度後期よりも1.12%の減少がみられた。

変動係数をみると、全学平均 22.08%より高い学科が 10 学科もあり、学科間の格差を確

認できる。なかでも、スポーツ科学科 24.35% と教育学科 23.65% は相対的に高い値を示し、 学力に幅があることがわかる。今後、改善に向けた検討が必要であろう。

Q 2 「難易度適切」の学科/部局別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,097	3.467	0.690	19.918%
中国文学科	510	3.625	0.732	20.198%
英米文学科	980	3.448	0.796	23.075%
教育学科	1,646	3.542	0.838	23.646%
書道学科	347	3.455	0.658	19.032%
歴史文化学科	832	3.524	0.758	21.498%
社会経済学科	1,179	3.655	0.757	20.726%
現代経済学科	604	3.654	0.835	22.840%
中国語学科	654	3.581	0.860	24.003%
英語学科	2,204	3.545	0.807	22.771%
日本語学科	440	3.470	0.759	21.876%
法律学科	2,036	3.680	0.784	21.298%
政治学科	1,279	3.704	0.822	22.191%
国際関係学科	771	3.438	0.760	22.116%
国際文化学科	625	3.512	0.778	22.148%
経営学科	1,919	3.688	0.793	21.514%
スポーツ科学科	1,773	3.303	0.804	24.345%
健康科学科	1,102	3.757	0.828	22.030%
看護学科	606	3.749	0.788	21.006%
社会学科	2,032	3.575	0.801	22.397%
教職課程センター	710	3.432	0.678	19.749%
国際交流センター	58	3.172	0.698	22.009%
全学	23,404	3.568	0.798	22.080%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	11,996	3.59	0.83	23.240%
2	6,806	3.55	0.76	21.508%
3	3,657	3.56	0.75	21.146%
4	906	3.45	0.71	20.554%

Q 2 「難易度適切」に対する学科/部局別回答分布

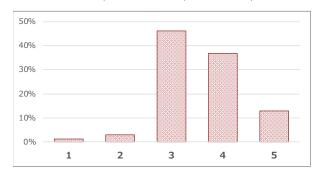
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.729%	1.732%	55.150%	34.913%	7.475%
中国文学科	0.784%	2.353%	40.784%	45.686%	10.392%
英米文学科	1.735%	4.694%	50.000%	34.184%	9.388%
教育学科	1.762%	4.010%	45.869%	34.994%	13.366%
書道学科	0.576%	1.441%	55.908%	36.023%	6.052%
歴史文化学科	0.481%	3.726%	49.760%	34.976%	11.058%
社会経済学科	0.509%	2.629%	40.967%	42.663%	13.232%
現代経済学科	1.325%	3.974%	38.245%	40.894%	15.563%
中国語学科	1.988%	4.281%	41.896%	37.309%	14.526%
英語学科	1.633%	3.494%	45.372%	37.704%	11.797%
日本語学科	1.364%	3.409%	50.909%	35.455%	8.864%
法律学科	0.737%	2.456%	40.029%	41.601%	15.177%
政治学科	0.860%	2.424%	40.500%	37.842%	18.374%
国際関係学科	1.167%	4.410%	52.529%	33.204%	8.690%
国際文化学科	0.960%	2.560%	53.120%	31.040%	12.320%
経営学科	0.782%	2.345%	40.229%	40.594%	16.050%
スポーツ科学科	2.933%	4.794%	59.504%	24.591%	8.178%
健康科学科	0.817%	1.815%	39.020%	37.568%	20.780%
看護学科	0.330%	1.650%	39.769%	39.274%	18.977%
社会学科	1.230%	3.445%	44.636%	37.992%	12.697%
教職課程センター	0.704%	2.394%	56.056%	34.648%	6.197%
国際交流センター	1.724%	8.621%	63.793%	22.414%	3.448%
全学	1.209%	3.149%	46.095%	36.759%	12.788%

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.642%	3.626%	43.048%	37.554%	14.130%
2	0.823%	3.027%	47.737%	37.129%	11.284%
3	0.574%	2.215%	49.604%	35.439%	12.168%
4	0.662%	1.435%	59.161%	29.360%	9.382%

Q 2 「難易度適切」に対する全学の回答分布

(1「とても易しかった」/2「やや易しかった」/3「適切だった」/4「やや難しかった」/5「とても難しかった」)



回答	回答者数	割合
1	283	1.209%
2	737	3.149%
3	10,788	46.095%
4	8,603	36.759%
5	2,993	12.788%
合計	23,404	

4.3.4 【Q3】 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。 [質問対応]

全学で「2 はい、あります」と回答したのは 17.16% (2024 年度後期 19.54%) と低い比率であり、2024 年度後期より 2.38%減少する結果となった。

2024 年度後期において、「1 いいえ、したことがありません」と回答したのは全学で80.46%と高い比率を示していた。2025 年度前期82.84%は、2024年度後期よりも2.38%増加しており、依然として授業における学生の消極的な様子がみてとれる。

「2 はい、あります」については、11 学科が全学平均値(17.16%)未満であり、社会経済学科の7.70%は他学科に比べても相対的に低かった。

「2 はい、あります」と回答した学生を学年別の比率でみても、全学で 1 年生 17.86%、2 年生 15.07%、3 年生 17.33%、4 年生 22.06%となり、2 年生は平均値を下回っているが、4 年生は 20%を超え、他学年よりも積極性が見られる結果となった。

Q3「質問対応」の学科/部局別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	84.475%	15.525%
中国文学科	80.512%	19.488%
英米文学科	74.404%	<mark>25</mark> .596%
教育学科	84.217%	15.783%
書道学科	65.318%	<mark>34.6</mark> 82%
歴史文化学科	83.575%	16.425%
社会経済学科	92.301%	7.699%
現代経済学科	88.552%	11.448%
中国語学科	72.798%	<mark>27</mark> .202%
英語学科	73.303%	<mark>26</mark> .697%
日本語学科	77.880%	<mark>2</mark> 2.120%
法律学科	88.229%	11.771%
政治学科	81.408%	18.592%
国際関係学科	78.403%	<mark>2</mark> 1.597%
国際文化学科	80.515%	19.485%
経営学科	87.447%	12.553%
スポーツ科学科	86.087%	13.913%
健康科学科	80.731%	19.269%
看護学科	85.786%	14.214%
社会学科	86.991%	13.009%
教職課程センター	84.463%	15.537%
国際交流センター	50.877%	49.123%
全学	82.841%	17.159%

学年	1	2		
1	82.137%	17.863%		
2	84.935%	15.065%		
3	82.670%	17.330%		
4	77.938%	<mark>2</mark> 2.062%		

4.3.5 【Q4】質問に対する教員の対応は適当だったと思いますか。[フィードバック]

この設問は、Q3で「授業に関連して質問したことがある」と回答した学生のみが回答した。全学の平均は4.10(後期は4.22)、標準偏差は0.97(後期は0.94)となり、2024年度後期に比べて僅かながら低下している。とはいえ、4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の間にあることから、対応は迅速であったと認識されていると言える。

学科部局別回答分布の全学をみると、4 と 5 の合計は 71.28%と 7 割を超えているが、 2024 年度後期の 4、5 の合計 75.05%と比較すると、3.77%減少している。

2024年度後期は、1「まったくそう思わない」1.60%と2「どちらかといえばそう思わない」1.47%の合計が3.08%であった。2025年度前期の1と2の合計は3.83%で微増した。この結果から、質問に対する教員対応が前年度の後期に比べて、僅かではあるが改善したと言える。

学科別では 2024 年度の後期と同様、書道学科(平均 4.55、標準偏差 0.75) が最も高かった (2024 年度後期: 平均 4.56、標準偏差 0.85)。部局では国際交流センターが平均 4.60、

標準偏差 0.68 であった(後期:平均 4.47、標準偏差 0.85)。

学年別では、全学の平均は1年生4.06 (標準偏差1.01)、2年生4.09(標準偏差0.93)、3年生4.20(標準偏差0.92)、4年生4.31 (標準偏差0.93)を示し、学年が上がるに連れて増加している。4年生の数値は他学年に比べて相対的に高い。

変動係数の平均値は23.22%であった。12 学科がこの平均値を超え、他学科に比べて相対的に高い数値を示している。これはバラツキが大きく生じていることから、良い傾向とは言えない。最も高いのは現代経済学科で27.10%であり、最も低い書道学科16.39%と、10.71%の格差が生じており、学科間の大きな格差が確認された。

学科部局別回答分布の「5 強くそう思う」の評価は、2024 年度後期に比べ、歴史文化学科と中国語学科の2学科以外は低下している。

Q4「フィードバック」の学科/部局別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	350	4.297	0.877	20.405%
中国文学科	207	4.174	0.927	22.201%
英米文学科	455	4.176	0.990	23.708%
教育学科	615	4.049	0.975	24.079%
書道学科	176	4.545	0.745	16.386%
歴史文化学科	273	4.139	0.903	21.821%
社会経済学科	406	3.783	0.996	26.332%
現代経済学科	205	3.854	1.044	27.102%
中国語学科	298	4.221	0.965	22.854%
英語学科	1,046	4.292	0.857	19.967%
日本語学科	168	4.256	1.006	23.636%
法律学科	694	3.967	1.016	25.610%
政治学科	545	4.029	1.008	25.011%
国際関係学科	339	4.183	0.963	23.033%
国際文化学科	272	4.147	0.947	22.844%
経営学科	759	3.872	1.000	25.818%
スポーツ科学科	726	4.072	0.965	23.704%
健康科学科	453	4.110	0.966	23.495%
看護学科	242	4.070	1.036	25.456%
社会学科	666	4.014	0.987	24.593%
教職課程センター	203	4.296	0.889	20.685%
国際交流センター	45	4.600	0.680	14.780%
全学	9,143	4.098	0.973	23.220%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	4,820	4.056	1.007	24.817%
2	2,601	4.090	0.934	22.838%
3	1,325	4.201	0.920	21.892%
4	376	4.309	0.926	21.486%

Q 4 「フィードバック」に対する学科/部局別回答分布

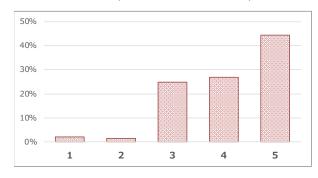
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.571%	0.857%	22.000%	21.429%	55.143%
中国文学科	1.449%	1.932%	21.256%	28.502%	46.860%
英米文学科	2.857%	1.538%	20.000%	26.374%	49.231%
教育学科	2.276%	1.951%	25.691%	28.780%	41.301%
書道学科	0.000%	1.136%	11.932%	18.182%	68.750%
歴史文化学科	0.733%	1.099%	27.106%	25.641%	45.421%
社会経済学科	2.956%	1.478%	40.640%	24.138%	30.788%
現代経済学科	4.878%	0.488%	32.195%	29.268%	33.171%
中国語学科	2.349%	1.342%	19.799%	24.832%	51.678%
英語学科	1.052%	1.243%	16.348%	30.210%	51.147%
日本語学科	2.976%	1.190%	19.643%	19.643%	56.548%
法律学科	2.882%	2.305%	29.107%	26.657%	39.049%
政治学科	3.119%	2.202%	24.037%	29.908%	40.734%
国際関係学科	2.360%	1.770%	19.469%	28.024%	48.378%
国際文化学科	2.206%	1.838%	19.853%	31.250%	44.853%
経営学科	2.767%	2.372%	33.465%	27.668%	33.729%
スポーツ科学科	1.653%	1.102%	30.028%	22.865%	44.353%
健康科学科	1.545%	1.987%	26.490%	23.841%	46.137%
看護学科	4.132%	0.826%	23.140%	27.686%	44.215%
社会学科	2.402%	2.553%	25.976%	29.429%	39.640%
教職課程センター	1.478%	0.493%	18.719%	25.616%	53.695%
国際交流センター	0.000%	0.000%	11.111%	17.778%	71.111%
全学	2.177%	1.652%	24.893%	26.786%	44.493%

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.925%	1.992%	24.481%	27.718%	42.884%
2	1.307%	1.192%	28.105%	25.952%	43.445%
3	1.358%	1.509%	21.585%	26.792%	48.755%
4	1.596%	1.064%	19.415%	20.745%	57.181%

Q4「フィードバック」に対する全学の回答分布

(1「まったくそう思わない」/2「どちらかと言えばそう思わない」/3「どちらとも言えない」/4「どちらかと言えばそう思う」/5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	199	2.177%
2	151	1.652%
3	2,276	24.893%
4	2,449	26.786%
5	4,068	44.493%
合計	9,143	

4.3.6【Q5】あなたはこの授業に対して意欲/熱意を持って取り組んだと思いますか。 [学生意欲]

この設問に対する全学の平均は 4.08 (後期:4.13)、標準偏差 0.81 (後期:0.79) であり、 後期に比べてやや低い数値であった。学科別では後期と同様、書道学科 4.44 (標準偏差 0.71) が最も高かった (後期:平均値 4.43、標準偏差 0.73)。学科による平均値の幅(書道学科: 最大値 4.44 – 現代経済学科:最小値 3.94)は 0.50 で小さくはない。部局の平均値では、国際交流センターが 4.45 (標準偏差 0.65) と高かった (後期:教職課程センター平均 4.26、標準偏差 0.70)。

学科部局別の回答分布をみても、4「どちらかと言えばそう思う」49.03%、5「強くそう思う」31.81%と、4 と 5 の合計 80.84%と 8 割を超えており、学生は意欲をもって授業に取り組んだと言えるだろう。

学年別の平均では、全学年で 4.0 以上であり、4 年生 4.13 (標準偏差 0.72) が最も高い数値を表している。

変動係数から授業参加への意欲や熱意に対する学生自身の認識をみると、平均 19.96%に対し、書道学科 16.02%、スポーツ科学科 17.12%、国際関係学科 17.82%と低い値を示し、バラツキは少ない。

一方で、平均を超えバラツキの大きさを示したのは、現代経済学科 22.02%、社会学科 21.59%、経営学科 21.39%、健康科学科 21.39%、教育学科 20.71%、社会経済学科 20.59%、日本語学科 20.53%、法律学科 20.30%、英語学科 20.13%、中国文学科 19.99%の 10 学科がであった。なお、現代経済学科 22.02%に対して、国際交流センター14.57%と、最大で 7.45% の格差が生じている。

Q 5 「学生意欲」の学科/部局別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,100	4.183	0.772	18.467%
中国文学科	509	4.016	0.803	19.986%
英米文学科	980	4.140	0.781	18.867%
教育学科	1,649	4.043	0.837	20.708%
書道学科	347	4.438	0.711	16.021%
歴史文化学科	833	4.034	0.777	19.266%
社会経済学科	1,179	3.952	0.814	20.586%
現代経済学科	603	3.945	0.869	22.022%
中国語学科	653	4.165	0.796	19.119%
英語学科	2,203	4.128	0.831	20.132%
日本語学科	439	4.062	0.834	20.534%
法律学科	2,036	4.012	0.814	20.295%
政治学科	1,279	4.068	0.770	18.938%
国際関係学科	771	4.166	0.742	17.816%
国際文化学科	627	4.112	0.809	19.672%
経営学科	1,919	3.971	0.849	21.390%
スポーツ科学科	1,772	4.308	0.737	17.118%
健康科学科	1,098	4.036	0.851	21.075%
看護学科	606	4.183	0.754	18.028%
社会学科	2,031	3.937	0.850	21.594%
教職課程センター	709	4.114	0.751	18.251%
国際交流センター	58	4.448	0.648	14.565%
全学	23,401	4.079	0.814	19.959%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	11,993	4.055	0.846	20.861%
2	6,809	4.097	0.788	19.234%
3	3,654	4.108	0.775	18.857%
4	907	4.131	0.724	17.524%

Q 5 「自分意欲」に対する学科/部局別回答分布

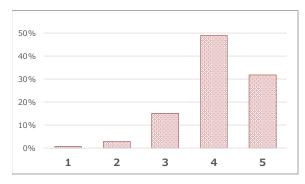
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.727%	1.909%	12.273%	48.545%	36.545%
中国文学科	0.786%	2.554%	19.057%	49.509%	28.094%
英米文学科	0.816%	1.735%	14.388%	48.776%	34.286%
教育学科	1.213%	3.032%	16.616%	48.514%	30.625%
書道学科	0.288%	1.729%	6.052%	37.752%	54.179%
歴史文化学科	0.600%	3.361%	14.886%	54.382%	26.771%
社会経済学科	1.018%	3.902%	17.812%	53.435%	23.834%
現代経済学科	1.493%	5.638%	14.760%	53.068%	25.041%
中国語学科	0.919%	1.531%	14.701%	45.789%	37.060%
英語学科	1.089%	3.132%	13.028%	47.435%	35.315%
日本語学科	1.139%	3.189%	15.490%	48.747%	31.435%
法律学科	0.884%	3.389%	17.092%	50.933%	27.701%
政治学科	0.782%	2.267%	15.012%	53.245%	28.694%
国際関係学科	0.649%	1.297%	12.840%	51.232%	33.982%
国際文化学科	0.319%	3.349%	15.789%	45.933%	34.609%
経営学科	1.042%	3.960%	19.437%	47.994%	27.566%
スポーツ科学科	0.226%	1.411%	10.948%	42.156%	45.260%
健康科学科	0.911%	3.005%	19.945%	43.807%	32.332%
看護学科	0.165%	1.980%	14.026%	47.030%	36.799%
社会学科	1.526%	4.530%	16.741%	53.127%	24.077%
教職課程センター	0.282%	3.103%	12.130%	53.879%	30.606%
国際交流センター	0.000%	0.000%	8.621%	37.931%	53.448%
全学	0.876%	2.979%	15.307%	49.032%	31.806%

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.134%	3.444%	16.043%	47.536%	31.844%
2	0.558%	2.893%	14.642%	50.110%	31.796%
3	0.794%	2.053%	14.258%	51.314%	31.582%
4	0.221%	1.323%	15.215%	51.599%	31.643%

Q 5 「学生意欲」に対する全学の回答分布

(1「まったくそう思わない」/ 2「どちらかと言えばそう思わない」/ 3「どちらとも言えない」/ 4「どちらかと言えばそう思う」/ 5「強くそう思う」



回答	回答者数	割合
1	205	0.876%
2	697	2.979%
3	3,582	15.307%
4	11,474	49.032%
5	7,443	31.806%
合計	23,401	

4.3.7【Q6】教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。[教員熱意]

この設問に対する全学の平均 4.49 (標準偏差 0.73) は、2024 年度後期の平均 4.55 (標準偏差 0.68) に比べてわずかに減少しているが、ほぼ後期並みと言える。この平均値は、4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の中間点である。学科部局別回答分布の全学平均値をみても、5 が 59.87%、4 が 31.65%であった。4 と 5 の合計が 91.52%という高い数値を示しており、満足してよい結果であると言える。学科部局別の回答分布においても、法律学科 89.44%、健康科学科 89.00%、社会経済学科 88.83%、現代経済学科 88.58%、経営学科 86.30%の 5 学科以外は 90%以上の高い値を示していた。

学科別の平均をみると、2024 年度後期に続き、書道学科が 4.69 (標準偏差 0.63)と最も高かった (後期:平均 4.69、標準偏差 0.63)。部局では国際交流センターの平均が 4.86 (標準偏差 0.43) と高かった (後期:平均 4.86、標準偏差 0.43)。

学年別の平均は 4.5 以上の高い数値を示しており、4 年生の数値が最も高い(全学 4.62)。 変動係数からみると、学科間の格差は生じているものの、各質問項目のなかでは最も低い値である。とはいえ、全学平均 15.73%に対し、経営学科 19.24%、現代経済学科 19.02%、社会経済学科 17.88%、法律学科 17.50%、国際文化学科 17.05%、教育学科 16.95%、健康科学科 16.73%、日本語学科 16.64%、政治学科 16.63%、社会学科 15.83%と平均を超えており、学科間の格差が確認された。

Q6「教員熱意」の学科/部局別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,100	4.666	0.579	12.404%
中国文学科	510	4.559	0.626	13.727%
英米文学科	982	4.553	0.703	15.432%
教育学科	1,650	4.464	0.757	16.948%
書道学科	347	4.689	0.627	13.371%
歴史文化学科	832	4.519	0.698	15.452%
社会経済学科	1,182	4.400	0.787	17.881%
現代経済学科	604	4.338	0.825	19.019%
中国語学科	654	4.529	0.687	15.176%
英語学科	2,206	4.534	0.694	15.308%
日本語学科	440	4.566	0.760	16.643%
法律学科	2,036	4.420	0.773	17.498%
政治学科	1,281	4.457	0.741	16.632%
国際関係学科	772	4.570	0.637	13.938%
国際文化学科	627	4.498	0.767	17.051%
経営学科	1,920	4.302	0.828	19.235%
スポーツ科学科	1,775	4.558	0.665	14.580%
健康科学科	1,100	4.455	0.745	16.725%
看護学科	606	4.480	0.662	14.767%
社会学科	2,036	4.490	0.711	15.831%
教職課程センター	711	4.584	0.613	13.363%
国際交流センター	58	4.862	0.433	8.915%
全学	23,429	4.489	0.727	15.730%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	12,008	4.446	0.769	17.304%
2	6,816	4.515	0.689	15.256%
3	3,658	4.548	0.663	14.571%
4	908	4.623	0.641	13.866%

Q 6 「教員熱意」に対する学科/部局別回答分布

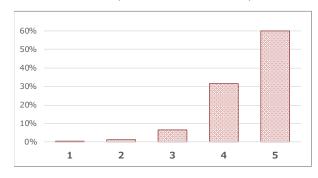
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.182%	0.636%	2.636%	25.455%	71.091%
中国文学科	0.000%	0.196%	6.667%	30.196%	62.941%
英米文学科	0.611%	1.120%	5.295%	28.310%	64.664%
教育学科	0.788%	1.697%	6.364%	32.667%	58.485%
書道学科	0.576%	0.865%	2.882%	20.461%	75.216%
歴史文化学科	0.361%	1.322%	5.769%	31.130%	61.418%
社会経済学科	0.846%	1.777%	8.545%	34.179%	54.653%
現代経済学科	1.490%	1.987%	7.947%	38.411%	50.166%
中国語学科	0.459%	1.070%	5.199%	31.651%	61.621%
英語学科	0.453%	0.952%	6.074%	29.737%	62.783%
日本語学科	1.591%	0.909%	4.318%	25.682%	67.500%
法律学科	0.688%	1.866%	8.006%	33.595%	55.845%
政治学科	0.546%	1.327%	7.806%	32.553%	57.767%
国際関係学科	0.130%	0.648%	5.311%	29.922%	63.990%
国際文化学科	1.116%	1.276%	6.380%	29.187%	62.041%
経営学科	1.042%	2.396%	10.260%	37.917%	48.385%
スポーツ科学科	0.169%	0.732%	6.535%	28.282%	64.282%
健康科学科	0.364%	1.273%	9.364%	30.455%	58.545%
看護学科	0.165%	0.990%	5.446%	37.459%	55.941%
社会学科	0.589%	1.277%	5.403%	33.988%	58.743%
教職課程センター	0.141%	0.422%	4.501%	30.802%	64.135%
国際交流センター	0.000%	0.000%	3.448%	6.897%	89.655%
全学	0.576%	1.289%	6.620%	31.649%	59.866%

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.816%	1.599%	7.545%	32.253%	57.786%
2	0.352%	1.056%	5.957%	31.969%	
3	0.328%	0.847%	5.057%	31.274%	62.493%
4	0.110%	0.771%	5.837%	23.238%	70.044%

Q6「教員熱意」に対する全学の回答分布

(1「まったくそう思わない」/2「どちらかと言えばそう思わない」/3「どちらとも言えない」/4「どちらかと言えばそう思う」/5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	135	0.576%
2	302	1.289%
3	1,551	6.620%
4	7,415	31.649%
5	14,026	59.866%
合計	23,429	

4.3.8【Q7】 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。[成長感覚]

この設問に対する全学の平均は 4.26(標準偏差 0.81)であり、後期(平均 4.35、標準偏差 0.76)とほぼ同じ数値であった。全体としてはまずまずの結果と言える。学科別の平均は前年度と同じく、書道学科が 4.55(標準偏差 0.68)と最も高く(後期:平均 4.62、標準偏差 0.63)、部局では国際交流センターが平均 4.62(標準偏差 0.67)であった(後期:教職課程センター平均 4.51、標準偏差 0.68)。

学科部局別および全学の回答分布をみると、4「どちらかと言えばそう思う」42.90%、5「強くそう思う」43.85%である。両方の合計 86.75%は、2024 年度後期(89.81%)に比べると減少しており、成長感覚が低下(3.06%)している。ちなみに、4よりも5の割合が高かった学科は、高い順に書道学科62.72%、日本文学科56.19%、中国語学科52.99%、スポーツ科学科51.44%、国際関係学科50.00%、国際文化学科47.21%、英語学科46.85%、看護学科46.53%、英米文学科43.83%、教育学科43.00%の10学科であった。なかでも、書道学科は6割を超えており、技術の習得が成長感覚をもたらしていると考えられる。部局では、教職課程センターも国際交流センターも5の割合が高く、教職課程センター47.61%、国際交流センター70.69%であった。

学年別の回答分布を見ると、5「強くそう思う」の割合が最も高いのは 4 年生 53.41%で 5 割を超える数値であった。

成長感覚を変動係数からみると、次の 13 学科が全学平均の 18.02%を超えていた。現代経済学科 21.28%、経営学科 21.11%、社会学科 20.61%、日本語学科 20.27%、社会経済学科 20.05%、法律学科 19.97%、教育学科 19.78%、健康科学科 19.55%、英米文学科 18.98%、政治学科 18.87%、中国語学科 18.57%、英語学科 18.46%、国際文化学科 18.35%であり、他学科に比べて相対的にバラツキが大きかった。書道学科の変動係数は 14.85%と、バラツキが他学科に比べて最も小さかった。

Q7「成長感覚」の学科/部局別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,098	4.478	0.682	15.219%
中国文学科	510	4.263	0.731	17.157%
英米文学科	981	4.264	0.809	18.981%
教育学科	1,649	4.227	0.836	19.785%
書道学科	346	4.546	0.675	14.853%
歴史文化学科	831	4.301	0.753	17.501%
社会経済学科	1,178	4.135	0.829	20.048%
現代経済学科	602	4.143	0.881	21.276%
中国語学科	653	4.380	0.813	18.567%
英語学科	2,205	4.311	0.796	18.460%
日本語学科	440	4.186	0.848	20.266%
法律学科	2,037	4.206	0.840	19.969%
政治学科	1,281	4.257	0.803	18.870%
国際関係学科	772	4.389	0.719	16.390%
国際文化学科	627	4.309	0.791	18.348%
経営学科	1,917	4.106	0.867	21.105%
スポーツ科学科	1,775	4.398	0.710	16.148%
健康科学科	1,103	4.225	0.826	19.547%
看護学科	606	4.312	0.767	17.777%
社会学科	2,036	4.139	0.853	20.608%
教職課程センター	710	4.368	0.707	16.191%
国際交流センター	58	4.621	0.665	14.394%
全学	23,415	4.263	0.807	18.020%

学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
1	12,004	4.198	0.845	20.122%
2	6,810	4.313	0.773	17.920%
3	3,653	4.338	0.748	17.250%
4	908	4.427	0.704	15.905%

Q 7 「成長感覚」に対する学科/部局別回答分布

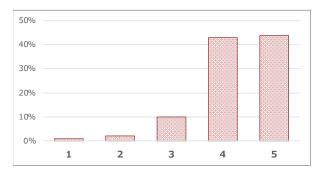
学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.455%	1.002%	5.009%	37.341%	56.193%
中国文学科	0.196%	0.980%	12.941%	44.118%	41.765%
英米文学科	0.917%	2.854%	8.970%	43.425%	43.833%
教育学科	1.031%	2.790%	11.643%	41.540%	42.996%
書道学科	0.578%	0.578%	5.202%	30.925%	62.717%
歴史文化学科	0.722%	1.444%	9.146%	44.404%	44.284%
社会経済学科	1.273%	2.801%	12.479%	48.048%	35.399%
現代経済学科	1.993%	3.654%	9.801%	47.176%	37.375%
中国語学科	1.378%	2.144%	6.585%	36.907%	52.986%
英語学科	1.088%	1.950%	8.571%	41.542%	46.848%
日本語学科	1.818%	1.591%	12.727%	43.864%	40.000%
法律学科	1.424%	2.356%	11.487%	43.692%	41.041%
政治学科	1.093%	2.264%	9.368%	44.418%	42.857%
国際関係学科	0.648%	0.907%	7.383%	41.062%	50.000%
国際文化学科	0.638%	2.392%	9.569%	40.191%	47.209%
経営学科	1.669%	3.652%	11.841%	48.096%	34.742%
スポーツ科学科	0.225%	0.901%	9.183%	38.254%	51.437%
健康科学科	0.997%	2.267%	12.602%	41.523%	42.611%
看護学科	0.660%	1.320%	10.726%	40.759%	46.535%
社会学科	1.670%	2.898%	11.690%	47.397%	36.346%
教職課程センター	0.423%	1.268%	7.042%	43.662%	47.606%
国際交流センター	0.000%	1.724%	5.172%	22.414%	70.690%
全学	1.059%	2.178%	10.015%	42.896%	43.852%

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.325%	2.716%	11.638%	43.436%	40.886%
2	0.837%	1.703%	8.987%	42.305%	46.167%
3	0.821%	1.533%	7.282%	43.717%	46.647%
4	0.220%	1.211%	7.599%	37.555%	53.414%

Q 7 「成長感覚」に対する全学の回答分布

(1「まったくそう思わない」/2「どちらかと言えばそう思わない」/3「どちらとも言えない」/4「どちらかと言えばそう思う」/5「強くそう思う」)



回答	回答者数	割合
1	248	1.059%
2	510	2.178%
3	2,345	10.015%
4	10,044	42.896%
5	10,268	43.852%
合計	23,415	

4.3.9【Q8】 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「大いに満足した」を10、「まったく満足できなかった」を1として、10段階で最も近いと思われるものを選んでください。[総合満足]

包括的な設問(総合満足)であるQ8の結果をみると、全学の平均は8.12(標準偏差 1.82)であり、8を超えているので「合格点」と言えるのではないだろうか。その平均値が 2024年度後期(平均8.35、標準偏差1.69)に比べ下がっており、僅かながら「総合満足」が 低下している。改善策の検討が必要であると考えられる。

学科別の平均では、その値が最も高かった学科は2024年度後期(平均8.97、標準偏差 1.64)と同じく、書道学科であり、8.91(標準偏差1.39)であった。部局の平均は国際交 流センターが高く、9.07 (標準偏差1.11)であった(後期:平均8.69、標準偏差1.64)。

学科部局別および全学の回答分布をみると、8が23.06%(後期23.01%)、9が19.28%(後期21.25%)、10が28.10%(後期31.44%)である。8から10の合計は70.44%(後期75.70%)となり、全体の7割以上を占めているが、2024年度後期の結果と比較すると、5.26%の減少がみられ、「総合満足」が低下している。それでも回答分布の最頻値が10であることから、全体としてはまずまずの結果と考えることができるだろう。

学科別では、10が全学平均値の28.10%を超えるのは、書道学科48.27%、日本文学科36.40%、スポーツ科学科36.22%、中国語学科35.12%、国際文化学科34.35%、日本語学科32.19%、国際関係学科32.16%、英米文学科32.04%、英語学科29.90%、看護学28.97%、の10学科であった。8から10の合計が80%を超えている学科は書道学科85.26%と日本文学科80.98%のみで、この2学科は概して満足度が高い。

部局では、10の割合は教職課程センター29.94%、国際交流センター51.72%を示し、全学の平均値(28.10%)を上回っている。8から10の合計は教職課程センター75.28%、国際交流センター93.10%であった。

学年別では4年生が10の割合が高く、これは例年同様の傾向である。ただし、1と2の数値については注意が必要であろう。1の割合を学年別にみると、4年生以外は2より1のほうが高い。さらに、1と2の合計値をみると、学年が上がるに連れて低くなる。これは学年

ごとに総合満足度に対する認識の違いが存在するということで留意が必要である。

変動係数の平均値から総合満足度をみると、2024年度後期と同様に Q2 と Q4 を除けば、他の質問項目に比べて相対的に高い数値を示しており(つまり、バラツキが大きい)、良い傾向とは言えない。変動係数の変動幅 14.17%(=最大値一最小値)も、質問項目のなかでは最も大きい値を示した。これは総合満足度に対する学生認識が、学科間で大きな格差を生じていることを意味する。数値が最も低い学科は書道学科 15.60%、次いでスポーツ科学科16.66%、日本文学科 17.50%であった。これ以外は 20%以上となる。経営学科は 26.43%で最も高く、書道学科との差が 10.83%であった。次いで高い値を示したのが、法律学科25.33%、現代経済学科 24.64%、社会学科23.66%、健康科学科23.47%、日本語学科23.42%、教育学科23.10%であった。

Q8「総合満足」の学科/部局別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	1,099	8.606	1.506	17.499%
中国文学科	508	8.234	1.701	20.653%
英米文学科	977	8.248	1.824	22.121%
教育学科	1,646	8.002	1.848	23.098%
書道学科	346	8.910	1.390	15.596%
歴史文化学科	825	8.063	1.771	21.969%
社会経済学科	1,179	7.958	1.819	22.856%
現代経済学科	603	7.851	1.934	24.641%
中国語学科	655	8.313	1.834	22.060%
英語学科	2,201	8.219	1.775	21.593%
日本語学科	438	8.194	1.919	23.416%
法律学科	2,033	7.904	2.002	25.328%
政治学科	1,282	8.063	1.835	22.761%
国際関係学科	765	8.387	1.679	20.023%
国際文化学科	623	8.310	1.806	21.729%
経営学科	1,917	7.709	2.038	26.430%
スポーツ科学科	1,770	8.601	1.433	16.665%
健康科学科	1,100	7.966	1.869	23.465%
看護学科	604	8.094	1.696	20.954%
社会学科	2,033	7.824	1.851	23.664%
教職課程センター	708	8.346	1.584	18.978%
国際交流センター	58	9.069	1.112	12.262%
全学	23,370	8.123	1.821	21.730%

	学年	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
	1	11,984	7.953	1.913	24.048%
Ī	2	6,790	8.238	1.732	21.023%
Ī	3	3,648	8.340	1.690	20.269%
	4	908	8.594	1.473	17.136%

Q8「総合満足」に対する学科/部局別回答分布

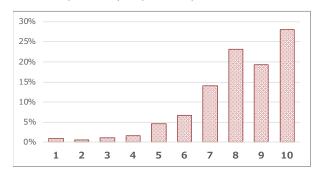
学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.364%	0.273%	0.364%	0.637%	2.093%	4.732%	10.555%	21.929%	22.657%	36.397%
中国文学科	0.787%	0.197%	0.787%	1.378%	4.921%	5.512%	11.220%	25.197%	23.425%	26.575%
英米文学科	1.024%	0.614%	1.228%	0.819%	4.299%	6.039%	12.999%	22.006%	18.936%	32.037%
教育学科	1.033%	0.668%	1.276%	1.580%	4.860%	7.776%	15.188%	23.329%	19.137%	25.152%
書道学科	0.289%	0.000%	0.289%	0.289%	2.312%	1.734%	9.827%	17.630%	19.364%	48.266%
歴史文化学科	0.364%	0.606%	1.455%	2.182%	3.636%	8.606%	13.939%	24.485%	18.909%	25.818%
社会経済学科	1.103%	0.763%	1.103%	1.781%	4.580%	6.531%	16.455%	26.463%	18.405%	22.816%
現代経済学科	0.829%	1.161%	2.156%	2.156%	5.473%	7.794%	14.760%	24.876%	17.579%	23.217%
中国語学科	0.916%	0.458%	0.763%	1.832%	4.580%	5.954%	11.908%	19.542%	18.931%	35.115%
英語学科	0.772%	0.409%	1.136%	1.590%	3.862%	6.270%	13.903%	22.126%	20.036%	29.896%
日本語学科	2.055%	0.913%	0.228%	0.457%	5.251%	4.566%	14.155%	23.288%	16.895%	32.192%
法律学科	1.918%	0.935%	1.279%	2.115%	5.017%	7.329%	14.953%	22.479%	19.036%	24.939%
政治学科	1.014%	0.312%	1.482%	1.950%	5.148%	5.850%	14.587%	23.167%	20.749%	25.741%
国際関係学科	0.392%	0.523%	1.046%	1.176%	4.052%	4.052%	11.111%	23.922%	21.569%	32.157%
国際文化学科	0.321%	0.803%	1.124%	2.568%	4.013%	4.976%	10.594%	23.435%	17.817%	34.350%
経営学科	1.878%	0.939%	2.087%	2.191%	5.790%	10.016%	14.397%	23.631%	17.423%	21.648%
スポーツ科学科	0.000%	0.169%	0.226%	0.508%	2.712%	4.689%	12.147%	21.808%	21.525%	36.215%
健康科学科	0.818%	0.273%	1.273%	1.727%	8.182%	6.818%	15.455%	21.000%	18.000%	26.455%
看護学科	0.000%	0.166%	1.159%	1.159%	5.795%	8.444%	18.046%	21.026%	15.232%	28.974%
社会学科	0.885%	0.738%	1.279%	2.755%	5.706%	7.427%	17.314%	25.086%	17.905%	20.905%
教職課程センター	0.282%	0.282%	0.847%	0.424%	3.390%	6.780%	12.712%	24.576%	20.763%	29.944%
国際交流センター	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	3.448%	3.448%	27.586%	13.793%	51.724%
全学	0.903%	0.565%	1.147%	1.622%	4.626%	6.645%	14.052%	23.064%	19.281%	28.096%

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1.135%	0.676%	1.427%	2.078%	5.774%		14.795%			
2	0.722%					6.406%	13.697%	23.697%	19.882%	29.381%
3	0.685%						12.911%			
4	0.110%	0.330%	0.330%	0.441%	2.533%	4.515%	11.784%	22.467%	21.035%	36.454%

Q8「総合満足」に対する全学の回答分布

(1[10%] / 2[20%] / ··· / 9[90%] / 10[100%])



回答	回答者数	割合		
1	211	0.903%		
2	132	0.565%		
3	268	1.147%		
4	379	1.622%		
5	1,081	4.626%		
6	1,553	6.645%		
7	3,284	14.052%		
8	5,390	23.064%		
9	4,506	19.281%		
10	6,566	28.096%		
合計	23,370			

4.4.1【クロス表に関する結果(全学)】

当該クロス表(表 1、表 2)では、それぞれの行でもっとも高い数値を赤字で示している。また、右端の列(4+5)に 4「どちらかと言えばそう思う」と 5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、「教員熱意」が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。右端の列の数字 $(44\rightarrow 100\rightarrow 462\rightarrow 5551\rightarrow 12753)$ から、「教員熱意」が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

パーセントを示した表 2 からも、「教員熱意」と「学生意欲(自分意欲)」とのクロスチェック数値(赤字: $53 \rightarrow 79 \rightarrow 911 \rightarrow 4994 \rightarrow 6749$)も互いに上昇していることを確認できる。

この結果から、学生が「教員熱意」を感じるようになると、「学生意欲」を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【全講義】クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [回答数]

			自分意欲							
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5		
	1 まったくそう思わない	53	18	20	19	25	135	44		
教	2 どちらかと言えばそう思わない	22	79	101	72	28	302	100		
員熟	3 どちらとも言えない	38	134	911	381	81	1,545	462		
意	4 どちらかと言えばそう思う	47	292	1,513	4,994	557	7,403	5,551		
	5 強くそう思う	45	174	1,031	6,004	6,749	14,003	12,753		
	合計	205	697	3,576	11,470	7,440	23,388	18,910		

表 2

●【全講義】クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

			自分意欲							
	1 まったくそう思わない		2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5		
	1 まったくそう思わない	39.259%	13.333%	14.815%	14.074%	18.519%	100.000%	32.593%		
教	2 どちらかと言えばそう思わない	7.285%	26.159%	33.444%	23.841%	9.272%	100.000%	33.113%		
員熱	3 どちらとも言えない	2.460%	8.673%	58.964%	24.660%	5.243%	100.000%	29.903%		
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.635%	3.944%	20.438%	67.459%	7.524%	100.000%	74.983%		
	5 強くそう思う	0.321%	1.243%	7.363%	42.877%	48.197%	100.000%	91.073%		

4.5.1【相関表に関する結果(全学)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、「総合満足度」に対しては、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.65 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.58」「学生意欲 0.51」「FB 丁寧 0.49」「シラバス通り 0.49」となっている。ここから、「総合満足度」の向上は、「成長感覚」すなわち成長実感を持てるかどうかが、最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係順に見ていくと、「教員の熱意」との間に強い正の相関関係 0.61 がみられた。その後は弱い正の相関関係順に、「自分の意欲 0.56」「FB 丁寧 0.49」「シラバス通り 0.48」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが最も強く影響することを示している。

「難易度が適切か」に関してすべての項目間で相関関係がみられないのは、その変数の尺度内容に起因する。「総合満足度(最大 10 点)」以外の他の変数が 5 点を最大とする間隔尺度であるのに対し、「難易度適切」は 3 点を「適切である」とする質的尺度になっている。そのため、相関係数表に基づくと、「難易度適切」と他の変数との関連性は、単純に 2 つの変数が共に変動しているかどうかを測る相関分析で統計的に判断することが困難である。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に大きく影響を与えていることが示された。

留意すべき点は、「総合満足」と「成長感覚」との「相関係数 0.65」、および「成長感覚」と「教員熱意」との「相関係数 0.61」が、2024 年度後期の弱い正の相関関係(0.59、0.55)から強い正の相関関係に変わったことである。今後の授業改善において参考にすべき変化であろう。

【全講義】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【ショバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.082	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.428	-0.084	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.417	-0.096	0.469	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.487	-0.091	0.497	0.484	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.479	-0.120	0.492	0.564	0.606	1.000	
Q8	【総合満足】	0.494	-0.228	0.488	0.514	0.580	0.648	1.000

まとめと結論(教員所属別)

2025年度前期の主な結果をまとめると、以下のようになる。

- 1. シラバス内容を知っている学生(Q1a)は全学79.93%であった。この数値は2024年度後期(80.49%)と比べても、ほぼ横ばいである。シラバスは授業内容や方法、DPとの関連性が示され、学生にカリキュラムの順次性や体系性を周知する重要な媒体である。学生が自らの学修を振り返るためにもシラバスの確認を促す必要があるだろう。
- 2. シラバス内容を知っている学生は、授業はシラバス通り(Q1b)に実施されたと概ね認識している。(平均値:全学4.34)
- 3. 授業の難易度について(Q2)は「適切だった」が最も多く、次に「やや難しかった」が多かった。全体としては概ね適切な難易度設定がなされていると考えられる。

ただし、学年別回答分布の動向を2024年度後期と比較すると、留意すべき点がある。 1年生から3年生までは3「適切だった」が減少している(1年/49.30%→43.05%、2年/49.34%→47.74%、3年/52.77%→49.60%)。一方で、4年生は増加している(52.35%→59.16%)。

学年別に授業の難易度をみる限り、1年生から3年生が「適切だった」を選ぶ層が減少し、5 (難しい) と2 (やや易しい) に分かれつつあり、2よりも5が増加する傾向にある。学年が下がるにつれ二極化しており、今後もこの傾向が続くのか注視する必要がある。学年別の傾向は変動係数にも表れている。

変動係数をみても概して高く、どの学科もバラツキが大きく、今後の授業改善に向けた 検討や工夫が必要であろう。

- 4. 質問をしたことのある学生(Q3)は、全学平均で17.16%であった。前年後期の19.54%から減少している。
- 5. 質問に対する対応(Q4)は、概ね「迅速であると認識されていた(平均値:全学4.10)。 とはいえ、前年度後期の平均値4.22からは低下している。全学・学科部局別回答分布の 平均(=4+5の合計)をみても、「迅速である」と認識している学生が、前年後期に比べて 3.76%減少している。

変動係数の数値が質問項目のなかでは最も高く、学科間の格差が大きいことが確認された。くわえて、前年後期の学科部局別の変動係数の平均は22.34%であったのに対し、今回は23.22%とバラツキが僅かに広がっている点も注意が必要であろう。学科部局間の格差も広がっている。

- 6. 学生は「熱意・意欲」(Q5)をもって、授業に取り組んだと概ね認識していた(平均値: 全学4.08)。それでも、2024年度後期(平均値:全学4.13)と比較すると、平均値が僅かながら低下している。
- 7. 担当教員は熱意を持って授業を行っている(Q6)と学生は概ね認識していた(平均値:全学4.49)。前年後期(全学4.55)とそれほど変わらない。変動係数をみても質問項目のなかで最も平均が低い。
- 8. 授業を通じて知識の習得、思考の深化、技術の向上等の成長を感じたという認識(Q7)は多くの学生が持っており、最頻値が前期と同じく5である。全学的な平均値(4.26)からも、学科部局回答分布からも(4+5の合計:86.75%。前年度後期89.81%)、学生の「成長感覚」は高く示された。とはいえ、変動係数からは平均を超える学科が12学科あることがわかる。
- 9. すべてを総合して授業に対して概ね満足だと認識した学生(Q8:8~10を選んだ学生)は全学で70.44%となり、前年度後期(75.70%)から5.26%減少している。
- 10. 学生自身の「成長感覚」と学生からみた「教員熱意」には、強い正の相関関係 (0.606) が確認された。学生が「教員熱意」を感じようになると、学生の「成長感覚」が促されると言える。さらに、「成長感覚」と授業に対する「総合満足度」も強い 相関関係 (0.648) が見られた。
- 11. 「総合満足」に最も影響があるのは、相関係数表によると、全学は「成長感覚」であり、次いで「教員熱意」「学生意欲」「フィードバックが丁寧かどうか」「シラバス通りがどうか」という順であった。ちなみに前年度後期は「学生意欲」と「フィードバックが丁寧かどうか」が逆であった。
- 12.変動係数から各質問項目における学科間の格差を確認できる。特に、全学平均が20%を超えるのは2024年度後期と同じく、「Q2:授業の難易度」22.08%(後期21.57%)、「Q4:FB丁寧」23.22%(後期22.35%)、「Q8:総合満足度」21.73%(後期20.21%)であ

る。Q2の数値の上昇は、授業難しいと捉える層の増加を示している点に注意が必要である。授業の難易度と総合満足度は学生の学力を反映していると考えられ、授業における学生対応が難しくなっていることを示す。どの質問項目も、全体として前年後期よりも数値が低下し、変動係数が大きくなっている。この傾向が続くと学生対応は一層難しくなり、一定の学力をつけさせるために早い時期からのきめ細かい指導が必要となりそうだ。

【全学共通科目(学生所属別)】

【全学共通科目(学生所属別)】

2023 年度後期から全学共通科目を対象に学生の所属学科ごとに、アンケート結果を集計し分析している。2024 年度前期からは学科別に「変動係数」を算出し、格差があるか否かの検証をしている。さらに今回からは、全学共通科目を人文系・社会系・自然系・保健体育系に分類し、学生の所属別に集計することで、各系の科目に対する授業認識の相違が生じるかどうかの分析を試みた。

全学共通科目全体の結果は次の通りである。今回は全学共通科目全体の数値と上記 4 分類の数値を比較するため、全学共通科目の結果は各質問項目に対する回答結果の概略だけを記述している。各分類の分析のなかで全学共通科目全体の動向についても触れていく。

2025 年度前期の回答率は 41.07%を示し、2024 年度後期 30.23%から大幅に上昇した。 回答率が最も高かった学科は法律学科 58.54%(2024 年度前期: 35.48%)であった。50% を超えた学科は、前回は 1 学科のみ(看護学科 51.08%)であったが、今回は 3 学科(法律 学科 58.54%、看護学科 54.86%、日本文学科 51.74%)となった。看護学科の回答率は高い 比率を維持している。

回答率が上昇したのは、11 学科で 40%を超えたからである(法律学科 58.54%、看護学科 54.86%、日本文学科 51.74%、社会学科 48.60%、歴史文化学科 47.81%、中国文学科 46.67%、書道学科 45.96%、政治学科 45.37%、現代経済学科 42.97%、日本語学科 40.89%、英語学科 40.29%)。30%を超えた学科も 7 学科あった(英米文学科 38.87%、社会経済学科 38.18%、スポーツ科学科 37.59%、健康科学科 31.95%、経営学科 31.71%、中国語学科 31.65%、教育学科 30.00%)。

その一方で、前回よりも上昇したとはいえ、20%台にとどまる学科(国際文化学科 25.70%、 国際関係学科 24.46%) もあり、学科間の差が大きかった。

【全学共通科目<学生所属別>】 学科別(左)および学年別(右)回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	432	403	835	51.737%
中国文学科	49	56	105	46.667%
英米文学科	281	442	723	38.866%
教育学科	147	343	490	30.000%
書道学科	74	87	161	45.963%
歴史文化学科	153	167	320	47.813%
社会経済学科	365	591	956	38.180%
現代経済学科	324	430	754	42.971%
中国語学科	125	270	395	31.646%
英語学科	336	498	834	40.288%
日本語学科	110	159	269	40.892%
法律学科	648	459	1,107	58.537%
政治学科	309	372	681	45.374%
国際関係学科	101	312	413	24.455%
国際文化学科	83	240	323	25.697%
経営学科	509	1,096	1,605	31.713%
スポーツ科学科	259	430	689	37.591%
健康科学科	85	181	266	31.955%
看護学科	203	167	370	54.865%
社会学科	295	312	607	48.600%
全学	4,888	7,015	11,903	41.065%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	3,275	3,079	6,354	51.542%
2	1,325	2,611	3,936	33.664%
3	136	561	697	19.512%
4	146	751	897	16.276%

【Q1a】あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。 [シラバス既知]

「2 シラバス内容を知っている」の回答は 81.20% (2024 年度後期 82.01%) であった。最も高かったのは書道学科 98.67%であった(後期 86.36%)。その他の学科で 90%を超えているのは、中国文学科 95.92%と看護学科 91.13%の 2 学科であった。

【全学共通科目】

Q 1a「シラバス既知」の学科別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	17.783%	82.217%
中国文学科	4.082%	95.918%
英米文学科	<mark>24.</mark> 113%	75.887%
教育学科	<mark>1</mark> 4.189%	85.811%
書道学科	1.333%	98.667%
歴史文化学科	17.647%	82.353%
社会経済学科	1 <mark>4.521%</mark>	85.479%
現代経済学科	<mark>1</mark> 4.154%	85.846%
中国語学科	19.048%	80.952%
英語学科	18.750%	81.250%
日本語学科	<mark>25.</mark> 688%	74.312%
法律学科	<mark>23</mark> .184%	76.816%
政治学科	1 <mark>3.226%</mark>	86.774%
国際関係学科	19.802%	80.198%
国際文化学科	<mark>1</mark> 1.628%	88.372%
経営学科	18.861%	81.139%
スポーツ科学科	<mark>26.</mark> 538%	73.462%
健康科学科	<mark>26.</mark> 744%	73.256%
看護学科	8.867%	91.133%
社会学科	<mark>28.</mark> 378%	71.622%
全学	18.800%	81.200%

学年	1	2
1	20.000%	80.000%
2	17.068%	82.932%
3	<mark>1</mark> 2.319%	87.681%
4	<mark>1</mark> 4.384%	85.616%

【Q1b】 この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。[シラバス通り]

この設問は Q1a で 2「はい (おおよそ) 知っています」と回答した学生のみが回答した。 「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が最も大きい学科 は教育学科 96.24%であった(後期:日本語学科 97.73%)。4 と 5 の合計は 89.32%で、2024 年度後期(92.20%)よりも低減している。

変動係数をみると、後述する Q6(教員の熱意/意欲)以外の質問項目に比べて相対的に低い水準になっている(平均値 18.02%)。最大値は健康科学科 21.32%、最小値は歴史文化学科 14.76%であった。

【全学共通科目】

Q 1b「シラバス通り」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差
日本文学科	367	4.362	0.706
中国文学科	48	4.521	0.707
英米文学科	241	4.344	0.779
教育学科	133	4.496	0.667
書道学科	75	4.480	0.680
歴史文化学科	132	4.386	0.647
社会経済学科	332	4.331	0.680
現代経済学科	293	4.294	0.828
中国語学科	109	4.266	0.895
英語学科	303	4.234	0.841
日本語学科	85	4.447	0.819
法律学科	555	4.328	0.776
政治学科	281	4.338	0.811
国際関係学科	88	4.341	0.721
国際文化学科	79	4.316	0.739
経営学科	437	4.224	0.777
スポーツ科学科	222	4.306	0.836
健康科学科	73	4.315	0.920
看護学科	190	4.353	0.772
社会学科	234	4.239	0.813
全学	4,277	4.321	0.778

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	2,831	4.208	0.799
2	1,181	4.278	0.740
3	129	4.444	0.804
4	131	4.433	0.568

Q1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.545%	0.817%	7.629%	43.869%	47.139%
中国文学科	0.000%	0.000%	12.500%	22.917%	64.583%
英米文学科	0.830%	1.660%	9.129%	39.004%	49.378%
教育学科	0.000%	3.008%	0.752%	39.850%	56.391%
書道学科	1.333%	0.000%	2.667%	41.333%	54.667%
歴史文化学科	0.000%	1.515%	4.545%	47.727%	46.212%
社会経済学科	0.000%	1.807%	6.627%	48.193%	43.373%
現代経済学科	1.024%	4.096%	5.461%	43.345%	46.075%
中国語学科	1.835%	3.670%	8.257%	38.532%	47.706%
英語学科	1.650%	2.310%	9.571%	43.894%	42.574%
日本語学科	2.353%	0.000%	7.059%	31.765%	58.824%
法律学科	0.901%	1.802%	8.288%	41.622%	47.387%
政治学科	2.135%	1.068%	5.694%	43.060%	48.043%
国際関係学科	0.000%	1.136%	11.364%	39.773%	47.727%
国際文化学科	0.000%	2.532%	8.861%	43.038%	45.570%
経営学科	0.686%	2.975%	8.467%	48.970%	38.902%
スポーツ科学科	2.252%	0.000%	10.811%	38.739%	48.198%
健康科学科	2.740%	0.000%	15.068%	27.397%	54.795%
看護学科	1.053%	1.053%	8.947%	39.474%	49.474%
社会学科	1.282%	2.564%	8.547%	46.154%	41.453%
全学	1.005%	1.847%	7.833%	42.693%	46.621%

Q1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.921%	1.347%	10.001%	43.826%	43.905%
2	0.329%	1.051%	7.360%	42.928%	48.333%
3	0.346%	1.070%	7.455%	41.208%	49.921%
4	0.123%	0.247%	4.809%	35.142%	59.679%

【Q2】 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。[難易度適切]

「Q2:授業難易度」の回答分布状況をみると、「1 とても易しかった」 1.86% (2024 年度後期 1.06%)、「2 やや易しかった」 3.53% (後期 2.81%)、「3 適切だった」 48.74% (後期 54.56%)、「4 やや難しかった」 35.15% (後期 32.54%)、「5 とても難しかった」 10.90% (後期 9.03%) となっている。

4 と 5 の割合合計が 46.04%、1 と 2 の割合合計が 5.21% という結果をみると、全学共通科目に対して「やや難しい、あるいはとても難しい」と感じている学生が多いと言える。

変動係数をみると。全学平均は22.98%であり、他の質問項目と比べても、後述するQ4(教員対応)以外は高い数値を示している。難易度は学生の学力と深く関わることから、この数値は学科間の格差が大きく、注視する必要があるだろう。特に変動係数の平均値22.98%を下回っている学科の5と4の合計が、1と2の合計よりも著しく大きい数値を示していることから、授業内容を難しく認識していると言える。

【全学共通科目】

Q 2 「難易度適切」の学科別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	433	3.402	0.687	20.181%
中国文学科	49	3.347	0.846	25.288%
英米文学科	282	3.454	0.833	24.131%
教育学科	148	3.446	0.841	24.393%
書道学科	75	3.307	0.730	22.071%
歴史文化学科	153	3.248	0.619	19.046%
社会経済学科	364	3.489	0.786	22.532%
現代経済学科	325	3.480	0.686	19.724%
中国語学科	126	3.548	0.851	23.983%
英語学科	336	3.586	0.786	21.912%
日本語学科	108	3.741	0.774	20.698%
法律学科	649	3.524	0.844	23.940%
政治学科	307	3.524	0.828	23.498%
国際関係学科	101	3.406	0.773	22.697%
国際文化学科	86	3.512	0.727	20.711%
経営学科	509	3.564	0.774	21.727%
スポーツ科学科	260	3.662	0.891	24.323%
健康科学科	86	3.128	1.065	34.057%
看護学科	201	3.716	0.825	22.201%
社会学科	293	3.386	0.817	24.122%
全学	4,891	3.499	0.804	22.984%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	3,275	3.723	0.829
2	1,327	3.592	0.752
3	138	3.579	0.754
4	146	3.613	0.714

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	1.155%	3.002%	55.427%	35.335%	5.081%
中国文学科	4.082%	4.082%	53.061%	30.612%	8.163%
英米文学科	2.837%	3.546%	49.291%	34.043%	10.284%
教育学科	2.703%	6.081%	43.919%	38.514%	8.784%
書道学科	1.333%	6.667%	57.333%	29.333%	5.333%
歴史文化学科	1.307%	3.268%	67.320%	25.490%	2.614%
社会経済学科	2.198%	3.297%	46.429%	39.560%	8.516%
現代経済学科	0.615%	2.769%	51.077%	39.077%	6.462%
中国語学科	3.175%	0.000%	50.000%	32.540%	14.286%
英語学科	1.488%	2.679%	43.155%	41.071%	11.607%
日本語学科	0.000%	1.852%	40.741%	38.889%	18.519%
法律学科	2.003%	4.006%	46.687%	34.206%	13.097%
政治学科	2.280%	2.932%	46.906%	35.831%	12.052%
国際関係学科	1.980%	2.970%	56.436%	29.703%	8.911%
国際文化学科	0.000%	4.651%	48.837%	37.209%	9.302%
経営学科	0.982%	2.750%	47.151%	37.132%	11.984%
スポーツ科学科	1.538%	3.462%	42.692%	31.923%	20.385%
健康科学科	11.628%	4.651%	54.651%	17.442%	11.628%
看護学科	0.995%	1.493%	41.791%	36.318%	19.403%
社会学科	2.389%	5.461%	52.218%	31.058%	8.874%
全学	1.861%	3.353%	48.743%	35.146%	10.898%

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.642%	3.626%	43.048%	37.554%	14.130%
2	0.823%	3.027%	47.737%	37.129%	11.284%
3	0.574%	2.215%	49.604%	35.439%	12.168%
4	0.662%	1.435%	59.161%	29.360%	9.382%

【〇3】 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問をしたことがありますか。

[質問対応]

「2 質問したことがある」という回答は 13.24%であった。2 の割合が他学科に比べて最も高いのは中国語学科 23.58%であった。

これに対して、「1 質問したことがない」という回答の平均値は 86.76%である。全学共通 科目に対する学生の授業参加は必ずしも積極的であるとは言えない結果となった。

【全学共通科目】

Q3「シラバス既知」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	88.194%	11.806%
中国文学科	81.633%	18.367%
英米文学科	91.429%	8.571%
教育学科	80.690%	19.310%
書道学科	79.452%	20.548%
歴史文化学科	88.158%	<mark>1</mark> 1.842%
社会経済学科	88.827%	11.173%
現代経済学科	90.966%	9.034%
中国語学科	76.423%	23.577%
英語学科	87.273%	1 <mark>2.727%</mark>
日本語学科	84.259%	15.741%
法律学科	89.548%	<mark>1</mark> 0.452%
政治学科	84.437%	15.563%
国際関係学科	83.000%	17.000%
国際文化学科	83.721%	16.279%
経営学科	86.826%	1 <mark>3.174%</mark>
スポーツ科学科	82.171%	17.829%
健康科学科	84.706%	15.294%
看護学科	82.323%	17.677%
社会学科	88.660%	<mark>1</mark> 1.340%
全学	86.758%	13.242%

学年	1	2
1	86.735%	13.265%
2	87.405%	<mark>1</mark> 2.595%
3	82.609%	<mark>17</mark> .391%
4	85.616%	<mark>1</mark> 4.384%

【Q4】質問に対する教員の対応は適当だったと思いますか。[フィードバック]

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計は 68.69%であった。学生は教員の対応を概ね評価していると言える。なかでもその割合合計が最も高い学科は書道学科 91.30%であった。フィードバックの平均値は 4.04 であった。

変動係数をみると、他の項目に比べて相対的に高い数値(24.17%)が確認された。なかでも現代経済学科が27.44%という高い数値であった。

【全学共通科目】

Q4「フィードバック」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均		標準偏差	変動係数
日本文学科	104	4.135		0.910	22.008%
中国文学科	21	4.190		0.906	21.621%
英米文学科	101	3.970		0.938	23.632%
教育学科	49	4.143		1.030	24.866%
書道学科	23	4.565		0.648	14.190%
歴史文化学科	47	4.191		0.866	20.669%
社会経済学科	132	3.924		0.989	25.215%
現代経済学科	101	3.851		1.057	27.435%
中国語学科	60	4.183		0.846	20.233%
英語学科	130	4.046		1.022	25.253%
日本語学科	34	4.324		0.830	19.205%
法律学科	241	4.029		0.974	24.183%
政治学科	131	4.115		0.905	21.994%
国際関係学科	37	4.054		0.868	21.417%
国際文化学科	43	4.186		0.870	20.772%
経営学科	196	3.934		0.980	24.906%
スポーツ科学科	128	4.000		1.031	25.769%
健康科学科	30	4.367		0.912	20.891%
看護学科	91	4.044		1.089	26.917%
社会学科	80	3.925		1.022	26.037%
全学	1,779	4.042		0.977	24.168%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,213	3.898	1.008
2	464	4.000	0.907
3	50	4.400	0.794
4	50	3.900	0.935

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.962%	0.000%	29.808%	23.077%	46.154%
中国文学科	0.000%	0.000%	33.333%	14.286%	52.381%
英米文学科	1.980%	0.000%	33.663%	27.723%	36.634%
教育学科	2.041%	4.082%	22.449%	20.408%	51.020%
書道学科	0.000%	0.000%	8.696%	26.087%	65.217%
歴史文化学科	0.000%	2.128%	23.404%	27.660%	46.809%
社会経済学科	2.273%	2.273%	32.576%	26.515%	36.364%
現代経済学科	4.950%	1.980%	28.713%	31.683%	32.673%
中国語学科	0.000%	1.667%	23.333%	30.000%	45.000%
英語学科	3.077%	2.308%	24.615%	26.923%	43.077%
日本語学科	0.000%	0.000%	23.529%	20.588%	55.882%
法律学科	2.905%	0.415%	27.386%	29.461%	39.834%
政治学科	1.527%	0.000%	26.718%	29.008%	42.748%
国際関係学科	0.000%	0.000%	35.135%	24.324%	40.541%
国際文化学科	2.326%	0.000%	16.279%	39.535%	41.860%
経営学科	2.551%	1.020%	33.163%	27.041%	36.224%
スポーツ科学科	3.906%	0.781%	27.344%	27.344%	40.625%
健康科学科	0.000%	0.000%	30.000%	3.333%	66.667%
看護学科	4.396%	2.198%	24.176%	23.077%	46.154%
社会学科	5.000%	0.000%	26.250%	35.000%	33.750%
全学	2.473%	1.012%	27.825%	27.206%	41.484%

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	3.215%	1.154%	27.370%	27.617%	40.643%
2	0.862%	0.862%	29.741%	26.509%	42.026%
3	0.000%	0.000%	20.000%	24.000%	56.000%
4	2.000%	0.000%	28.000%	28.000%	42.000%

【Q5】あなたはこの授業に対して意欲/熱意を持って取り組んだと思いますか。[学生意欲] 「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が約8割(79.79%) で、学生は概ね自身の熱意を評価している。5 と 4 の合計が最も高かったのは書道学科88.00%で、9 割近い学生が自身の意欲を強く認識していると言える。学生熱意の平均値は4.06であった。

変動係数に基づいて判断しても学科間の格差は明らかである。変動係数が最も高いのは 社会学科 23.90%であった。変動係数の変動幅が 6.81%(=最大値 23.90%-最小値 17.10%) となっており、全共科目に対する学生意欲・熱意のバラツキが見られた。

【全学共通科目】

Q5「自分意欲」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	433	4.139	0.783	18.927%
中国文学科	49	4.224	0.789	18.685%
英米文学科	279	4.143	0.719	17.355%
教育学科	148	4.149	0.880	21.223%
書道学科	75	4.240	0.780	18.406%
歴史文化学科	152	4.092	0.789	19.290%
社会経済学科	365	4.016	0.804	20.016%
現代経済学科	325	4.015	0.734	18.271%
中国語学科	126	4.111	0.847	20.609%
英語学科	336	4.068	0.763	18.745%
日本語学科	109	4.009	0.873	21.764%
法律学科	645	4.023	0.830	20.637%
政治学科	310	4.074	0.837	20.549%
国際関係学科	101	4.079	0.779	19.109%
国際文化学科	86	4.047	0.697	17.232%
経営学科	509	3.919	0.852	21.744%
スポーツ科学科	260	4.154	0.836	20.133%
健康科学科	86	4.349	0.743	17.096%
看護学科	203	4.094	0.828	20.230%
社会学科	296	3.980	0.951	23.904%
全学	4,893	4.063	0.819	20.156%

学年	学年 回答者数 平均		標準偏差
1	3,276	3.961	0.833
2	1,329	4.006	0.796
3	138	4.158	0.826
4	145	3.968	0.686

Q5「自分意欲」に対する学科/部局別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.462%	2.309%	15.012%	47.344%	34.873%
中国文学科	0.000%	0.000%	22.449%	32.653%	44.898%
英米文学科	0.358%	1.792%	12.186%	54.480%	31.183%
教育学科	2.703%	2.703%	8.108%	50.000%	36.486%
書道学科	1.333%	1.333%	9.333%	48.000%	40.000%
歴史文化学科	0.658%	2.632%	15.132%	50.000%	31.579%
社会経済学科	1.370%	1.644%	18.356%	51.233%	27.397%
現代経済学科	0.000%	3.077%	16.923%	55.385%	24.615%
中国語学科	0.000%	3.968%	19.048%	38.889%	38.095%
英語学科	0.000%	2.976%	16.964%	50.298%	29.762%
日本語学科	1.835%	1.835%	21.101%	44.037%	31.193%
法律学科	0.465%	4.186%	17.984%	47.287%	30.078%
政治学科	1.613%	3.226%	12.258%	51.935%	30.968%
国際関係学科	0.000%	2.970%	17.822%	47.525%	31.683%
国際文化学科	0.000%	1.163%	18.605%	54.651%	25.581%
経営学科	0.982%	4.912%	20.039%	49.312%	24.754%
スポーツ科学科	0.769%	2.692%	15.769%	41.923%	38.846%
健康科学科	0.000%	1.163%	12.791%	36.047%	50.000%
看護学科	0.000%	3.941%	18.227%	42.365%	35.468%
社会学科	3.041%	5.068%	12.838%	48.986%	30.068%
全学	0.817%	3.147%	16.248%	48.539%	31.249%

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.916%	3.388%	16.117%	47.711%	31.868%
2	0.602%	2.859%	16.780%	49.737%	30.023%
3	1.449%	1.449%	17.391%	47.101%	32.609%
4	0.000%	2.069%	13.793%	58.621%	25.517%

【Q6】教員は熱意を持ってこの授業を行ったと思いますか。[教員熱意]

「Q6 教員意欲/熱意」の回答結果は、4「どちらかと言えばそう思う」と5「強くそう思う」の割合合計が91.94%であった。全学共通科目を担当する教員の意欲や熱意を高く評価している。4と5の合計が、中国文学科(75.51%)以外の学科は87.00%以上の高い比率を示しており、書道学科は97.33%であった。

「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の割合合計は、社会 学科 3.04%であったが、社会学科以外は 3.00%未満であった。ここから教員の授業におけ る熱意や意欲を高く認識していると言える。

変動係数をみると平均が 15.78%で、授業認識に対する質問項目のなかで最も低い数値であった。教員熱意に関して学科間の格差は生じているものの、大きな値ではなく、良い傾向と言えるだろう。ただし、中国文学科の変動係数は 20.56%で、他学科に比べて相対的に高い数値を示している。

【全学共通科目】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	433	4.570	0.656	14.344%
中国文学科	49	4.306	0.885	20.560%
英米文学科	282	4.532	0.664	14.645%
教育学科	148	4.608	0.654	14.189%
書道学科	75	4.573	0.657	14.360%
歴史文化学科	153	4.503	0.638	14.164%
社会経済学科	365	4.499	0.705	15.664%
現代経済学科	324	4.537	0.682	15.025%
中国語学科	126	4.492	0.699	15.552%
英語学科	336	4.518	0.719	15.924%
日本語学科	109	4.495	0.737	16.400%
法律学科	649	4.475	0.706	15.786%
政治学科	310	4.458	0.772	17.326%
国際関係学科	101	4.485	0.766	17.074%
国際文化学科	86	4.453	0.659	14.791%
経営学科	509	4.458	0.745	16.708%
スポーツ科学科	259	4.560	0.686	15.041%
健康科学科	86	4.581	0.637	13.911%
看護学科	203	4.517	0.661	14.632%
社会学科	296	4.395	0.803	18.264%
全学	4,899	4.501	0.710	15.777%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	3,282	4.490	0.715
2	1,329	4.610	0.697
3	137	4.579	0.726
4	146	4.581	0.703

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	1.386%	5.081%	28.637%	64.896%
中国文学科	0.000%	2.041%	22.449%	18.367%	57.143%
英米文学科	0.355%	0.355%	6.383%	31.560%	61.348%
教育学科	0.676%	0.676%	3.378%	27.703%	67.568%
書道学科	1.333%	0.000%	1.333%	34.667%	62.667%
歴史文化学科	0.000%	0.654%	5.882%	35.948%	57.516%
社会経済学科	0.274%	1.096%	7.397%	30.959%	60.274%
現代経済学科	0.309%	1.235%	5.247%	30.864%	62.346%
中国語学科	0.000%	1.587%	7.143%	31.746%	59.524%
英語学科	0.595%	1.190%	6.250%	29.762%	62.202%
日本語学科	0.917%	0.917%	6.422%	31.193%	60.550%
法律学科	0.462%	1.079%	6.471%	34.515%	57.473%
政治学科	0.968%	1.935%	5.806%	32.903%	58.387%
国際関係学科	0.000%	1.980%	10.891%	23.762%	63.366%
国際文化学科	0.000%	1.163%	5.814%	39.535%	53.488%
経営学科	0.589%	1.179%	8.251%	31.827%	58.153%
スポーツ科学科	0.772%	0.386%	5.405%	28.958%	64.479%
健康科学科	0.000%	0.000%	8.140%	25.581%	66.279%
看護学科	0.000%	0.985%	6.404%	32.512%	60.099%
社会学科	1.689%	1.351%	6.081%	37.500%	53.378%
全学	0.490%	1.102%	6.471%	31.660%	60.278%

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.579%	1.005%	6.581%	32.358%	59.476%
2	0.376%	1.204%	5.944%	31.151%	61.324%
3	0.000%	1.460%	9.489%	27.007%	62.044%
4	0.000%	2.055%	6.164%	26.027%	65.753%

【Q7】 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉えかたが深くなった」 あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。[成長感覚]

「Q7 成長感覚」の回答結果は、「4 どちらかと言えばそう思う」と「5 強くそう思う」の合計は85.23%を示し、2024年度後期の90.09%から4.86%減少している。とはいえ、全学共通科目を通じての学びを概ね高く評価していると言える。

書道学科は、成長感覚に対する 4 と 5 の合計の割合が 94.67%で、大半の学生が授業を通じて成長を実感しているという結果となった。

変動係数の平均は 18.98%であった。20%を超えたのは日本語学科 23.87%、健康科学科 22.83%、社会学科 20.98%、看護学科 20.02%の 4 学科で、この 4 学科以外は比較的バラツ キが少ない結果となった。

【全学共通科目】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	433	4.383	0.713	16.275%
中国文学科	49	4.306	0.788	18.294%
英米文学科	280	4.232	0.819	19.357%
教育学科	148	4.257	0.847	19.904%
書道学科	75	4.453	0.698	15.684%
歴史文化学科	153	4.268	0.732	17.154%
社会経済学科	365	4.189	0.783	18.699%
現代経済学科	324	4.275	0.759	17.751%
中国語学科	124	4.274	0.817	19.104%
英語学科	335	4.224	0.765	18.119%
日本語学科	109	4.064	0.970	23.866%
法律学科	648	4.250	0.773	18.195%
政治学科	308	4.244	0.835	19.677%
国際関係学科	100	4.160	0.771	18.533%
国際文化学科	86	4.244	0.714	16.829%
経営学科	509	4.169	0.833	19.989%
スポーツ科学科	259	4.220	0.816	19.336%
健康科学科	85	4.271	0.975	22.827%
看護学科	203	4.222	0.845	20.021%
社会学科	296	4.088	0.858	20.980%
全学	4,889	4.234	0.804	18.983%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	3,276	4.066	0.820
2	1,325	4.279	0.768
3	136	4.263	0.833
4	146	4.194	0.687

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.231%	1.617%	7.390%	41.109%	49.654%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.408%	28.571%	51.020%
英米文学科	1.071%	2.143%	11.786%	42.500%	42.500%
教育学科	1.351%	2.027%	12.162%	38.514%	45.946%
書道学科	1.333%	0.000%	4.000%	41.333%	53.333%
歴史文化学科	0.000%	2.614%	9.150%	47.059%	41.176%
社会経済学科	0.548%	1.644%	14.795%	44.384%	38.630%
現代経済学科	0.617%	1.235%	11.420%	43.519%	43.210%
中国語学科	0.000%	4.032%	11.290%	37.903%	46.774%
英語学科	0.299%	2.687%	10.746%	46.866%	39.403%
日本語学科	1.835%	6.422%	13.761%	39.450%	38.532%
法律学科	0.463%	2.315%	10.802%	44.599%	41.821%
政治学科	1.623%	1.948%	10.065%	43.182%	43.182%
国際関係学科	0.000%	3.000%	14.000%	47.000%	36.000%
国際文化学科	0.000%	1.163%	12.791%	46.512%	39.535%
経営学科	0.786%	3.143%	13.556%	43.418%	39.096%
スポーツ科学科	1.158%	1.544%	13.127%	42.471%	41.699%
健康科学科	1.176%	5.882%	12.941%	24.706%	55.294%
看護学科	0.985%	2.956%	12.315%	40.394%	43.350%
社会学科	1.351%	4.392%	11.486%	49.662%	33.108%
全学	0.736%	2.454%	11.557%	43.179%	42.074%

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.916%	2.595%	12.118%	43.620%	40.751%
2	0.377%	2.189%	10.566%	42.717%	44.151%
3	0.735%	3.676%	10.294%	41.912%	43.382%
4	0.000%	0.685%	9.589%	39.041%	50.685%

【Q8】 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。「10」を「100%満足」、「1」を「10%満足」として 10 段階で最も近いと思われるものを選んで下さい。[総合満足]

「Q8 総合満足度」は、満足度の高い 10 から 8 までの割合を合計すると 70.52%となり、 2024 年度後期の 75.64%と比べると、5.12%減少している。この傾向が続くのか、今後も注視する必要があるだろう。

各学科の回答割合(8~10)は64.35%(法律学科)から81.18%(健康科学科)の間に分布し

ている。そのなかで全学平均の 70.00%を下回るのは、歴史文化学科 69.94%、現代経済学科 69.44%、看護学科 67.49%、経営学科 66.99%、法律学科 64.35%の 5 学科であった。

7~10 に広げると全学平均は 85.19%となる。9 割には満たないが、全体としてはまずまずの結果となる。

変動係数を用いると、全学共通科目における総合満足度に対する授業認識は、学科間に格差が生じていることが確認できる(平均値 21.55%)。最も低い数値の日本文学科 18.39%と最も高い数値の中国文学科 26.29%では 7.9%の格差が生じている。

【全学共通科目】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	432	8.414	1.548	18.394%
中国文学科	49	8.327	2.189	26.288%
英米文学科	281	8.185	1.892	23.121%
教育学科	147	8.320	1.690	20.316%
書道学科	74	8.676	1.685	19.427%
歴史文化学科	153	8.242	1.580	19.173%
社会経済学科	365	8.227	1.624	19.734%
現代経済学科	324	8.164	1.646	20.169%
中国語学科	125	8.304	1.545	18.608%
英語学科	336	8.122	1.713	21.091%
日本語学科	110	8.200	1.853	22.595%
法律学科	648	7.935	1.883	23.728%
政治学科	309	7.984	1.900	23.792%
国際関係学科	101	8.109	1.746	21.528%
国際文化学科	83	8.434	1.554	18.424%
経営学科	509	7.992	1.788	22.377%
スポーツ科学科	259	8.274	1.617	19.548%
健康科学科	85	8.682	1.784	20.544%
看護学科	203	8.138	1.844	22.657%
社会学科	295	8.024	1.822	22.702%
全学	4,888	8.159	1.758	21.549%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	3,275	7.700	1.812
2	1,325	8.230	1.647
3	136	8.053	1.781
4	146	8.194	1.283

Q8「総合満足」に対する学科回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.231%	0.463%	0.926%	0.694%	1.852%	4.398%	16.435%	20.833%	24.306%	29.861%
中国文学科	0.000%	0.000%	6.122%	4.082%	8.163%	0.000%	4.082%	12.245%	22.449%	42.857%
英米文学科	0.712%	1.068%	1.068%	1.779%	4.626%	7.117%	13.167%	19.929%	17.438%	33.096%
教育学科	1.361%	0.000%	1.361%	0.680%	0.680%	6.803%	11.565%	29.932%	17.007%	30.612%
書道学科	1.351%	0.000%	0.000%	0.000%	2.703%	6.757%	10.811%	14.865%	17.568%	45.946%
歴史文化学科	0.654%	0.000%	0.000%	1.307%	2.614%	7.843%	17.647%	22.222%	20.261%	27.451%
社会経済学科	0.274%	0.274%	0.822%	0.822%	4.110%	7.123%	14.247%	26.575%	16.986%	28.767%
現代経済学科	0.309%	0.309%	0.617%	1.852%	4.012%	7.099%	16.358%	20.062%	25.309%	24.074%
中国語学科	0.000%	0.800%	0.000%	0.800%	1.600%	7.200%	19.200%	27.200%	9.600%	33.600%
英語学科	0.595%	0.000%	1.190%	0.893%	5.952%	8.036%	11.905%	25.893%	19.345%	26.190%
日本語学科	0.000%	0.000%	2.727%	2.727%	4.545%	8.182%	10.000%	20.909%	17.273%	33.636%
法律学科	1.389%	0.617%	0.463%	2.160%	6.327%	6.636%	18.056%	20.525%	19.444%	24.383%
政治学科	1.294%	0.647%	1.942%	0.647%	6.149%	8.091%	10.680%	25.566%	21.036%	23.948%
国際関係学科	0.990%	0.000%	0.990%	1.980%	3.960%	5.941%	15.842%	27.723%	14.851%	27.723%
国際文化学科	0.000%	1.205%	0.000%	0.000%	4.819%	2.410%	14.458%	25.301%	19.277%	32.530%
経営学科	0.393%	0.786%	1.179%	1.572%	5.894%	7.269%	15.914%	26.326%	14.342%	26.326%
スポーツ科学科	0.386%	0.386%	0.386%	0.000%	5.405%	5.792%	15.830%	24.324%	16.988%	30.502%
健康科学科	0.000%	1.176%	1.176%	1.176%	4.706%	4.706%	5.882%	11.765%	23.529%	45.882%
看護学科	0.000%	0.493%	1.478%	2.463%	6.897%	5.911%	15.271%	18.227%	16.749%	32.512%
社会学科	1.356%	0.339%	0.339%	2.712%	5.763%	5.424%	13.220%	26.441%	21.017%	23.390%
全学	0.655%	0.471%	0.941%	1.412%	4.787%	6.547%	14.669%	23.118%	19.006%	28.396%

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.885%	0.458%	0.916%	1.527%	5.710%	7.145%	14.962%	22.382%	19.176%	26.840%
2	0.226%	0.528%	0.981%	1.208%	2.943%	5.585%	14.264%			
3	0.000%	0.735%	2.206%	1.471%	5.147%	4.412%		22.794%		
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.685%	0.685%	4.110%	17.808%	25.342%	22.603%	28.767%

【クロス表に関する結果(全学共通科目:学生所属別)】

全学共通科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表(表 1: 回答数、表 2: パーセント)では、それぞれの行でもっとも高い数値を赤字で示している。右端の列(4+5)に、4「どちらかと言えばそう思う」と 5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字 $(7\rightarrow 18\rightarrow 90\rightarrow 1142\rightarrow 2646)$ から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字: $8\rightarrow 19\rightarrow 198\rightarrow 1029\rightarrow 1393$)も互いに上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自

分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【 **全学共通科目〈学生所属別〉**】クロス集計(【学生意欲】×【教員熱意】) [回答数]

			学生意欲					
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	8	6	3	4	3	24	7
教	2 どちらかと言えばそう思わない	2	19	15	13	5	54	18
員熱	3 どちらとも言えない	8	20	198	75	15	316	90
意	4 どちらかと言えばそう思う	9	61	337	1,029	113	1,549	1,142
	5 強くそう思う	13	48	241	1,253	1,393	2,948	2,646
	合計	40	154	794	2,374	1,529	4,891	3,903

表 2

●【 全学共通科目〈学生所属別〉】 クロス集計(【学生意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

			学生意欲					
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	33.33%	25.00%	12.50%	16.67%	12.50%	100.00%	29.17%
教	2 どちらかと言えばそう思わない	3.70%	35.19%	27.78%	24.07%	9.26%	100.00%	33.33%
員熱	3 どちらとも言えない	2.53%	6.33%	62.66%	23.73%	4.75%	100.00%	28.48%
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.58%	3.94%	21.76%	66.43%	7.30%	100.00%	73.72%
	5 強くそう思う	0.44%	1.63%	8.18%	42.50%	47.25%	100.00%	89.76%

【相関係数表に関する結果(全学共通科目:学生所属別)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、全学共通科目に対する学生の「総合満足度」は、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.61 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.54」「学生意欲 0.52」「シラバス通り 0.48」「FB 丁寧 0.41」となっている。これは、成長したという実感を持てるかどうかが総合満足度の向上に最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.58 がみられた。その後は正の相関関係順に、「学生意欲 0.54」「シラバス通り 0.46」「FB 丁寧 0.45」と続く。つまり、教員の熱意があるかどうかが「成長感覚」の向上に、やや弱く影響することを示している。

「難易度が適切かどうか」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという強い相関関係が示された。全学共通科目の「成長感覚」に対する学生の認識は、(非常に高いとは言えないが)高い傾向にあると言えるだろう。今後の授業改善において、参考にすべき傾向であろう。

●【全学共通科目〈学生所属別〉】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【シラバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.101	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.389	-0.081	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.408	-0.141	0.463	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.471	-0.082	0.456	0.466	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.457	-0.130	0.453	0.541	0.578	1.000	
Q8	【総合満足】	0.484	-0.259	0.414	0.522	0.536	0.614	1.000

【全学共通科目(人文系)(学生所属別)】

人文系科目の回答率は 44.26%と、全学共通科目(以下、全共科目と表記)全体 41.07% よりも高い数値であった。なかでも看護学科は 64.55%と非常に高い。50%を超えた学科も 5 学科あった(法律学科、歴史文化学科、日本文学科、政治学科、社会学科)。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

学科別(左)および学年別(右)回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	177	161	338	52.367%
中国文学科	8	18	26	30.769%
英米文学科	97	122	219	44.292%
教育学科	47	92	139	33.813%
書道学科	17	19	36	47.222%
歴史文化学科	59	53	112	52.679%
社会経済学科	117	180	297	39.394%
現代経済学科	92	108	200	46.000%
中国語学科	36	65	101	35.644%
英語学科	121	149	270	44.815%
日本語学科	44	59	103	42.718%
法律学科	140	103	243	57.613%
政治学科	109	101	210	51.905%
国際関係学科	27	74	101	26.733%
国際文化学科	28	59	87	32.184%
経営学科	174	321	495	35.152%
スポーツ科学科	113	135	248	45.565%
健康科学科	14	33	47	29.787%
看護学科	71	39	110	64.545%
社会学科	51	51	102	50.000%
全学	1,542	1,942	3,484	44.259%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	953	757	1,710	55.731%
2	504	793	1,297	38.859%
3	36	154	190	18.947%
4	47	238	285	16.491%

Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

人文系科目のシラバス既知率は83.65%と、全共科目の全体81.20%よりも高い数値であり、4つの履修科目系の中で最も高い既知率を示している。なかでも、中国文学科と書道学科の既知率が100.00%であった。ただし、中国文学科は回答者数が10名以下であった。

Q 1a「シラバス既知」の学科別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	20.787%	79.213%
中国文学科	0.000%	100.000%
英米文学科	<mark>24</mark> .742%	75.258%
教育学科	16.667%	83.333%
書道学科	0.000%	100.000%
歴史文化学科	18.644%	81.356%
社会経済学科	13.675%	86.325%
現代経済学科	16.129%	83.871%
中国語学科	13.889%	86.111%
英語学科	14.050%	85.950%
日本語学科	<mark>2</mark> 2.727%	77.273%
法律学科	17.143%	82.857%
政治学科	11.818%	88.182%
国際関係学科	11.111%	88.889%
国際文化学科	14.286%	85.714%
経営学科	17.241%	82.759%
スポーツ科学科	<mark>1</mark> 9.469%	80.531%
健康科学科	<mark>2</mark> 1.429%	78.571%
看護学科	4.225%	95.775%
社会学科	15.385%	84.615%
全学	16.354%	83.646%

学年	1	2
1	17.277%	82.723%
2	16.008%	83.992%
3	8.108%	91.892%
4	8.511%	91.489%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が9割を超えており(90.61%)、平均値も4.35 となっている。ただし、中国文学科の分布をみると4 は0.00%、5 は62.50%、「3 どちらとも言えない」37.50%という結果を示し、留意が必要である。変動係数は、他の項目に比べて学科間の格差も大きくない(16.95%)。

Q 1b「シラバス通り」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	146	4.363	0.701	16.069%
中国文学科	8	4.250	0.968	22.782%
英米文学科	84	4.250	0.738	17.365%
教育学科	43	4.535	0.499	10.999%
書道学科	17	4.529	0.606	13.371%
歴史文化学科	50	4.460	0.537	12.041%
社会経済学科	106	4.321	0.667	15.427%
現代経済学科	83	4.277	0.840	19.650%
中国語学科	33	4.515	0.702	15.538%
英語学科	112	4.402	0.589	13.392%
日本語学科	36	4.417	0.829	18.773%
法律学科	126	4.325	0.907	20.970%
政治学科	101	4.307	0.754	17.517%
国際関係学科	24	4.417	0.571	12.935%
国際文化学科	25	4.120	0.816	19.802%
経営学科	151	4.232	0.776	18.333%
スポーツ科学科	102	4.294	0.799	18.615%
健康科学科	11	4.636	0.643	13.865%
看護学科	69	4.536	0.604	13.312%
社会学科	46	4.348	0.633	14.560%
全学	1,373	4.346	0.736	16.946%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	843	4.321	0.759
2	448	4.359	0.706
3	35	4.486	0.649
4	45	4.533	0.618

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.685%	0.000%	8.904%	43.151%	47.260%
中国文学科	0.000%	0.000%	37.500%	0.000%	62.500%
英米文学科	0.000%	2.381%	10.714%	46.429%	40.476%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	46.512%	53.488%
書道学科	0.000%	0.000%	5.882%	35.294%	58.824%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	2.000%	50.000%	48.000%
社会経済学科	0.000%	1.887%	5.660%	50.943%	41.509%
現代経済学科	0.000%	6.024%	7.229%	39.759%	46.988%
中国語学科	0.000%	3.030%	3.030%	33.333%	60.606%
英語学科	0.000%	0.000%	5.357%	49.107%	45.536%
日本語学科	2.778%	0.000%	5.556%	36.111%	55.556%
法律学科	2.381%	2.381%	8.730%	33.333%	53.175%
政治学科	1.980%	0.000%	5.941%	49.505%	42.574%
国際関係学科	0.000%	0.000%	4.167%	50.000%	45.833%
国際文化学科	0.000%	4.000%	16.000%	44.000%	36.000%
経営学科	0.662%	2.649%	9.272%	47.682%	39.735%
スポーツ科学科	1.961%	0.000%	9.804%	43.137%	45.098%
健康科学科	0.000%	0.000%	9.091%	18.182%	72.727%
看護学科	0.000%	0.000%	5.797%	34.783%	59.420%
社会学科	0.000%	2.174%	2.174%	54.348%	41.304%
全学	0.728%	1.384%	7.283%	43.773%	46.832%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.068%	1.305%	7.592%	44.484%	45.552%
2	0.223%	1.786%	6.696%	44.420%	46.875%
3	0.000%	0.000%	8.571%	34.286%	57.143%
4	0.000%	0.000%	6.667%	33.333%	60.000%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答割合の合計は 50.16%であった。最小 23.73%(歴史文化学科)から最大 67.86%(国際文化学科)の間に分布している(平均値 50.16%)。「1 とても易しかった」と「2 やや易しかった」の回答割合の合計は 3.69%、最小 0.00%(中国文学科・書道学科・日本語学科・国際関係学科・国際文化学科・健康科学科・看護学

科の7学科)から最大8.33%(教育学科)の間に分布している(平均値3.69%)。

全共科目全体の回答分布と比較すると、3 (適切であった)が多いとはいえ、学科間の相違が顕著となった。授業を難しいと認識する層(4 と 5 の合計)が全体でみた時よりも大幅に増えているのは、英米文学科(全共全体 $44.32\% \rightarrow$ 人文系 52.57%)、日本語学科($47.41\% \rightarrow 60.47\%$)、国際文化学科($46.53\% \rightarrow 67.86\%$)、経営学科($49.11\% \rightarrow 55.17\%$)、スポーツ科学科($52.30\% \rightarrow 59.24\%$)、健康科学科($27.07\% \rightarrow 35.71\%$)の 6 学科であった。他学科と異なる結果を示したのは教育学科で、3 が大幅に減少しており($43.92\% \rightarrow 27.08\%$)、これに対して 4 (やや難しい)が増加している($38.51\% \rightarrow 47.92\%$)。

これらの分布から、学生の所属学科にかかわらず、人文系科目の授業内容を難しいと認識 している学生が多いことが確認できる。

変動係数の平均値(21.83%)を下回っているのは14学科であった。バラツキが小さいとはいえ、中国文学科・書道学科・日本語学科・国際関係学科・国際文化学科・健康科学科・看護学科の7学科は、学科の特性に関わらず、授業が難しいという認識に偏っており留意が必要だろう。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	178	3.421	 0.676	19.765%
中国文学科	8	3.500	 0.707	20.203%
英米文学科	97	3.577	0.771	21.554%
教育学科	48	3.688	0.939	25.461%
書道学科	17	3.353	 0.588	17.544%
歴史文化学科	59	3.203	 0.683	21.335%
社会経済学科	117	3.598	0.729	20.250%
現代経済学科	93	3.602	 0.658	18.270%
中国語学科	36	3.472	 0.833	23.987%
英語学科	121	3.719	0.774	20.806%
日本語学科	43	3.860	0.795	20.588%
法律学科	140	3.593	 0.869	24.195%
政治学科	109	3.450	 0.807	23.392%
国際関係学科	27	3.593	0.681	18.953%
国際文化学科	28	3.821	0.658	17.207%
経営学科	174	3.615	0.807	22.313%
スポーツ科学科	113	3.823	0.875	22.880%
健康科学科	14	3.429	 0.623	18.162%
看護学科	71	3.592	0.704	19.592%
社会学科	52	3.404	 0.658	19.333%
全学	1,545	3.578	0.781	21.833%

学年	回答者数	平均		標準偏差
1	954	3.626		0.801
2	505	3.497		0.745
3	37	3.541		0.792
4	47	3.532		0.680

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.562%	3.933%	53.371%	37.079%	5.056%
中国文学科	0.000%	0.000%	62.500%	25.000%	12.500%
英米文学科	2.062%	1.031%	44.330%	42.268%	10.309%
教育学科	4.167%	4.167%	27.083%	47.917%	16.667%
書道学科	0.000%	0.000%	70.588%	23.529%	5.882%
歴史文化学科	1.695%	5.085%	69.492%	18.644%	5.085%
社会経済学科	0.000%	4.274%	41.880%	43.590%	10.256%
現代経済学科	0.000%	1.075%	46.237%	44.086%	8.602%
中国語学科	2.778%	0.000%	58.333%	25.000%	13.889%
英語学科	0.000%	1.653%	42.975%	37.190%	18.182%
日本語学科	0.000%	0.000%	39.535%	34.884%	25.581%
法律学科	2.857%	3.571%	38.571%	41.429%	13.571%
政治学科	1.835%	4.587%	50.459%	33.028%	10.092%
国際関係学科	0.000%	0.000%	51.852%	37.037%	11.111%
国際文化学科	0.000%	0.000%	32.143%	53.571%	14.286%
経営学科	1.724%	2.874%	40.230%	42.529%	12.644%
スポーツ科学科	0.885%	1.770%	38.053%	32.743%	26.549%
健康科学科	0.000%	0.000%	64.286%	28.571%	7.143%
看護学科	0.000%	0.000%	53.521%	33.803%	12.676%
社会学科	0.000%	3.846%	57.692%	32.692%	5.769%
全学	1.100%	2.589%	46.149%	37.735%	12.427%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.258%	2.306%	43.291%	38.889%	14.256%
2	0.990%	3.168%	50.099%	36.634%	9.109%
3	0.000%	5.405%	48.649%	32.432%	13.514%
4	0.000%	0.000%	57.447%	31.915%	10.638%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

「質問したことがある」と答えた割合は 12.92%で、全共科目全体 (18.24%) と比べると 低い結果となった。中国文学科の「質問したことがある」割合は 0.00%であるが(平均値 12.92%)、人文系科目の回答者数が 10 名以下であり、この点は留意すべきであろう。

03「質問対応」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	89.326%	10.674%
中国文学科	100.000%	0.000%
英米文学科	93.750%	6.250%
教育学科	87.234%	12.766%
書道学科	58.824%	41.176%
歴史文化学科	86.441%	13.559%
社会経済学科	91.304%	8.696%
現代経済学科	91.398%	8.602%
中国語学科	72.222%	<mark>27</mark> .778%
英語学科	85.124%	14.876%
日本語学科	90.698%	9.302%
法律学科	87.770%	12.230%
政治学科	87.850%	12.150%
国際関係学科	85.185%	14.815%
国際文化学科	85.714%	14.286%
経営学科	85.380%	14.620%
スポーツ科学科	84.956%	15.044%
健康科学科	76.923%	23.077%
看護学科	81.429%	18.571%
社会学科	88.235%	11.765%
全学	87.076%	12.924%

学年	1	2
1	86.681%	13.319%
2	88.400%	11.600%
3	78.378%	<mark>2</mark> 1.622%
4	87.234%	12.766%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」を回答した比率の合計が約 7 割 (68.01%)で、学生の授業認識は教員の対応を評価している。授業内容の認識に関するフィードバックの全学平均値は 4.04 となっている。

全共科目全体では「1まったくそう思わない」と「2どちらかと言えばそう思わない」が 0.00%の学科は、中国文学科、書道学科、日本語学科、国際関係学科、健康科学科の5学科 であったが、人文系の科目に限定すると、日本文学科、中国文学科、教育学科、書道学科、歴史文化学科、中国語学科、日本語学科、国際関係学科、国際文化学科、健康科学科、看護学科、社会学科の12学科となる。

Q4「フィードバック」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	44	4.182	0.805	19.261%
中国文学科	2	4.000	1.000	25.000%
英米文学科	41	3.683	0.868	23.564%
教育学科	14	4.071	0.799	19.615%
書道学科	6	4.667	0.471	10.102%
歴史文化学科	24	4.208	0.815	19.377%
社会経済学科	42	4.000	1.024	25.588%
現代経済学科	26	3.731	1.058	28.365%
中国語学科	17	4.294	0.824	19.178%
英語学科	42	3.976	1.165	29.292%
日本語学科	13	4.154	0.863	20.787%
法律学科	55	3.891	1.073	27.582%
政治学科	46	3.978	0.967	24.297%
国際関係学科	10	3.800	0.872	22.942%
国際文化学科	13	4.615	0.487	10.541%
経営学科	74	3.919	1.010	25.777%
スポーツ科学科	50	4.160	0.902	21.693%
健康科学科	4	4.500	0.866	19.245%
看護学科	31	4.419	0.794	17.969%
社会学科	15	4.133	0.806	19.489%
全学	569	4.039	0.966	23.923%

学年	回答者数 平均		標準偏差
1	367	3.989	0.988
2	171	4.099	0.922
3	14	4.643	0.610
4	16	4.063	0.966

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	25.000%	31.818%	43.182%
中国文学科	0.000%	0.000%	50.000%	0.000%	50.000%
英米文学科	2.439%	0.000%	43.902%	34.146%	19.512%
教育学科	0.000%	0.000%	28.571%	35.714%	35.714%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	25.000%	29.167%	45.833%
社会経済学科	2.381%	2.381%	30.952%	21.429%	42.857%
現代経済学科	7.692%	0.000%	26.923%	42.308%	23.077%
中国語学科	0.000%	0.000%	23.529%	23.529%	52.941%
英語学科	4.762%	4.762%	26.190%	16.667%	47.619%
日本語学科	0.000%	0.000%	30.769%	23.077%	46.154%
法律学科	5.455%	0.000%	30.909%	27.273%	36.364%
政治学科	2.174%	0.000%	34.783%	23.913%	39.130%
国際関係学科	0.000%	0.000%	50.000%	20.000%	30.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	38.462%	61.538%
経営学科	2.703%	1.351%	35.135%	22.973%	37.838%
スポーツ科学科	2.000%	0.000%	22.000%	32.000%	44.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	75.000%
看護学科	0.000%	0.000%	19.355%	19.355%	61.290%
社会学科	0.000%	0.000%	26.667%	33.333%	40.000%
全学	2.285%	0.703%	28.998%	26.889%	41.125%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.997%	0.817%	28.883%	28.883%	38.420%
2	1.170%	0.585%	29.240%	25.146%	43.860%
3	0.000%	0.000%	7.143%	21.429%	71.429%
4	0.000%	0.000%	43.750%	6.250%	50.000%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲/熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が約 8 割(79.65%)で、学生は自身の熱意を認識している。授業内容の認識に関する学生熱意の全学平均値は4.06 となっている。

全共科目全体と比べても、4と5の合計(79.79%)はほぼ同じ水準である。そのなかで英

米文学科、教育学科、書道学科、国際関係学科、国際文化学科、スポーツ科学科、健康科学科は3が減少し、4が増加している。所属学科に関わらず、学生は人文系の科目に真面目に取り組んだことがわかる。

その一方で、日本語学科は「1まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の割合が全体でみたときよりも高くなっており、留意する必要があるだろう(全共全体 3.66% →人文系 9.09%)。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	178	4.146	0.712	17.170%
中国文学科	8	4.125	0.927	22.473%
英米文学科	95	4.116	0.647	15.712%
教育学科	48	4.104	0.586	14.277%
書道学科	17	4.176	0.617	14.772%
歴史文化学科	59	4.000	0.689	17.222%
社会経済学科	117	4.009	0.768	19.157%
現代経済学科	93	4.000	0.733	18.331%
中国語学科	36	4.083	0.894	21.885%
英語学科	121	4.017	0.716	17.817%
日本語学科	44	3.864	1.036	26.802%
法律学科	138	4.065	0.827	20.347%
政治学科	110	4.045	0.824	20.380%
国際関係学科	27	4.222	0.737	17.456%
国際文化学科	28	3.929	0.593	15.103%
経営学科	174	3.948	0.839	21.254%
スポーツ科学科	113	4.221	0.784	18.574%
健康科学科	14	4.000	0.756	18.898%
看護学科	71	4.254	0.817	19.217%
社会学科	52	3.904	0.986	25.248%
全学	1,543	4.060	0.785	19.339%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	952	4.038	0.792
2	505	4.079	0.779
3	37	4.324	0.773
4	47	4.085	0.679

Q5「自分意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
7 14 / DP/D	1	2	3	7	3
日本文学科	0.000%	0.562%	17.416%	48.876%	33.146%
中国文学科	0.000%	0.000%	37.500%	12.500%	50.000%
英米文学科	0.000%	1.053%	12.632%	60.000%	26.316%
教育学科	0.000%	2.083%	6.250%	70.833%	20.833%
書道学科	0.000%	0.000%	11.765%	58.824%	29.412%
歴史文化学科	0.000%	1.695%	18.644%	57.627%	22.034%
社会経済学科	0.855%	0.855%	21.368%	50.427%	26.496%
現代経済学科	0.000%	1.075%	23.656%	49.462%	25.806%
中国語学科	0.000%	5.556%	19.444%	36.111%	38.889%
英語学科	0.000%	0.826%	22.314%	51.240%	25.620%
日本語学科	4.545%	4.545%	20.455%	40.909%	29.545%
法律学科	0.000%	3.623%	20.290%	42.029%	34.058%
政治学科	1.818%	1.818%	15.455%	51.818%	29.091%
国際関係学科	0.000%	3.704%	7.407%	51.852%	37.037%
国際文化学科	0.000%	0.000%	21.429%	64.286%	14.286%
経営学科	1.149%	4.023%	18.966%	50.575%	25.287%
スポーツ科学科	1.770%	0.000%	11.504%	47.788%	38.938%
健康科学科	0.000%	7.143%	7.143%	64.286%	21.429%
看護学科	0.000%	2.817%	15.493%	35.211%	46.479%
社会学科	1.923%	9.615%	13.462%	46.154%	28.846%
全学	0.648%	2.203%	17.498%	49.773%	29.877%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.525%	2.626%	18.487%	49.265%	29.097%
2	0.792%	1.584%	17.228%	49.703%	30.693%
3	2.703%	0.000%	2.703%	51.351%	43.243%
4	0.000%	2.128%	12.766%	59.574%	25.532%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が90%超えており(94.11%)、学生の授業認識は教員の熱意を高く評価していると言える。授業内容の認識に関する教員熱意の全学平均値は4.57となっている。

ただし、1は大半の学科が0%であるのに対し(政治学科0.91%、経営学科0.58%)、日

本語学科は 2.27%を示し、他学科に比べ高いのは気になる点である。さらに、 2 は大半が 1 %未満であるが、中国文学科は 12.5%を示し、教員の熱意を評価しない割合が他学科よりも高い。

【 全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	178	4.624	0.599	12.947%
中国文学科	8	4.000	1.118	27.951%
英米文学科	97	4.515	0.660	14.612%
教育学科	48	4.500	0.577	12.830%
書道学科	17	4.647	0.478	10.284%
歴史文化学科	59	4.508	0.593	13.153%
社会経済学科	117	4.590	0.601	13.102%
現代経済学科	93	4.602	0.607	13.192%
中国語学科	36	4.639	0.535	11.534%
英語学科	121	4.562	0.628	13.775%
日本語学科	44	4.364	0.828	18.980%
法律学科	140	4.564	0.635	13.909%
政治学科	110	4.545	0.722	15.875%
国際関係学科	27	4.704	0.532	11.301%
国際文化学科	28	4.429	0.562	12.700%
経営学科	174	4.557	0.707	15.509%
スポーツ科学科	112	4.643	0.515	11.094%
健康科学科	14	4.429	0.495	11.175%
看護学科	71	4.718	0.509	10.779%
社会学科	52	4.558	0.663	14.537%
全学	1,546	4.571	0.635	13.884%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	955	4.542	0.666
2	506	4.617	0.576
3	36	4.611	0.636
4	47	4.617	0.567

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.562%	4.494%	26.966%	67.978%
中国文学科	0.000%	12.500%	25.000%	12.500%	50.000%
英米文学科	0.000%	1.031%	6.186%	32.990%	59.794%
教育学科	0.000%	0.000%	4.167%	41.667%	54.167%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	35.294%	64.706%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	5.085%	38.983%	55.932%
社会経済学科	0.000%	0.855%	3.419%	31.624%	64.103%
現代経済学科	0.000%	0.000%	6.452%	26.882%	66.667%
中国語学科	0.000%	0.000%	2.778%	30.556%	66.667%
英語学科	0.000%	0.826%	4.959%	31.405%	62.810%
日本語学科	2.273%	0.000%	9.091%	36.364%	52.273%
法律学科	0.000%	0.714%	5.714%	30.000%	63.571%
政治学科	0.909%	0.000%	8.182%	25.455%	65.455%
国際関係学科	0.000%	0.000%	3.704%	22.222%	74.074%
国際文化学科	0.000%	0.000%	3.571%	50.000%	46.429%
経営学科	0.575%	0.575%	7.471%	25.287%	66.092%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	1.786%	32.143%	66.071%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	57.143%	42.857%
看護学科	0.000%	0.000%	2.817%	22.535%	74.648%
社会学科	0.000%	1.923%	3.846%	30.769%	63.462%
全学	0.194%	0.517%	5.175%	30.207%	63.907%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.314%	0.628%	5.969%	30.681%	62.408%
2	0.000%	0.395%	3.557%	30.040%	66.008%
3	0.000%	0.000%	8.333%	22.222%	69.444%
4	0.000%	0.000%	4.255%	29.787%	65.957%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 80%えており (85.49%)、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。これに対して、日本語学 科は「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の合計が 13.64%あ

り、成長感覚を低く評価している学生が一定の割合でいることが確認された。授業内容の認識に関する成長感覚の全共科目全体の平均値は4.24となっている。

変動係数を用いて、日本語学科の授業認識を判断すると、平均値(18.64%)を大きく上回っていることから(28.81%)、バラツキが大きく、評価が各点に分散していると言える。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	178	4.489	0.638	14.216%
中国文学科	8	4.250	0.968	22.782%
英米文学科	97	4.144	0.861	20.786%
教育学科	48	4.167	0.825	19.799%
書道学科	17	4.471	0.696	15.569%
歴史文化学科	59	4.339	0.679	15.654%
社会経済学科	117	4.085	0.723	17.695%
現代経済学科	93	4.226	0.750	17.739%
中国語学科	36	4.361	0.751	17.221%
英語学科	121	4.256	0.766	18.005%
日本語学科	44	3.841	1.107	28.812%
法律学科	139	4.223	0.778	18.418%
政治学科	108	4.269	0.846	19.809%
国際関係学科	27	4.407	0.624	14.162%
国際文化学科	28	4.143	0.693	16.716%
経営学科	174	4.132	0.858	20.753%
スポーツ科学科	113	4.274	0.707	16.542%
健康科学科	14	4.286	0.700	16.330%
看護学科	71	4.296	0.794	18.489%
社会学科	52	4.231	0.846	20.000%
全学	1,544	4.242	0.791	18.638%

学年	回答者数	回答者数 平均	
1	953	4.178	0.821
2	506	4.342	0.719
3	36	4.361	0.855
4	47	4.340	0.723

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	1.124%	4.494%	38.764%	55.618%
中国文学科	0.000%	0.000%	37.500%	0.000%	62.500%
英米文学科	2.062%	1.031%	15.464%	43.299%	38.144%
教育学科	0.000%	4.167%	14.583%	41.667%	39.583%
書道学科	0.000%	0.000%	11.765%	29.412%	58.824%
歴史文化学科	0.000%	1.695%	6.780%	47.458%	44.068%
社会経済学科	0.000%	1.709%	17.094%	52.137%	29.060%
現代経済学科	0.000%	1.075%	16.129%	41.935%	40.860%
中国語学科	0.000%	2.778%	8.333%	38.889%	50.000%
英語学科	0.000%	2.479%	12.397%	42.149%	42.975%
日本語学科	4.545%	9.091%	15.909%	38.636%	31.818%
法律学科	0.719%	2.158%	10.791%	46.763%	39.568%
政治学科	2.778%	0.000%	9.259%	43.519%	44.444%
国際関係学科	0.000%	0.000%	7.407%	44.444%	48.148%
国際文化学科	0.000%	0.000%	17.857%	50.000%	32.143%
経営学科	0.575%	4.598%	13.793%	43.103%	37.931%
スポーツ科学科	0.885%	0.885%	7.080%	52.212%	38.938%
健康科学科	0.000%	0.000%	14.286%	42.857%	42.857%
看護学科	0.000%	1.408%	16.901%	32.394%	49.296%
社会学科	1.923%	1.923%	9.615%	44.231%	42.308%
全学	0.712%	2.008%	11.788%	43.394%	42.098%

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.839%	2.413%	14.061%	43.442%	39.244%
2	0.395%	1.383%	8.103%	43.874%	46.245%
3	2.778%	0.000%	8.333%	36.111%	52.778%
4	0.000%	2.128%	8.511%	42.553%	46.809%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として 10 段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

満足度の高い 10 から 8 までの回答割合の合計は 7 割に近い数値であり(69.65%)、人文系の科目に対して総合的に満足していると言える。中位の 7 から 5 の合計が 27.63%であること、満足度の低い 1 から 3 までの合計は 1.62%で、全共科目全体 2.06%と比べても低い

数値であった。平均値は8.15であった。

変動係数を用いて総合満足度を判断すると、次のように説明できる。まず、変動係数の平均値(20.28%)を上回り、バラツキの大きさが示された学科は、中国文学科 35.19%、日本語学科 26.20%、法律学科 23.21%、経営学科 23.00%、政治学科 22.74%、英米文学科 21.99%、現代経済学科 20.71%、英語学科 20.43%の 8 学科であった。満足度が各点に分散しているとも言える。

次に、バラツキが少なく満足度の高い結果を示したのは、国際文化学科 14.36%、教育学科 15.33%、社会学科 15.84%、日本文学科 16.17%、歴史文化学科 16.31%、健康科学科 16.70%、書道学科 18.34%、社会経済学科 18.59%、中国語学科 18.82%、スポーツ科学科 18.50%、看護学科 18.95%、国際関係学科 19.08%の 12 学科であった。

人文系の科目に対して、社会系や自然系の学科の学生の満足度が高く示される結果となった。

【全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	177	8.497	1.374	16.172%
中国文学科	8	7.750	2.727	35.189%
英米文学科	97	7.938	1.746	21.992%
教育学科	47	8.277	1.267	15.304%
書道学科	17	8.353	1.532	18.337%
歴史文化学科	59	8.203	1.338	16.305%
社会経済学科	117	8.299	1.543	18.591%
現代経済学科	92	7.957	1.648	20.711%
中国語学科	36	8.444	1.589	18.816%
英語学科	121	8.149	1.665	20.429%
日本語学科	44	7.818	2.048	26.195%
法律学科	140	7.736	1.795	23.208%
政治学科	109	8.101	1.842	22.740%
国際関係学科	27	8.111	1.548	19.080%
国際文化学科	28	8.393	1.205	14.361%
経営学科	174	7.931	1.824	23.004%
スポーツ科学科	113	8.257	1.527	18.497%
健康科学科	14	8.214	1.372	16.704%
看護学科	71	8.535	1.617	18.946%
社会学科	51	8.392	1.330	15.843%
全学	1,542	8.152	1.653	20.276%

学年	回答者数	平均	標準偏差	
1	953	8.021	1.737	
2	504	8.349	1.488	
3	36	8.472	1.756	
4	47	8.404	1.179	

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.565%	0.000%	0.000%	0.000%	0.565%	4.520%	19.209%	21.469%	23.729%	29.944%
中国文学科	0.000%	0.000%	12.500%	0.000%	25.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	50.000%
英米文学科	0.000%	1.031%	2.062%	2.062%	4.124%	4.124%	22.680%	24.742%	16.495%	22.680%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	8.511%	19.149%	34.043%	12.766%	25.532%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	5.882%	17.647%	23.529%	11.765%	35.294%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.695%	0.000%	6.780%	22.034%	28.814%	18.644%	22.034%
社会経済学科	0.000%	0.000%	1.709%	0.855%	3.419%	5.128%	11.111%	31.624%	18.803%	27.350%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	4.348%	5.435%	8.696%	17.391%	18.478%	27.174%	18.478%
中国語学科	0.000%	2.778%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	19.444%	33.333%	8.333%	36.111%
英語学科	0.000%	0.000%	0.826%	1.653%	6.612%	7.438%	12.397%	27.273%	14.876%	28.926%
日本語学科	0.000%	0.000%	6.818%	2.273%	2.273%	13.636%	13.636%	15.909%	18.182%	27.273%
法律学科	0.714%	0.000%	1.429%	1.429%	7.143%	10.714%	25.000%	16.429%	15.000%	22.143%
政治学科	1.835%	0.000%	1.835%	0.000%	4.587%	7.339%	11.927%	24.771%	22.936%	24.771%
国際関係学科	0.000%	0.000%	3.704%	0.000%	0.000%	7.407%	18.519%	25.926%	25.926%	18.519%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.143%	14.286%	35.714%	17.857%	25.000%
経営学科	0.575%	1.149%	0.575%	1.724%	8.046%	5.747%	14.368%	28.161%	15.517%	24.138%
スポーツ科学科	0.000%	0.885%	0.000%	0.000%	3.540%	6.195%	20.354%	23.009%	17.699%	28.319%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	21.429%	14.286%	28.571%	21.429%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.408%	7.042%	2.817%	12.676%	18.310%	16.901%	40.845%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.882%	1.961%	9.804%	37.255%	19.608%	25.490%
全 学	0.324%	0.324%	0.973%	1.102%	4.345%	6.420%	16.861%	24.708%	18.482%	26.459%

【 全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.525%	0.315%	1.049%	1.469%	5.666%	7.660%	16.789%	22.980%	19.203%	24.344%
2	0.000%									30.159%
3	0.000%	1	8					19.444%		5
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	2.128%	25.532%	27.660%	19.149%	25.532%

【クロス表に関する結果(人文系)】

人文系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表 (表 1: 回答数、表 2: パーセント)では、それぞれの行でもっとも高い数値を赤字で示している。また、右端の列(4+5)に 4 「どちらかと言えばそう思う」と 5 「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字 $(2\rightarrow 4\rightarrow 16\rightarrow 326\rightarrow 880)$ から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字: $1\rightarrow 2\rightarrow 55\rightarrow 296\rightarrow 427$)からも互いに

上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員の熱意を感じるようになると、 自分の意欲も強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【 **全学共通科目(人文系)(学生所属別)**】 クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [回答数]

	自分意欲							
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	1	0	0	2	0	3	2
教	2 どちらかと言えばそう思わない	0	2	2	3	1	8	4
· 熱	3 どちらとも言えない	3	6	55	13	3	80	16
	4 どちらかと言えばそう思う	2	18	121	296	30	467	326
	5 強くそう思う	4	8	92	453	427	984	880
	合計	10	34	270	767	461	1,542	1,228

表 2

●【 全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉】 クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

	自分意欲							
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	33.333%	0.000%	0.000%	66.667%	0.000%	100.000%	66.667%
教	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	25.000%	25.000%	37.500%	12.500%	100.000%	50.000%
貝熱	3 どちらとも言えない	3.750%	7.500%	68.750%	16.250%	3.750%	100.000%	20.000%
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.428%	3.854%	25.910%	63.383%	6.424%	100.000%	69.807%
	5 強くそう思う	0.407%	0.813%	9.350%	46.037%	43.394%	100.000%	89.431%

【相関係数表に関する結果(人文系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。まず、「総合満足度」に対する人文系科目を履修している学生の授業認識は、特に「成長感覚」との間に強い正の相関関係 0.62 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.48」・「学生意欲 0.46」・「シラバス通り 0.46」・「FB 丁寧 0.44」となっている。ここから、「総合満足度」の向上は、「成長感覚を持ているかどうか」が、最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.55 がみられた。その後は正の相関関係順に、「学生意欲 0.53」「シラバス通り 0.45」「FB 丁寧 0.45」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが弱く影響することを示している。

「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという強い相関関係が示された。人文系科目を履修している学生は、成長感

覚に対する認識が比較的高い傾向にあると言える。今後の授業改善において参考にすべき 傾向であろう。

●【**全学共通科目(人文系)〈学生所属別〉**】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【ショバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.128	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.365	-0.164	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.388	-0.133	0.461	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.448	-0.074	0.422	0.450	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.448	-0.163	0.446	0.526	0.553	1.000	
Q8	【総合満足】	0.462	-0.243	0.439	0.460	0.479	0.619	1.000

【全学共通科目(社会系)(学生所属別)】

回答率は37.67%であり、全共科目全体の41.07%に比べ低い結果となった。特に、健康科学科15.39%、国際関係学科22.58%、国際文化学科24.07%、教育学科27.57%、中国語学科29.47%は30%に満たず、低い回答率であった。

学科別(左)および学年別(右)回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	157	169	326	48.160%
中国文学科	20	29	49	40.816%
英米文学科	109	210	319	34.169%
教育学科	67	176	243	27.572%
書道学科	37	48	85	43.529%
歴史文化学科	54	89	143	37.762%
社会経済学科	139	273	412	33.738%
現代経済学科	168	242	410	40.976%
中国語学科	56	134	190	29.474%
英語学科	144	266	410	35.122%
日本語学科	53	74	127	41.732%
法律学科	441	321	762	57.874%
政治学科	148	226	374	39.572%
国際関係学科	56	192	248	22.581%
国際文化学科	39	123	162	24.074%
経営学科	243	540	783	31.034%
スポーツ科学科	67	230	297	22.559%
健康科学科	20	110	130	15.385%
看護学科	77	77	154	50.000%
社会学科	153	191	344	44.477%
全学	2,248	3,720	5,968	37.668%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	1,586	1,668	3,254	48.740%
2	523	1,325	1,848	28.301%
3	72	332	404	17.822%
4	65	394	459	14.161%

Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

シラバス既知率は 78.73%で、全共科目全体 81.20%に比べると、やはり低い。スポーツ 科学科 55,22%、健康科学科・社会学科 66.67%は 70%に満たない結果となった。

Q 1a 「シラバス既知」の学科別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	12.102%	87.898%
中国文学科	5.000%	95.000%
英米文学科	<mark>30.</mark> 000%	70.000%
教育学科	14.925%	85.075%
書道学科	2.632%	97.368%
歴史文化学科	16.667%	83.333%
社会経済学科	13.669%	86.331%
現代経済学科	16.071%	83.929%
中国語学科	17.857%	82.143%
英語学科	<mark>2</mark> 2.222%	77.778%
日本語学科	32. <mark>075%</mark>	67.925%
法律学科	<mark>25</mark> .682%	74.318%
政治学科	16.216%	83.784%
国際関係学科	19.643%	80.357%
国際文化学科	14.634%	85.366%
経営学科	<mark>2</mark> 0.165%	79.835%
スポーツ科学科	44.776%	55.224%
健康科学科	33.333%	66.667%
看護学科	12.987%	87.013%
社会学科	33.333%	66.667%
全学	<mark>2</mark> 1.270%	78.730%

学年	1	2
1	<mark>2</mark> 2.432%	77.568%
2	<mark>1</mark> 9.048%	80.952%
3	13.699%	86.301%
4	<mark>2</mark> 0.000%	80.000%

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

回答分布は、「5強くそう思う」と「4どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が8割を超えており(87.33%)、平均値も4.27であった。全共科目全体の平均4.32と比べても大差はない。変動係数をみても他の項目に比べて学科間の格差も大きくない(19.51%)。

変動係数をみても他の項目に比べて学科間の格差も大きくない(19.51%)。

ただし、健康科学科は 4 と 5 の合計が 61.11%、「1 まったくそう思わない」と「3 どちらとも言えない」(2 は 0.00%)の合計が 38.89%を示した。他学科は <math>3 の比率が 10%未満 (12 学科)、もしくは 10%台(7 学科)であるのに対し、健康科学科は 33.33%と高かった。

Q 1b「シラバス通り」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	141	4.383	0.721	16.452%
中国文学科	19	4.632	0.666	14.374%
英米文学科	88	4.284	0.904	21.099%
教育学科	59	4.492	0.673	14.990%
書道学科	38	4.579	0.544	11.890%
歴史文化学科	47	4.340	0.723	16.652%
社会経済学科	126	4.333	0.655	15.107%
現代経済学科	149	4.268	0.887	20.783%
中国語学科	48	4.188	0.972	23.202%
英語学科	125	4.064	1.049	25.806%
日本語学科	38	4.421	0.878	19.849%
法律学科	369	4.306	0.748	17.368%
政治学科	131	4.298	0.862	20.062%
国際関係学科	48	4.292	0.789	18.395%
国際文化学科	37	4.378	0.711	16.238%
経営学科	207	4.135	0.817	19.760%
スポーツ科学科	48	4.063	1.049	25.820%
健康科学科	18	4.000	1.155	28.868%
看護学科	70	4.071	0.867	21.300%
社会学科	112	4.188	0.840	20.064%
全学	1,918	4.266	0.832	19.509%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,336	4.232	0.858
2	459	4.303	0.768
3	67	4.328	0.853
4	54	4.685	0.464

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.709%	0.709%	7.801%	41.135%	49.645%
中国文学科	0.000%	0.000%	10.526%	15.789%	73.684%
英米文学科	2.273%	2.273%	10.227%	35.227%	50.000%
教育学科	0.000%	3.390%	0.000%	40.678%	55.932%
書道学科	0.000%	0.000%	2.632%	36.842%	60.526%
歴史文化学科	0.000%	2.128%	8.511%	42.553%	46.809%
社会経済学科	0.000%	0.794%	7.937%	48.413%	42.857%
現代経済学科	2.013%	4.027%	5.369%	42.282%	46.309%
中国語学科	2.083%	6.250%	8.333%	37.500%	45.833%
英語学科	4.000%	5.600%	11.200%	38.400%	40.800%
日本語学科	2.632%	0.000%	10.526%	26.316%	60.526%
法律学科	0.542%	1.626%	9.214%	43.902%	44.715%
政治学科	2.290%	2.290%	6.107%	41.985%	47.328%
国際関係学科	0.000%	2.083%	14.583%	35.417%	47.917%
国際文化学科	0.000%	2.703%	5.405%	43.243%	48.649%
経営学科	0.966%	4.348%	8.696%	52.174%	33.816%
スポーツ科学科	6.250%	0.000%	14.583%	39.583%	39.583%
健康科学科	5.556%	0.000%	33.333%	11.111%	50.000%
看護学科	2.857%	1.429%	12.857%	51.429%	31.429%
社会学科	1.786%	2.679%	8.929%	48.214%	38.393%
全学	1.460%	2.450%	8.759%	42.701%	44.630%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.946%	2.545%	8.608%	44.162%	42.740%
2	0.218%	2.832%	9.150%	42.048%	45.752%
3	1.493%	0.000%	16.418%	28.358%	53.731%
4	0.000%	0.000%	0.000%	31.481%	68.519%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5とても難しかった」と「4やや難しかった」の回答割合の合計は50.53%で、最小37.04% (歴史文化学科)から最大 78.95%(看護学科)の間に分布している(平均値:50.53%)。「1とても易しかった」と「2 やや易しかった」の合計は、最小 0.00%(健康科学科)から最大 7.14% (国際関係学科)の間に(平均値:3.38%)分布している。授業内容の難易度の平均値は 3.58 で

あった。

授業の難易度に対する認識は、全共科目全体の数値はどの学科も同じような傾向を示すが、社会系に限定すると、歴史文化学科と看護学科に特徴が見られる。歴史文化学科は5が0.00%、看護学科は3が17.01%と低い。

この分布から、社会系科目の授業内容を難しいと認識していることが確認できる。この授業認識の相違および格差が、変動係数から確認できる(ある特定の評価に集中、もしくは偏っていると、当該値が平均値を下回る性質がある)。

変動係数の平均値(21.27%)を下回っているのは 13 学科であった(日本文学科、中国文学科、教育学科、歴史文化学科、社会経済学科、現代経済学科、英語学科、日本語学科、政治学科、国際文化学科、経営学科、スポーツ科学科、看護学科)。つまり、バラツキは小さいが、授業内容が難しいという認識に集中している。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	157	3.522	0.664	18.845%
中国文学科	20	3.500	0.671	19.166%
英米文学科	110	3.564	0.792	22.233%
教育学科	67	3.552	0.675	19.015%
書道学科	38	3.395	0.745	21.939%
歴史文化学科	54	3.352	0.515	15.361%
社会経済学科	138	3.551	0.713	20.079%
現代経済学科	168	3.470	0.698	20.114%
中国語学科	56	3.536	0.823	23.276%
英語学科	144	3.611	0.746	20.669%
日本語学科	53	3.698	0.716	19.361%
法律学科	442	3.550	0.801	22.558%
政治学科	146	3.699	0.734	19.855%
国際関係学科	56	3.393	0.817	24.073%
国際文化学科	41	3.463	0.702	20.264%
経営学科	243	3.588	0.750	20.912%
スポーツ科学科	67	3.881	0.763	19.672%
健康科学科	21	3.857	0.833	21.596%
看護学科	76	4.013	0.819	20.410%
社会学科	151	3.550	0.795	22.390%
全学	2,248	3.579	0.761	21.266%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,585	3.615	0.773
2	523	3.499	0.730
3	73	3.507	0.796
4	65	3.415	0.579

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.637%	0.637%	51.592%	40.127%	7.006%
中国文学科	0.000%	5.000%	45.000%	45.000%	5.000%
英米文学科	0.909%	3.636%	46.364%	36.364%	12.727%
教育学科	0.000%	2.985%	46.269%	43.284%	7.463%
書道学科	2.632%	2.632%	52.632%	36.842%	5.263%
歴史文化学科	0.000%	1.852%	61.111%	37.037%	0.000%
社会経済学科	0.725%	2.899%	44.928%	43.478%	7.971%
現代経済学科	0.595%	2.381%	54.167%	35.119%	7.738%
中国語学科	3.571%	0.000%	46.429%	39.286%	10.714%
英語学科	2.083%	1.389%	38.194%	50.000%	8.333%
日本語学科	0.000%	1.887%	39.623%	45.283%	13.208%
法律学科	1.131%	3.167%	48.416%	34.163%	13.122%
政治学科	0.000%	2.055%	40.411%	43.151%	14.384%
国際関係学科	1.786%	5.357%	55.357%	26.786%	10.714%
国際文化学科	0.000%	2.439%	58.537%	29.268%	9.756%
経営学科	0.412%	2.469%	47.325%	37.449%	12.346%
スポーツ科学科	0.000%	1.493%	31.343%	44.776%	22.388%
健康科学科	0.000%	0.000%	42.857%	28.571%	28.571%
看護学科	1.316%	2.632%	17.105%	51.316%	27.632%
社会学科	1.325%	3.311%	46.358%	37.086%	11.921%
全学	0.890%	2.491%	46.085%	38.923%	11.610%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.009%	2.524%	42.902%	41.073%	12.492%
2	0.574%	2.868%	52.199%	34.799%	9.560%
3	1.370%	1.370%	56.164%	27.397%	13.699%
4	0.000%	0.000%	63.077%	32.308%	4.615%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

全共科目全体と同様の傾向が見られるが、中国語学科の「質問したことのある」割合が、 他の学科に比べて相対的に高い 25.93%であった(平均値 11.30%)。

Q3「質問対応」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	89.103%	10.897%
中国文学科	75.000%	<mark>25</mark> .000%
英米文学科	90.826%	9.174%
教育学科	78.462%	<mark>2</mark> 1.538%
書道学科	89.189%	10.811%
歴史文化学科	90.741%	9.259%
社会経済学科	91.852%	8.148%
現代経済学科	92.073%	7.927%
中国語学科	74.074%	<mark>25</mark> .926%
英語学科	90.647%	9.353%
日本語学科	81.132%	18.868%
法律学科	92.184%	7.816%
政治学科	84.615%	15.385%
国際関係学科	81.818%	18.182%
国際文化学科	80.488%	<mark>1</mark> 9.512%
経営学科	88.750%	11.250%
スポーツ科学科	90.909%	9.091%
健康科学科	76.190%	<mark>23</mark> .810%
看護学科	94.595%	5.405%
社会学科	88.158%	11.842%
全学	88.703%	11.297%

学年	1	2
1	89.217%	10.783%
2	88.738%	11.262%
3	83.562%	16.438%
4	83.077%	16.923%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 65.13%で、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。他の科目系に比べてやや低い水準である。授業内容の認識に関するフィードバックの全学平均値は 3.96 であった。

ただし、中国文学科、書道学科、中国語学科、日本語学科、健康科学科は5の比率が高く、 教員の質問対応を高く評価している。変動係数が平均よりも高い10学科は、質問対応への 評価が分散している。

Q4「フィードバック」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	38	3.868	1.030	26.635%
中国文学科	7	4.429	0.904	20.402%
英米文学科	35	4.057	0.984	24.252%
教育学科	23	3.913	1.176	30.062%
書道学科	11	4.455	0.656	14.717%
歴史文化学科	11	4.182	0.833	19.924%
社会経済学科	47	3.702	1.009	27.249%
現代経済学科	55	3.782	1.003	26.534%
中国語学科	28	4.286	0.881	20.548%
英語学科	59	3.898	0.986	25.300%
日本語学科	18	4.389	0.826	18.818%
法律学科	156	4.013	0.934	23.266%
政治学科	58	4.121	0.892	21.648%
国際関係学科	19	4.105	0.852	20.752%
国際文化学科	22	4.045	1.021	25.250%
経営学科	82	3.890	0.975	25.072%
スポーツ科学科	32	3.625	0.960	26.487%
健康科学科	9	4.444	0.831	18.708%
看護学科	30	3.667	0.978	26.660%
社会学科	40	3.825	0.997	26.070%
全学	780	3.956	0.980	24.760%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	554	3.937	0.999
2	172	3.971	0.930
3	28	4.179	0.847
4	25	4.000	0.980

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	2.632%	0.000%	44.737%	13.158%	39.474%
中国文学科	0.000%	0.000%	28.571%	0.000%	71.429%
英米文学科	2.857%	0.000%	28.571%	25.714%	42.857%
教育学科	4.348%	8.696%	21.739%	21.739%	43.478%
書道学科	0.000%	0.000%	9.091%	36.364%	54.545%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	27.273%	27.273%	45.455%
社会経済学科	4.255%	2.128%	38.298%	29.787%	25.532%
現代経済学科	3.636%	1.818%	36.364%	29.091%	29.091%
中国語学科	0.000%	3.571%	17.857%	25.000%	53.571%
英語学科	3.390%	1.695%	28.814%	33.898%	32.203%
日本語学科	0.000%	0.000%	22.222%	16.667%	61.111%
法律学科	1.923%	0.641%	29.487%	30.128%	37.821%
政治学科	1.724%	0.000%	24.138%	32.759%	41.379%
国際関係学科	0.000%	0.000%	31.579%	26.316%	42.105%
国際文化学科	4.545%	0.000%	22.727%	31.818%	40.909%
経営学科	2.439%	1.220%	35.366%	26.829%	34.146%
スポーツ科学科	3.125%	3.125%	43.750%	28.125%	21.875%
健康科学科	0.000%	0.000%	22.222%	11.111%	66.667%
看護学科	3.333%	3.333%	40.000%	30.000%	23.333%
社会学科	5.000%	0.000%	30.000%	37.500%	27.500%
全学	2.564%	1.282%	31.026%	28.205%	36.923%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	3.069%	1.444%	30.505%	28.700%	36.282%
2	1.163%	1.163%	34.302%	26.163%	37.209%
3	0.000%	0.000%	28.571%	25.000%	46.429%
4	4.000%	0.000%	24.000%	36.000%	36.000%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲/熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が約 8 割 (77.48%)で、学生の授業認識は概ね自身の熱意を評価している。授業内容の認識に関する学生熱意の平均値は 3.99 であった。社会系の科目に対して、学生の意欲がやや低いことが確認された。一方で、1 と 2 の合計は 4.89、学生熱意の平均値 3.99 よりも高くなっている。

社会系の科目に対して、学生の意欲がやや低いことが確認された。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	157	4.038	0.866	21.448%
中国文学科	20	4.100	0.700	17.073%
英米文学科	110	3.973	0.792	19.924%
教育学科	67	3.970	1.051	26.460%
書道学科	38	4.263	0.676	15.858%
歴史文化学科	53	4.151	0.711	17.129%
社会経済学科	139	4.022	0.754	18.738%
現代経済学科	168	4.054	0.701	17.289%
中国語学科	56	4.286	0.839	19.579%
英語学科	144	4.063	0.801	19.722%
日本語学科	53	4.057	0.711	17.539%
法律学科	440	3.984	0.838	21.030%
政治学科	148	4.061	0.832	20.489%
国際関係学科	56	3.982	0.813	20.407%
国際文化学科	41	4.073	0.712	17.478%
経営学科	243	3.852	0.823	21.371%
スポーツ科学科	67	3.806	0.868	22.806%
健康科学科	21	4.095	0.683	16.689%
看護学科	77	3.831	0.844	22.021%
社会学科	153	3.784	0.996	26.328%
全学	2,251	3.988	0.833	20.901%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,586	3.979	0.846
2	525	3.996	0.812
3	73	4.027	0.793
4	65	4.046	0.711

Q5「自分意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.637%	5.096%	16.561%	45.223%	32.484%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.000%	50.000%	30.000%
英米文学科	0.909%	3.636%	16.364%	55.455%	23.636%
教育学科	5.970%	2.985%	11.940%	46.269%	32.836%
書道学科	0.000%	0.000%	13.158%	47.368%	39.474%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	18.868%	47.170%	33.962%
社会経済学科	1.439%	0.719%	16.547%	56.835%	24.460%
現代経済学科	0.000%	2.976%	13.095%	59.524%	24.405%
中国語学科	0.000%	3.571%	14.286%	32.143%	50.000%
英語学科	0.000%	4.861%	14.583%	50.000%	30.556%
日本語学科	0.000%	0.000%	22.642%	49.057%	28.302%
法律学科	0.682%	4.318%	18.864%	48.182%	27.955%
政治学科	1.351%	4.054%	11.486%	53.378%	29.730%
国際関係学科	0.000%	3.571%	23.214%	44.643%	28.571%
国際文化学科	0.000%	0.000%	21.951%	48.780%	29.268%
経営学科	0.823%	4.938%	22.634%	51.440%	20.165%
スポーツ科学科	0.000%	7.463%	26.866%	43.284%	22.388%
健康科学科	0.000%	0.000%	19.048%	52.381%	28.571%
看護学科	0.000%	7.792%	22.078%	49.351%	20.779%
社会学科	5.229%	5.229%	15.686%	53.595%	20.261%
全学	1.022%	3.865%	17.637%	50.289%	27.188%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.324%	3.909%	17.213%	50.631%	26.923%
2	0.381%	4.190%	18.286%	49.714%	27.429%
3	0.000%	2.740%	21.918%	45.205%	30.137%
4	0.000%	1.538%	18.462%	53.846%	26.154%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が90%超えており(90.20%)、学生が教員の熱意を高く評価していると言える。教員熱意に対する平均値は4.43であった。

全共科目全体に比べ、5の比率が低い学科が14学科あるのは気になる点である。その分、

4の比率が増えており、総合的には教員の熱意を高く評価する層は多いが、無視できない傾向であろう。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	157	4.516	0.728	16.121%
中国文学科	20	4.500	0.806	17.916%
英米文学科	110	4.482	0.760	16.948%
教育学科	67	4.627	0.750	16.206%
書道学科	38	4.579	0.544	11.890%
歴史文化学科	54	4.537	0.600	13.220%
社会経済学科	139	4.403	0.765	17.385%
現代経済学科	168	4.536	0.645	14.210%
中国語学科	56	4.482	0.732	16.325%
英語学科	144	4.472	0.799	17.862%
日本語学科	53	4.528	0.690	15.230%
法律学科	442	4.437	0.707	15.928%
政治学科	148	4.385	0.767	17.489%
国際関係学科	56	4.357	0.854	19.604%
国際文化学科	41	4.488	0.737	16.413%
経営学科	243	4.346	0.767	17.650%
スポーツ科学科	67	4.358	0.823	18.888%
健康科学科	21	4.429	0.791	17.864%
看護学科	77	4.260	0.763	17.908%
社会学科	153	4.301	0.833	19.370%
全学	2,254	4.434	0.749	16.899%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,589	4.429	0.750
2	525	4.429	0.754
3	73	4.425	0.792
4	65	4.615	0.625

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.548%	6.369%	28.025%	63.057%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.000%	10.000%	70.000%
英米文学科	0.909%	0.000%	10.909%	26.364%	61.818%
教育学科	1.493%	1.493%	2.985%	20.896%	73.134%
書道学科	0.000%	0.000%	2.632%	36.842%	60.526%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	5.556%	35.185%	59.259%
社会経済学科	0.719%	0.719%	10.791%	33.094%	54.676%
現代経済学科	0.000%	1.190%	4.762%	33.333%	60.714%
中国語学科	0.000%	1.786%	8.929%	28.571%	60.714%
英語学科	1.389%	1.389%	6.944%	29.167%	61.111%
日本語学科	0.000%	1.887%	5.660%	30.189%	62.264%
法律学科	0.452%	0.905%	7.240%	37.330%	54.072%
政治学科	0.676%	3.378%	3.378%	41.892%	50.676%
国際関係学科	0.000%	3.571%	14.286%	25.000%	57.143%
国際文化学科	0.000%	2.439%	7.317%	29.268%	60.976%
経営学科	0.412%	2.058%	9.465%	38.683%	49.383%
スポーツ科学科	1.493%	1.493%	8.955%	35.821%	52.239%
健康科学科	0.000%	0.000%	19.048%	19.048%	61.905%
看護学科	0.000%	2.597%	11.688%	42.857%	42.857%
社会学科	1.961%	1.961%	6.536%	43.137%	46.405%
全学	0.577%	1.553%	7.675%	34.250%	55.945%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.629%	1.447%	7.741%	34.802%	55.381%
2	0.571%	1.905%	7.048%	35.048%	55.429%
3	0.000%	2.740%	10.959%	27.397%	58.904%
4	0.000%	0.000%	7.692%	23.077%	69.231%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が80%を超えており(84.48%)、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。特に書道学科は、5 と 4 の回答比率の合計が100%と、成長感覚の認識が非常に高い。これに対して、看護学科

77.92%、国際関係学科 76.36%、スポーツ科学科 71.64%、健康科学科 71.43%の 4 学科は、平均値 84.48%を大幅に下回っている。この結果から、学生の成長感覚に関する学科間の相違や格差を確認できる。社会系科目に対する成長感覚の平均値は 4.19 であった(標準偏差 0.81)。

変動係数から社会系科目に対する授業認識をみると、学科間の格差が明確になる。5 と 4 の割合が 100%の書道学科の変動係数は、平均値 19.20%と比べて、非常に低い 10.92%であった。認識のバラツキが小さく、かつ 5 と 4 に集中している。

5 と 4 の割合が 70%台となっている 4 学科(看護学科、国際関係学科、スポーツ科学科、健康科学科)の変動係数はそれぞれ 22.57%、20.18%、22.46%、28.87%を示し、平均値 (19.20%)を上回っている。認識のバラツキが大きく、分散している。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	157	4.318	0.774	17.925%
中国文学科	20	4.450	0.740	16.628%
英米文学科	109	4.138	0.851	20.567%
教育学科	67	4.269	0.907	21.257%
書道学科	38	4.553	0.497	10.922%
歴史文化学科	54	4.352	0.698	16.041%
社会経済学科	139	4.201	0.760	18.097%
現代経済学科	167	4.347	0.700	16.105%
中国語学科	55	4.345	0.791	18.209%
英語学科	144	4.125	0.789	19.139%
日本語学科	52	4.173	0.802	19.217%
法律学科	442	4.229	0.776	18.343%
政治学科	148	4.203	0.788	18.752%
国際関係学科	55	4.055	0.818	20.184%
国際文化学科	41	4.317	0.642	14.862%
経営学科	243	4.099	0.831	20.264%
スポーツ科学科	67	3.955	0.888	22.458%
健康科学科	21	4.000	1.155	28.868%
看護学科	77	3.974	0.897	22.570%
社会学科	153	4.026	0.840	20.858%
全学	2,249	4.193	0.805	19.204%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,587	4.190	0.806
2	523	4.182	0.801
3	72	4.139	0.887
4	65	4.415	0.699

Q 7 「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.637%	1.911%	9,554%	40.764%	47.134%
中国文学科 	0.000%	0.000%	15.000%		60.000%
英米文学科 	0.917%	3.670%	13.761%	44.037%	37.615%
教育学科	2.985%	1.493%	8.955%	38.806%	47.761%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	44.737%	55.263%
歴史文化学科	0.000%	1.852%	7.407%	44.444%	46.296%
社会経済学科	0.719%	1.439%	12.230%	48.201%	37.410%
現代経済学科	0.000%	1.198%	9.581%	42.515%	46.707%
中国語学科	0.000%	3.636%	9.091%	36.364%	50.909%
英語学科	0.694%	4.167%	9.028%	54.167%	31.944%
日本語学科	0.000%	3.846%	13.462%	44.231%	38.462%
法律学科	0.452%	2.262%	11.765%	45.023%	40.498%
政治学科	0.676%	2.703%	10.811%	47.297%	38.514%
国際関係学科	0.000%	3.636%	20.000%	43.636%	32.727%
国際文化学科	0.000%	0.000%	9.756%	48.780%	41.463%
経営学科	0.823%	3.292%	15.226%	46.502%	34.156%
スポーツ科学科	1.493%	2.985%	23.881%	41.791%	29.851%
健康科学科	0.000%	19.048%	9.524%	23.810%	47.619%
看護学科	1.299%	6.494%	14.286%	49.351%	28.571%
社会学科	1.307%	4.575%	12.418%	53.595%	28.105%
全学	0.667%	2.890%	11.961%	45.442%	39.040%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.882%	2.647%	11.531%	46.503%	38.437%
2	0.191%	3.442%	13.193%	44.359%	38.815%
3	0.000%	6.944%	12.500%	40.278%	40.278%
4	0.000%	0.000%	12.308%	33.846%	53.846%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として 10 段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

社会系科目の総合満足度に関する認識の平均は 7.99 であった(人文系 8.15、自然系 7.99、 保健体育系 9.03)。

満足度の高い10(大いに満足した)から8までの回答割合の合計が7割に近く(67.57%)、

総合的に満足度を高く評価していると言える。満足度の低い 1(まったく満足できなかった)から 3 までの回答比率の合計は 2.80%であった。全共科目全体の総合満足度 1 から 3 の合計 2.06%よりも高く、この点は留意すべきであろう。

変動係数から総合満足度を判断すると、次のように説明できる。まず、変動係数の平均値 (23.13%)を上回っている学科は 10 学科であった (健康科学科 32.62%、中国文化学科 28.62%、英米文学科 27.11%、看護学科 25.55%、教育学科 25.23%、政治学科 25.19%、社会学科 25.11%、スポーツ科学科 24.20%、法律学科 23.85%、英語学科 23.19%)。この結果は、総合満足度に関する評価が分散していることを示す。

次に、学生の認識が上位評価に集中している学科は9学科であった(書道学科83.78%、中国文学科80.00%、日本語学科79.25%、中国語学科78.57%、国際文化学科76.92%、教育学科74.63%、現代経済学科72.02%、日本文学科71.34%、健康科学科70.00%)。人文系学部(文学部4学科と外国語学部2学科)の学生、自然系の学科の学生が、社会系科目に対して高い満足度を示す結果となった。

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	157	8.172	1.720	21.045%
中国文学科	20	8.250	2.364	28.652%
英米文学科	109	7.917	2.147	27.112%
教育学科	67	8.000	2.022	25.278%
書道学科	37	8.946	1.229	13.739%
歴史文化学科	54	8.204	1.660	20.232%
社会経済学科	139	8.245	1.600	19.402%
現代経済学科	168	8.292	1.660	20.015%
中国語学科	56	8.536	1.488	17.428%
英語学科	144	7.882	1.828	23.188%
日本語学科	53	8.377	1.718	20.509%
法律学科	441	7.952	1.896	23.847%
政治学科	148	7.730	1.947	25.192%
国際関係学科	56	7.964	1.669	20.952%
国際文化学科	39	8.487	1.662	19.584%
経営学科	243	7.872	1.753	22.272%
スポーツ科学科	67	7.716	1.867	24.199%
健康科学科	20	7.700	2.512	32.623%
看護学科	77	7.481	1.911	25.547%
社会学科	153	7.614	1.957	25.708%
全学	2,248	7.994	1.849	23.134%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	1,586	7.897	1.886
2	523	8.180	1.751
3	72	8.139	1.924
4	65	8.631	1.296

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	1.274%	1.911%	1.274%	2.548%	5.096%	16.561%	22.930%	22.930%	25.478%
中国文学科	0.000%	0.000%	10.000%	5.000%	5.000%	0.000%	0.000%	10.000%	30.000%	40.000%
英米文学科	1.835%	1.835%	0.917%	2.752%	4.587%	11.927%	10.092%	17.431%	18.349%	30.275%
教育学科	2.985%	0.000%	2.985%	1.493%	1.493%	5.970%	10.448%	29.851%	20.896%	23.881%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.405%	10.811%	13.514%	24.324%	45.946%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.407%	12.963%	16.667%	7.407%	25.926%	29.630%
社会経済学科	0.719%	0.719%	0.000%	0.000%	1.439%	8.633%	19.424%	23.741%	15.827%	29.496%
現代経済学科	0.595%	0.595%	0.595%	1.190%	2.381%	5.952%	16.667%	20.238%	23.214%	28.571%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.786%	0.000%	10.714%	8.929%	26.786%	12.500%	39.286%
英語学科	1.389%	0.000%	2.083%	0.694%	6.250%	8.333%	13.889%	27.083%	20.139%	20.139%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	3.774%	7.547%	3.774%	5.660%	26.415%	16.981%	35.849%
法律学科	1.587%	0.907%	0.227%	2.041%	6.349%	5.669%	16.100%	23.356%	19.955%	23.810%
政治学科	0.676%	1.351%	2.703%	1.351%	6.757%	10.811%	12.162%	25.676%	18.243%	20.270%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	3.571%	7.143%	7.143%	16.071%	28.571%	12.500%	25.000%
国際文化学科	0.000%	2.564%	0.000%	0.000%	2.564%	0.000%	17.949%	25.641%	12.821%	38.462%
経営学科	0.412%	0.412%	1.646%	2.058%	4.938%	8.642%	18.107%	26.337%	15.638%	21.811%
スポーツ科学科	1.493%	0.000%	0.000%	0.000%	14.925%	7.463%	14.925%	28.358%	8.955%	23.881%
健康科学科	0.000%	5.000%	5.000%	5.000%	10.000%	5.000%	0.000%	15.000%	25.000%	30.000%
看護学科	0.000%	1.299%	2.597%	5.195%	7.792%	6.494%	22.078%	22.078%	16.883%	15.584%
社会学科	1.961%	0.654%	0.654%	3.922%	7.190%	8.497%	15.686%	25.490%	19.608%	16.340%
全学	0.934%	0.756%	1.112%	1.868%	5.249%	7.384%	15.125%	23.577%	18.861%	25.133%

【全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1.324%	0.694%	1.009%	1.828%	6.179%	7.566%	15.700%	23.770%	18.979%	22.951%
2	0.000%								17.017%	
3	0.000%	1 1							20.833%	
4	0.000%	0.000%	0.000%	1.538%	1.538%	0.000%	16.923%	20.000%	29.231%	30.769%

【クロス表に関する結果(社会系)】

社会系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表 (表 1: 回答数、表 2: パーセント)では、それぞれの行で最も高い数値を赤字で示している。 また、右端の列(4+5)に 4 「どちらかと言えばそう思う」と 5 「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字 $(3\rightarrow 10\rightarrow 54\rightarrow 557\rightarrow 1120)$ から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

次に、教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字: $4\rightarrow13\rightarrow106\rightarrow516\rightarrow560$)も互

いに上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、 自分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【 **全学共通科目(社会系)(学生所属別)**】 クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [回答数]

				自分意欲			0.81	
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	4	3	3	1	2	13	3
教	2 どちらかと言えばそう思わない	2	13	10	7	3	35	10
貝熱	3 どちらとも言えない	4	8	106	48	6	172	54
	4 どちらかと言えばそう思う	6	36	172	516	41	771	557
	5 強くそう思う	7	27	106	560	560	1,260	1,120
	合計	23	87	397	1,132	612	2,251	1,744

表 2

●【 全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉】 クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

自分意欲							A 81	
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	30.769%	23.077%	23.077%	7.692%	15.385%	100.000%	23.077%
教	2 どちらかと言えばそう思わない	5.714%	37.143%	28.571%	20.000%	8.571%	100.000%	28.571%
貝熱	3 どちらとも言えない	2.326%	4.651%	61.628%	27.907%	3.488%	100.000%	31.395%
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.778%	4.669%	22.309%	66.926%	5.318%	100.000%	72.244%
	5 強くそう思う	0.556%	2.143%	8.413%	44.444%	44.444%	100.000%	88.889%

【相関係数表に関する結果(社会系)】

相関係数に関しては、+0.3以上+0.6未満(-0.3~-0.6)で弱い正(負)の相関関係、+0.6以上+1未満(-0.6~-1)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、正の相関関係がみられた。

まず、「総合満足度」に対する自然系科目を履修している学生は、特に「成長実感(成長感覚)」との間に強い正の相関関係 0.63 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.57」「学生意欲 0.53」「シラバス通り 0.50」「FB 丁寧 0.39」となっている。ここから、「総合満足度」の向上は、成長実感を持ているかどうかが、最も強く影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に強い正の相関関係 0.62 がみられた。その後は正の相関関係順に、「学生意欲 0.58」「FB 丁寧 0.46」「シラバス通り 0.46」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが強く影響することを示している。

「難易度が適切かどうか」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与える強い相関関係が示された。また、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を向上させるという強い正の相関関係も確認することが出来た。社会系科目に対して、学生は成長実感

を高く評価していると言える。

●【**全学共通科目(社会系)〈学生所属別〉**】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【ショバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.093	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.399	0.010	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.398	-0.084	0.448	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.483	-0.082	0.470	0.465	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.457	-0.126	0.458	0.581	0.619	1.000	
Q8	【総合満足】	0.495	-0.246	0.386	0.530	0.567	0.633	1.000

【全学共通科目(自然系)(学生所属別)】

自然系科目の回答率41.67%であり、全共科目全体の回答率41.07%とほぼ同じであった。 そのなかで、回答率が20%以下の学科が3学科あり(教育学科20.00%、国際関係学科18.75%、 国際文化学科16.36%)、学科間の相違が顕著であった。

学科別(左)および学年別(右)回答率

**** / ****	口体业	+0**	Δ=1	E कि क
学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	37	26	63	58.730%
中国文学科	5	4	9	55.556%
英米文学科	24	45	69	34.783%
教育学科	7	28	35	20.000%
書道学科	5	7	12	41.667%
歴史文化学科	13	5	18	72.222%
社会経済学科	78	110	188	41.489%
現代経済学科	56	71	127	44.094%
中国語学科	25	57	82	30.488%
英語学科	45	47	92	48.913%
日本語学科	7	11	18	38.889%
法律学科	46	21	67	68.657%
政治学科	38	34	72	52.778%
国際関係学科	9	39	48	18.750%
国際文化学科	9	46	55	16.364%
経営学科	58	151	209	27.751%
スポーツ科学科	29	17	46	63.043%
健康科学科	11	13	24	45.833%
看護学科	22	10	32	68.750%
社会学科	26	28	54	48.148%
全学	550	770	1,320	41.667%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	277	247	524	52.863%
2	219	356	575	38.087%
3	24	64	88	27.273%
4	30	103	133	22.556%

Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

自然系科目のシラバス既知率は82.91%と、全共科目の全体81.20%よりもやや高い数値の既知率を示している。なかでも、中国文学科·教育学科·書道学科·国際文化学科の既知率が100%となっているが、履修学生が10名以下の少人数であり、この点は留意が必要である。

Q 1a 「シラバス既知」の学科別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	24.324%	75.676%
中国文学科	0.000%	100.000%
英米文学科	<mark>2</mark> 0.833%	79.167%
教育学科	0.000%	100.000%
書道学科	0.000%	100.000%
歴史文化学科	<mark>2</mark> 3.077%	76.923%
社会経済学科	12.821%	87.179%
現代経済学科	5.357%	94.643%
中国語学科	24.000%	76.000%
英語学科	17.778%	82.222%
日本語学科	14.286%	85.714%
法律学科	<mark>1</mark> 9.565%	80.435%
政治学科	10.526%	89.474%
国際関係学科	33.333%	66.667%
国際文化学科	0.000%	100.000%
経営学科	<mark>2</mark> 2.414%	77.586%
スポーツ科学科	<mark>2</mark> 0.690%	79.310%
健康科学科	18.182%	81.818%
看護学科	13.636%	86.364%
社会学科	<mark>34.6</mark> 15%	65.385%
全学	17.091%	82.909%

学年	1	2	
1	17.690%	82.310%	
2	17.808%	82.192%	
3	16.667%	83.333%	
4	6.667%	93.333%	

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

回答平均 4.28 (全共科目全体 4.32)、回答分布は「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 8 割を大きく超えていた(89.14%、全共科目全体 89.32%)。ただし、国際関係学科 75.0%、社会学科 77.27%と相対的に低い結果となった。

「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の合計 2.41%(全共科目 2.85%)に対し、書道学科 20.0%、歴史文化学科 9.09%、日本文学科 7.14%が高い数値を示しおり留意が必要であろう。変動係数の平均は 17.54%であったが、書道学科は 37.68%と突出して高くバラツキの大きさが顕著であった。

Q 1b「シラバス通り」の学科別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	28	4.357	0.854	19.604%
中国文学科	5	4.600	0.490	10.650%
英米文学科	21	4.190	0.663	15.828%
教育学科	7	4.571	0.495	10.825%
書道学科	5	3.600	1.356	37.680%
歴史文化学科	11	4.091	0.793	19.373%
社会経済学科	74	4.257	0.754	17.724%
現代経済学科	54	4.296	0.627	14.604%
中国語学科	22	4.045	0.928	22.944%
英語学科	42	4.214	0.708	16.807%
日本語学科	6	4.500	0.500	11.111%
法律学科	41	4.366	0.654	14.970%
政治学科	35	4.371	0.831	19.011%
国際関係学科	8	4.000	0.707	17.678%
国際文化学科	9	4.444	0.497	11.180%
経営学科	49	4.327	0.651	15.050%
スポーツ科学科	27	4.444	0.629	14.142%
健康科学科	11	4.273	0.750	17.545%
看護学科	20	4.400	0.735	16.701%
社会学科	22	3.955	0.928	23.472%
全学	497	4.278	0.750	17.537%

学年	車 回答者数 平均		標準偏差
1	250	4.280	0.739
2	196	4.281	0.774
3	23	4.087	0.830
4	28	4.393	0.557

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	7.143%	3.571%	35.714%	53.571%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	40.000%	60.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	14.286%	52.381%	33.333%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	42.857%	57.143%
書道学科	20.000%	0.000%	0.000%	60.000%	20.000%
歴史文化学科	0.000%	9.091%	0.000%	63.636%	27.273%
社会経済学科	0.000%	4.054%	6.757%	48.649%	40.541%
現代経済学科	0.000%	1.852%	3.704%	57.407%	37.037%
中国語学科	4.545%	0.000%	13.636%	50.000%	31.818%
英語学科	0.000%	0.000%	16.667%	45.238%	38.095%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
法律学科	0.000%	2.439%	2.439%	51.220%	43.902%
政治学科	2.857%	0.000%	5.714%	40.000%	51.429%
国際関係学科	0.000%	0.000%	25.000%	50.000%	25.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	55.556%	44.444%
経営学科	0.000%	0.000%	10.204%	46.939%	42.857%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	7.407%	40.741%	51.852%
健康科学科	0.000%	0.000%	18.182%	36.364%	45.455%
看護学科	0.000%	0.000%	15.000%	30.000%	55.000%
社会学科	4.545%	0.000%	18.182%	50.000%	27.273%
全学	0.805%	1.610%	8.451%	47.284%	41.851%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.800%	1.200%	8.800%	47.600%	41.600%
2	1.020%	2.041%	7.653%	46.429%	42.857%
3	0.000%	4.348%	17.391%	43.478%	34.783%
4	0.000%	0.000%	3.571%	53.571%	42.857%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5 とても難しかった」と「4 やや難しかった」の回答割合の合計は 46.00%で、最小 27.27% (健康科学科)から最大 60.00%(中国文学科・書道学科・中国語学科)の間に分布している(平均値 46.00%)。「1 とても易しかった」と「2 やや易しかった」の回答割合の合計は、最小 00.0% (中国文学科・教育学科・日本語学科・国際関係学科・スポーツ科学科・健康科学科)から最大

20.00%(書道学科)の間に分布している(平均値 5.09%)。難易度の全学平均値は 3.48 であった。

この分布から、自然科学系科目を難しいと認識していることがわかる。授業認識の相違おび格差が変動係数から確認できる(ある特定の評価に集中、もしくは偏っていると、当該値が平均値を下回る性質がある)。

変動係数の平均値(22.27%)を下回っているのは12学科(日本文学科・中国文学科・英米文学科・教育学科・社会経済学科・現代経済学科・日本語学科・国際関係学科・国際文化学科・経営学科・スポーツ科学科・健康科学科)であった。これらの12学科のバラツキは小さいが、回答分布から、4と5の評価に集中している。

6 学科(書道学科・歴史文化学科・中国語学科・英語学科・法律学科・政治学科・看護学科・ 社会学科)は、変動係数の平均値(22.27%)を上回り、バラツキがみられる。

人文系、社会系、自然系といった学部の相違にかかわらず、自然系科目を難しいと認識している学生が多いことが示された。

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	37	3.405	0.676	19.857%
中国文学科	5	3.800	0.748	19.693%
英米文学科	24	3.500	0.577	16.496%
教育学科	7	3.429	0.495	14.434%
書道学科	5	3.400	0.800	23.529%
歴史文化学科	13	3.385	0.923	27.273%
社会経済学科	78	3.462	0.728	21.043%
現代経済学科	56	3.446	0.564	16.377%
中国語学科	25	3.800	0.980	25.784%
英語学科	45	3.511	0.833	23.732%
日本語学科	7	3.857	0.833	21.596%
法律学科	46	3.370	0.869	25.782%
政治学科	38	3.342	0.897	26.829%
国際関係学科	9	3.444	0.497	14.426%
国際文化学科	9	3.222	0.629	19.506%
経営学科	58	3.621	0.739	20.404%
スポーツ科学科	29	3.655	0.708	19.380%
健康科学科	11	3.273	0.445	13.608%
看護学科	22	3.636	0.881	24.238%
社会学科	26	3.308	0.910	27.517%
全学	550	3.485	0.776	22.270%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	277	3.531	0.799
2	219	3.384	0.740
3	24	3.583	0.571
4	30	3.733	0.854

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	5.405%	54.054%	35.135%	5.405%
中国文学科	0.000%	0.000%	40.000%	40.000%	20.000%
英米文学科	0.000%	4.167%	41.667%	54.167%	0.000%
教育学科	0.000%	0.000%	57.143%	42.857%	0.000%
書道学科	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%	0.000%
歴史文化学科	7.692%	0.000%	46.154%	38.462%	7.692%
社会経済学科	1.282%	3.846%	48.718%	39.744%	6.410%
現代経済学科	0.000%	3.571%	48.214%	48.214%	0.000%
中国語学科	4.000%	0.000%	36.000%	32.000%	28.000%
英語学科	2.222%	4.444%	44.444%	37.778%	11.111%
日本語学科	0.000%	0.000%	42.857%	28.571%	28.571%
法律学科	2.174%	6.522%	56.522%	21.739%	13.043%
政治学科	5.263%	2.632%	55.263%	26.316%	10.526%
国際関係学科	0.000%	0.000%	55.556%	44.444%	0.000%
国際文化学科	0.000%	11.111%	55.556%	33.333%	0.000%
経営学科	0.000%	1.724%	48.276%	36.207%	13.793%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	48.276%	37.931%	13.793%
健康科学科	0.000%	0.000%	72.727%	27.273%	0.000%
看護学科	0.000%	4.545%	50.000%	22.727%	22.727%
社会学科	7.692%	3.846%	42.308%	42.308%	3.846%
全学	1.636%	3.455%	48.909%	36.727%	9.273%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.805%	3.249%	45.848%	38.267%	10.830%
2	1.826%	4.110%	53.881%	34.247%	5.936%
3	0.000%	0.000%	45.833%	50.000%	4.167%
4	0.000%	3.333%	43.333%	30.000%	23.333%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

看護学科の「質問したことのある」割合が他の学科に比べて、相対的に高い 40.91%であった(平均値 19.85%)。

Q3「質問対応」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	83.784%	16.216%
中国文学科	80.000%	<mark>2</mark> 0.000%
英米文学科	79.167%	20.833%
教育学科	71.429%	28.571%
書道学科	75.000%	25.000%
歴史文化学科	92.308%	7.692%
社会経済学科	81.818%	18.182%
現代経済学科	85.714%	14.286%
中国語学科	79.167%	20.833%
英語学科	86.364%	13.636%
日本語学科	71.429%	28.571%
法律学科	73.913%	<mark>26</mark> .087%
政治学科	76.316%	23.684%
国際関係学科	88.889%	11.111%
国際文化学科	77.778%	<mark>2</mark> 2.222%
経営学科	82.143%	17.857%
スポーツ科学科	65.517%	34.483%
健康科学科	90.909%	9.091%
看護学科	59.091%	40.909%
社会学科	88.462%	11.538%
全学	80.147%	19.853%

学年	1	2	
1	75.273%	<mark>24</mark> .727%	
2	85.116%	14.884%	
3	83.333%	16.667%	
4	86.667%	13.333%	

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計は 76.44%で、学生は教員の対応を概ね評価していると言える。しかし、社会系の科目とは同じ数値であったが、保健体育系、人文科学系科目と比べるとやや低い水準である(人文系 68.01%、社会系65.13%、保健体育系 75.61%)。フィードバックの平均値は 4.13 であった(人文系 4.04、社会系 3.96、保健体育系 4.29)。

Q4「フィードバック」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	9	4.333	0.816	18.842%
中国文学科	4	3.750	0.829	22.111%
英米文学科	11	4.364	0.771	17.678%
教育学科	3	4.333	0.943	21.757%
書道学科	1	5.000	0.000	0.000%
歴史文化学科	5	3.400	0.800	23.529%
社会経済学科	31	4.129	0.870	21.079%
現代経済学科	17	4.235	1.165	27.499%
中国語学科	13	3.923	0.730	18.602%
英語学科	15	4.267	0.772	18.087%
日本語学科	2	4.500	0.500	11.111%
法律学科	20	4.250	0.994	23.382%
政治学科	18	4.389	0.678	15.451%
国際関係学科	3	4.667	0.471	10.102%
国際文化学科	6	3.833	0.687	17.927%
経営学科	25	3.960	0.999	25.232%
スポーツ科学科	19	4.158	1.039	24.998%
健康科学科	3	4.333	0.943	21.757%
看護学科	11	4.273	1.213	28.387%
社会学科	9	3.222	1.315	40.801%
全学	225	4.129	0.974	23.579%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	120	4.083	1.092
2	90	4.156	0.829
3	7	4.429	0.728
4	8	4.250	0.661

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	22.222%	22.222%	55.556%
中国文学科	0.000%	0.000%	50.000%	25.000%	25.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	18.182%	27.273%	54.545%
教育学科	0.000%	0.000%	33.333%	0.000%	66.667%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
歴史文化学科	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%	0.000%
社会経済学科	0.000%	3.226%	22.581%	32.258%	41.935%
現代経済学科	5.882%	5.882%	5.882%	23.529%	58.824%
中国語学科	0.000%	0.000%	30.769%	46.154%	23.077%
英語学科	0.000%	0.000%	20.000%	33.333%	46.667%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
法律学科	5.000%	0.000%	10.000%	35.000%	50.000%
政治学科	0.000%	0.000%	11.111%	38.889%	50.000%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
国際文化学科	0.000%	0.000%	33.333%	50.000%	16.667%
経営学科	4.000%	0.000%	28.000%	32.000%	36.000%
スポーツ科学科	5.263%	0.000%	15.789%	31.579%	47.368%
健康科学科	0.000%	0.000%	33.333%	0.000%	66.667%
看護学科	9.091%	0.000%	9.091%	18.182%	63.636%
社会学科	22.222%	0.000%	22.222%	44.444%	11.111%
全学	3.111%	1.333%	19.111%	32.444%	44.000%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	5.833%	1.667%	15.833%	31.667%	45.000%
2	0.000%	1.111%	24.444%	32.222%	42.222%
3	0.000%	0.000%	14.286%	28.571%	57.143%
4	0.000%	0.000%	12.500%	50.000%	37.500%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲/熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が約 8 割(77.23%)で、学生は概ね自身の熱意を評価している。学生熱意の全学平均値は 3.94 であった。

特に気になるのは書道学科と歴史文化学科の傾向である。書道の変動係数が 45.93%と突出して高い (平均値 21.38%)。書道学科の回答分布をみると、3 が 0.00%、1 と 2 の合計

は 40.00%、 4 と 5 の合計 60.00% と意欲に対する認識が二極化している。次に変動係数が高いのが歴文化学科 29.63%で、回答分布では 5 が 0.00%であった。

英米文学科 (12.70%) と教育学科 (10.54%) の変動係数は低く、かつ1と2が0.00% (教育学科は3も0.00%) と意欲の高さは顕著であった。ちなみに国際関係学科と健康科学科、看護学科も1と2は0.00%であり、上位評価に集中している。

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	37	4.027	0.885	21.974%
中国文学科	5	4.000	0.632	15.811%
英米文学科	23	4.304	0.547	12.697%
教育学科	7	4.286	0.452	10.541%
書道学科	5	3.200	1.470	45.928%
歴史文化学科	13	3.385	1.003	29.633%
社会経済学科	78	3.859	0.858	22.239%
現代経済学科	56	3.857	0.789	20.454%
中国語学科	25	3.840	0.784	20.412%
英語学科	45	4.178	0.739	17.690%
日本語学科	7	3.857	0.639	16.563%
法律学科	46	3.957	0.721	18.223%
政治学科	38	4.079	0.839	20.574%
国際関係学科	9	3.889	0.567	14.569%
国際文化学科	9	3.889	0.875	22.497%
経営学科	58	3.793	0.961	25.324%
スポーツ科学科	29	3.862	0.860	22.268%
健康科学科	11	4.364	0.771	17.678%
看護学科	22	4.000	0.739	18.464%
社会学科	26	3.846	0.818	21.260%
全学	549	3.936	0.842	21.378%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	277	3.877	0.887
2	219	4.009	0.788
3	24	3.750	0.878
4	29	4.103	0.661

Q5「自分意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	2.703%	2.703%	13.514%	51.351%	29.730%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.000%	60.000%	20.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	4.348%	60.870%	34.783%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	71.429%	28.571%
書道学科	20.000%	20.000%	0.000%	40.000%	20.000%
歴史文化学科	7.692%	15.385%	7.692%	69.231%	0.000%
社会経済学科	1.282%	5.128%	21.795%	50.000%	21.795%
現代経済学科	0.000%	7.143%	17.857%	57.143%	17.857%
中国語学科	0.000%	4.000%	28.000%	48.000%	20.000%
英語学科	0.000%	4.444%	6.667%	55.556%	33.333%
日本語学科	0.000%	0.000%	28.571%	57.143%	14.286%
法律学科	0.000%	6.522%	8.696%	67.391%	17.391%
政治学科	2.632%	2.632%	7.895%	57.895%	28.947%
国際関係学科	0.000%	0.000%	22.222%	66.667%	11.111%
国際文化学科	0.000%	11.111%	11.111%	55.556%	22.222%
経営学科	1.724%	8.621%	22.414%	43.103%	24.138%
スポーツ科学科	0.000%	6.897%	24.138%	44.828%	24.138%
健康科学科	0.000%	0.000%	18.182%	27.273%	54.545%
看護学科	0.000%	0.000%	27.273%	45.455%	27.273%
社会学科	0.000%	7.692%	19.231%	53.846%	19.231%
全学	1.093%	5.282%	16.393%	53.370%	23.862%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.083%	7.581%	16.968%	51.264%	23.105%
2	0.913%	3.196%	15.525%	54.795%	25.571%
3	4.167%	0.000%	29.167%	50.000%	16.667%
4	0.000%	3.448%	6.897%	65.517%	24.138%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 89.25%であった。学生は教員の熱意を高く評価していると言える。教員熱意の平均値は 4.44 であった。 英米文学科、教育学科、日本語学科は1から 3 が 0.00%、中国文学科、健康科学科、看護学科は1と2が 0.00%を示し、自然系科目の教員の熱意を非常に高く評価している。

一方で、書道学科は1が20.00%を示し、評価は二極化する。ただし、これらの特徴的な傾向がみられた学科は回答者数も少ないため、この点も留意しておかねばならないだろう。

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	37	4.541	0.757	16.667%
中国文学科	5	4.400	0.800	18.182%
英米文学科	24	4.583	0.493	10.757%
教育学科	7	4.714	0.452	9.583%
書道学科	5	3.800	1.470	38.676%
歴史文化学科	13	4.154	0.948	22.831%
社会経済学科	78	4.423	0.760	17.180%
現代経済学科	55	4.418	0.888	20.102%
中国語学科	25	4.360	0.794	18.210%
英語学科	45	4.489	0.719	16.011%
日本語学科	7	4.714	0.452	9.583%
法律学科	46	4.522	0.773	17.093%
政治学科	38	4.474	0.939	20.979%
国際関係学科	9	4.556	0.685	15.035%
国際文化学科	9	4.444	0.685	15.411%
経営学科	58	4.466	0.814	18.229%
スポーツ科学科	29	4.414	0.929	21.050%
健康科学科	11	4.545	0.656	14.422%
看護学科	22	4.500	0.657	14.603%
社会学科	26	4.115	1.050	25.509%
全学	549	4.444	0.818	18.410%

学年	回答者数	回答者数 平均	
1	277	4.430	0.828
2	218	4.468	0.802
3	24	4.500	0.645
4	30	4.367	0.948

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	2.703%	8.108%	21.622%	67.568%
中国文学科	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	41.667%	58.333%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
書道学科	20.000%	0.000%	0.000%	40.000%	40.000%
歴史文化学科	0.000%	7.692%	15.385%	30.769%	46.154%
社会経済学科	0.000%	2.564%	8.974%	32.051%	56.410%
現代経済学科	1.818%	3.636%	5.455%	29.091%	60.000%
中国語学科	0.000%	4.000%	8.000%	36.000%	52.000%
英語学科	0.000%	2.222%	6.667%	31.111%	60.000%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
法律学科	0.000%	4.348%	4.348%	26.087%	65.217%
政治学科	2.632%	2.632%	7.895%	18.421%	68.421%
国際関係学科	0.000%	0.000%	11.111%	22.222%	66.667%
国際文化学科	0.000%	0.000%	11.111%	33.333%	55.556%
経営学科	1.724%	0.000%	10.345%	25.862%	62.069%
スポーツ科学科	3.448%	0.000%	10.345%	24.138%	62.069%
健康科学科	0.000%	0.000%	9.091%	27.273%	63.636%
看護学科	0.000%	0.000%	9.091%	31.818%	59.091%
社会学科	7.692%	0.000%	3.846%	50.000%	38.462%
全学	1.275%	2.004%	7.468%	29.508%	59.745%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	1.805%	1.444%	6.859%	31.769%	58.123%
2	0.917%	1.835%	8.716%	26.606%	61.927%
3	0.000%	0.000%	8.333%	33.333%	58.333%
4	0.000%	10.000%	3.333%	26.667%	60.000%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が80%超えており(85.22%)、学生が自身の成長感覚を高く評価していると言える。特に、教育学科と国際関係学科は、5 と 4 の合計が100%で、成長感覚の認識が非常に高い。これに対して、中国語

学科 68.00%・日本語学科 71.43%・歴史文化学科 76.92%・社会学科 76.92%・国際文化学科 77.78%・社会経済学科 79.45%の 6 学科は、全共科目全体の平均値 85.22%を大幅に下回っている。この結果から、学科間の授業認識に関する成長感覚の相違及び格差を確認できる。 成長感覚の平均値は 4.24 であった(標準偏差 0.86)。

変動係数からみると、学科間の相違と格差が明確となる。変動係数は、5と4の割合が100%であった教育学科が7.20%、国際関係学科が7.64%を示し、平均値20.29%と比べて非常に低かった。逆に、5と4の割合合計が最も低い中国語学科(68.00%)の変動係数は23.42%であった。

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	37	4.514	0.642	14.221%
中国文学科	5	4.000	0.894	22.361%
英米文学科	24	4.333	0.553	12.756%
教育学科	7	4.857	0.350	7.204%
書道学科	5	3.400	1.200	35.294%
歴史文化学科	13	3.846	0.948	24.658%
社会経済学科	78	4.192	0.892	21.286%
現代経済学科	56	4.196	0.811	19.328%
中国語学科	25	3.880	0.909	23.418%
英語学科	44	4.386	0.647	14.755%
日本語学科	7	4.000	1.069	26.726%
法律学科	46	4.326	0.782	18.070%
政治学科	38	4.289	0.971	22.633%
国際関係学科	9	4.111	0.314	7.644%
国際文化学科	9	4.222	1.030	24.404%
経営学科	58	4.276	0.805	18.827%
スポーツ科学科	29	4.241	1.005	23.703%
健康科学科	10	4.400	0.800	18.182%
看護学科	22	4.318	0.873	20.220%
社会学科	26	3.962	1.055	26.642%
全学	548	4.237	0.860	20.293%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	276	4.167	0.937
2	218	4.307	0.803
3	24	4.208	0.576
4	30	4.400	0.611

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	8.108%	32.432%	59.459%
中国文学科	0.000%	0.000%	40.000%	20.000%	40.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	4.167%	58.333%	37.500%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	85.714%
書道学科	20.000%	0.000%	0.000%	80.000%	0.000%
歴史文化学科	0.000%	15.385%	7.692%	53.846%	23.077%
社会経済学科	1.282%	2.564%	16.667%	34.615%	44.872%
現代経済学科	1.786%	1.786%	8.929%	50.000%	37.500%
中国語学科	0.000%	8.000%	24.000%	40.000%	28.000%
英語学科	0.000%	0.000%	9.091%	43.182%	47.727%
日本語学科	0.000%	14.286%	14.286%	28.571%	42.857%
法律学科	0.000%	4.348%	6.522%	41.304%	47.826%
政治学科	2.632%	5.263%	5.263%	34.211%	52.632%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	88.889%	11.111%
国際文化学科	0.000%	11.111%	11.111%	22.222%	55.556%
経営学科	1.724%	0.000%	12.069%	41.379%	44.828%
スポーツ科学科	3.448%	3.448%	10.345%	31.034%	51.724%
健康科学科	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	60.000%
看護学科	4.545%	0.000%	0.000%	50.000%	45.455%
社会学科	3.846%	7.692%	11.538%	42.308%	34.615%
全学	1.460%	2.920%	10.401%	40.876%	44.343%

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.174%	4.348%	10.870%	39.855%	42.754%
2	0.917%	1.835%	10.550%	38.991%	47.706%
3	0.000%	0.000%	8.333%	62.500%	29.167%
4	0.000%	0.000%	6.667%	46.667%	46.667%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として 10 段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

授業内容の認識に関する総合満足の平均値は 7.99 であった(人文系 8.15、社会系 7.99、 保健体育系 9.03)。

満足度の高い10(大いに満足した)から8までの回答割合の合計が7割に近く(68.18%)、

学生は総合的に満足していると言える。満足度の低い1(まったく満足できなかった)から4までの回答割合の合計が3.82%でああった。

変動係数から授業認識の総合満足度を判断すると、次のように説明できる。変動係数の平均値(22.81%)を上回っている学科は9学科であった(書道学科45.98%、中国文学科33.76%、国際関係学科32.82%、歴史文化学科32.16%、社会学科27.49%、看護学科25.83%、法律学科25.76%、経営学科23.77%、国際文化学科23.57%)。この結果から総合満足に関する評価は各点に分散していることがわかる。

変動係数の高さが突出している書道学科(45.98%)は、バラツキの大きさが回答分布からわかる。 1 が 20%、 2 から 6 および 9 が 0 %を示しており評価が分散する。国際関係学科も同様の傾向で、総合満足度は二極化している。

【全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	標準偏差
日本文学科	37	8.514	1.702	19.997%
中国文学科	5	7.400	2.498	33.757%
英米文学科	24	8.250	1.665	20.177%
教育学科	7	9.143	0.833	9.111%
書道学科	5	7.200	3.311	45.980%
歴史文化学科	13	7.231	2.326	32.162%
社会経済学科	78	7.756	1.681	21.671%
現代経済学科	56	8.036	1.603	19.951%
中国語学科	25	7.480	1.418	18.952%
英語学科	45	8.467	1.454	17.179%
日本語学科	7	8.000	1.414	17.678%
法律学科	46	7.739	1.994	25.763%
政治学科	38	8.211	1.794	21.851%
国際関係学科	9	8.222	2.699	32.824%
国際文化学科	9	8.111	1.912	23.568%
経営学科	58	7.845	1.864	23.766%
スポーツ科学科	29	8.000	1.462	18.277%
健康科学科	11	9.182	1.192	12.985%
看護学科	22	7.909	2.043	25.830%
社会学科	26	7.500	2.062	27.487%
全学	550	7.991	1.823	22.808%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	277	7.715	1.872
2	219	8.256	1.805
3	24	8.417	1.351
4	30	8.267	1.365

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	0.000%	2.703%	2.703%	2.703%	0.000%	10.811%	24.324%	18.919%	37.838%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	0.000%	0.000%	20.000%	0.000%	40.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	4.167%	8.333%	29.167%	12.500%	33.333%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	28.571%	42.857%
書道学科	20.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	20.000%	20.000%	0.000%	40.000%
歴史文化学科	7.692%	0.000%	0.000%	7.692%	0.000%	7.692%	15.385%	30.769%	23.077%	7.692%
社会経済学科	0.000%	0.000%	1.282%	1.282%	11.538%	8.974%	11.538%	30.769%	17.949%	16.667%
現代経済学科	0.000%	0.000%	1.786%	0.000%	7.143%	7.143%	16.071%	23.214%	25.000%	19.643%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	8.000%	12.000%	40.000%	20.000%	4.000%	16.000%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.667%	4.444%	8.889%	26.667%	22.222%	31.111%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	28.571%	28.571%	0.000%	28.571%
法律学科	2.174%	0.000%	0.000%	6.522%	6.522%	4.348%	19.565%	15.217%	28.261%	17.391%
政治学科	2.632%	0.000%	0.000%	0.000%	7.895%	2.632%	2.632%	34.211%	28.947%	21.053%
国際関係学科	11.111%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	11.111%	44.444%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	22.222%	0.000%	11.111%	11.111%	22.222%	33.333%
経営学科	0.000%	1.724%	1.724%	0.000%	6.897%	10.345%	20.690%	20.690%	10.345%	27.586%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	3.448%	0.000%	0.000%	10.345%	13.793%	31.034%	31.034%	10.345%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	9.091%	0.000%	9.091%	27.273%	54.545%
看護学科	0.000%	0.000%	4.545%	0.000%	9.091%	13.636%	13.636%	13.636%	9.091%	36.364%
社会学科	3.846%	0.000%	0.000%	3.846%	11.538%	0.000%	23.077%	19.231%	26.923%	11.538%
全学	1.091%	0.182%	1.091%	1.455%	7.273%	6.364%	14.364%	24.364%	19.636%	24.182%

【 全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1.083%	0.361%	1.444%	1.805%	9.386%	7.942%	16.968%	23.105%	19.134%	18.773%
2	1.370%							23.288%		
3	0.000%							33.333%		
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	16.667%	6.667%	36.667%	13.333%	26.667%

【クロス表に関する結果(自然系)】

自然系科目を履修している学生の授業認識に対する「教員熱意と学生熱意」とのクロス表 (表1:回答数、表2:パーセント)では、それぞれの行で最も高い数値を赤字で示している。

また、右端の列(4+5)に 4「どちらかと言えばそう思う」と 5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。まず、右端の列の数字 $(1\rightarrow 4\rightarrow 12\rightarrow 122\rightarrow 285)$ から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。

次に、教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字: $3\rightarrow 4\rightarrow 23\rightarrow 112\rightarrow 119$)も互い

に上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、 自分意欲を強く感じるようになっていくことがわかる。

表 1

●【 **全学共通科目(自然系)(学生所属別)**】 クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [回答数]

	自分意欲					0.01		
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	3	3	0	1	0	7	1
教	2 どちらかと言えばそう思わない	0	4	3	3	1	11	4
員熱	3 どちらとも言えない	0	6	23	11	1	41	12
意	4 どちらかと言えばそう思う	1	6	32	112	10	161	122
	5 強くそう思う	2	10	31	166	119	328	285
	合計	6	29	89	293	131	548	424

表 2

●【 全学共通科目(自然系)(学生所属別)] クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

	自分意欲						A =1	
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	42.857%	42.857%	0.000%	14.286%	0.000%	100.000%	14.286%
教	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	36.364%	27.273%	27.273%	9.091%	100.000%	36.364%
貝熱	3 どちらとも言えない	0.000%	14.634%	56.098%	26.829%	2.439%	100.000%	29.268%
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.621%	3.727%	19.876%	69.565%	6.211%	100.000%	75.776%
	5 強くそう思う	0.610%	3.049%	9.451%	50.610%	36.280%	100.000%	86.890%

【相関係数表に関する結果(自然系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満($-0.3\sim-0.6$)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満($-0.6\sim-1$)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。

分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、 正の相関関係がみられた。

まず、自然系科目に対する学生の「総合満足度」は、特に「成長実感(成長感覚)」との間に強い正の相関関係 0.62 がみられ、正の相関関係の順に「教員熱意 0.56」「学生意欲 0.54」「シラバス通り 0.53」「FB 丁寧 0.49」と続く。これは、「総合満足度」の向上は、「成長感覚を持ているかどうか」が最も強く影響することを示す。

次に、「成長感覚」との相関関係順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.595 がみられた。その後は正の相関関係順に、「シラバス通り 0.55」「FB 丁寧 0.53」「学生 意欲 0.52」と続く。つまり、「成長感覚」の向上は、教員の熱意があるかどうかが弱く影響 することを示している。

「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという強い相関関係が示された。自然系科目に対して、学生は「成長感覚」

をやや高く評価している。

●【**全学共通科目(自然系)〈学生所属別〉**】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【ショバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	0.013	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.443	-0.116	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.441	-0.081	0.517	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.517	-0.045	0.486	0.467	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.552	-0.106	0.526	0.524	0.595	1.000	
Q8	【総合満足】	0.534	-0.235	0.492	0.535	0.562	0.615	1.000

【全学共通科目(保健体育系)(学生所属別)】

保健体育系科目の回答率は 48.45%と、全共科目全体 41.07%よりも高い数値であり、4 つの履修科目系の中で最も高い回答率を示している。学科別の回答率を見ると、中国文学科が 76.19 で一番高い値である。次いで、健康科学科 61.54%・社会学科 60.75%・法律学科 60.00%・歴史文化学科 57.45%・日本文学科 56.48%・国際関係学科 56.25%・政治学科 56.00%・書道学科 53.57%・スポーツ科学科 51.02%で、50%を超えるのが 10 学科あった。

日本語学科(28.57%)と経営学科(28.81%)は20%台という低い回答率であった。

学科別(左)および学年別(右)回答率

学科 / 部局	回答数	未回答数	合計	回答率
日本文学科	61	47	108	56.481%
中国文学科	16	5	21	76.190%
英米文学科	51	65	116	43.966%
教育学科	26	47	73	35.616%
書道学科	15	13	28	53.571%
歷史文化学科	27	20	47	57.447%
社会経済学科	31	28	59	52.542%
現代経済学科	8	9	17	47.059%
中国語学科	8	14	22	36.364%
英語学科	26	36	62	41.935%
日本語学科	6	15	21	28.571%
法律学科	21	14	35	60.000%
政治学科	14	11	25	56.000%
国際関係学科	9	7	16	56.250%
国際文化学科	7	12	19	36.842%
経営学科	34	84	118	28.814%
スポーツ科学科	50	48	98	51.020%
健康科学科	40	25	65	61.538%
看護学科	33	41	74	44.595%
社会学科	65	42	107	60.748%
全学	548	583	1,131	48.453%

学年	回答数	未回答数	合計	回答率
1	459	407	866	53.002%
2	79	137	216	36.574%
3	4	11	15	26.667%
4	4	16	20	20.000%

Q1a あなたはこの授業のシラバス内容を知っていますか。【シラバス既知】

シラバス既知率は82.73%と、全共科目全体(81.20%)よりも高く、書道学科・日本語学科・政治学科・国際文化学科は100%であった。日本語学科と国際文化学科の回答者数は10名以下であることから、この点は留意が必要であろう。

Q 1a「シラバス既知」の学科別(左) および学年別(右)回答

(1「いいえ (あまりよく) 知りません」/ 2「はい (おおよそ) 知っています」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	19.672%	80.328%
中国文学科	6.250%	93.750%
英米文学科	11.765%	88.235%
教育学科	11.538%	88.462%
書道学科	0.000%	100.000%
歴史文化学科	14.815%	85.185%
社会経済学科	<mark>25</mark> .806%	74.194%
現代経済学科	12.500%	87.500%
中国語学科	33.333%	66.667%
英語学科	<mark>2</mark> 3.077%	76.923%
日本語学科	0.000%	100.000%
法律学科	<mark>1</mark> 9.048%	80.952%
政治学科	0.000%	100.000%
国際関係学科	33.333%	66.667%
国際文化学科	0.000%	100.000%
経営学科	11.765%	88.235%
スポーツ科学科	<mark>2</mark> 1.569%	78.431%
健康科学科	<mark>27</mark> .500%	72.500%
看護学科	6.061%	93.939%
社会学科	<mark>24</mark> .615%	75.385%
全学	17.273%	82.727%

学年	1	2
1	18.655%	81.345%
2	8.750%	91.250%
3	0.000%	100.000%
4	50.000%	<mark>50.000</mark> %

Q1b この授業はシラバスの記述通りに行われたと思いますか。【シラバス通り】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 9 割を超えており (93.66%)、平均値は 4.51 であった。変動係数においても、他の科目履修系に比べて低く学科間の格差も大きくない (平均値 14.68%)。

Q 1b「シラバス通り」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	52	4.308	0.573	13.303%
中国文学科	16	4.500	0.612	13.608%
英米文学科	48	4.688	0.506	10.805%
教育学科	24	4.417	0.909	20.582%
書道学科	15	4.467	0.499	11.169%
歴史文化学科	24	4.458	0.576	12.916%
社会経済学科	26	4.577	0.567	12.379%
現代経済学科	7	5.000	0.000	0.000%
中国語学科	6	4.333	0.745	17.201%
英語学科	24	4.375	0.633	14.475%
日本語学科	5	4.800	0.400	8.333%
法律学科	19	4.684	0.465	9.923%
政治学科	14	4.857	0.350	7.204%
国際関係学科	8	4.750	0.433	9.116%
国際文化学科	8	4.500	0.707	15.713%
経営学科	30	4.633	0.482	10.401%
スポーツ科学科	45	4.511	0.687	15.231%
健康科学科	33	4.394	0.851	19.360%
看護学科	31	4.548	0.711	15.635%
社会学科	54	4.370	0.800	18.314%
全学	489	4.509	0.662	14.678%

学年	回答者数	平均	標準偏差	
1	402	4.505	0.666	
2	78	4.500	0.635	
3	4	5.000	0.000	
4	4	4.500	0.866	

Q 1b「シラバス通り」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	5.769%	57.692%	36.538%
中国文学科	0.000%	0.000%	6.250%	37.500%	56.250%
英米文学科	0.000%	0.000%	2.083%	27.083%	70.833%
教育学科	0.000%	8.333%	4.167%	25.000%	62.500%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	53.333%	46.667%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	4.167%	45.833%	50.000%
社会経済学科	0.000%	0.000%	3.846%	34.615%	61.538%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	16.667%	33.333%	50.000%
英語学科	0.000%	0.000%	8.333%	45.833%	45.833%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	20.000%	80.000%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	31.579%	68.421%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	85.714%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	12.500%	25.000%	62.500%
経営学科	0.000%	0.000%	0.000%	36.667%	63.333%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	11.111%	26.667%	62.222%
健康科学科	3.030%	0.000%	6.061%	36.364%	54.545%
看護学科	0.000%	3.226%	3.226%	29.032%	64.516%
社会学科	0.000%	3.704%	9.259%	33.333%	53.704%
全学	0.204%	1.022%	5.112%	34.969%	58.691%

【 全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q 1b「シラバス通り」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.249%	1.244%	4.478%	35.821%	58.209%
2	0.000%	0.000%	7.692%	34.615%	57.692%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%	75.000%

Q2 自分にとってこの授業の難易度は適切だったと思いますか。【難易度適切】

「5とても難しかった」と「4やや難しかった」の回答割合の合計は16.05%で、最小00.00% (現代経済学科)から最大 28.13%(看護学科)の間に分布している(平均値:16.06%)。「1とても易しかった」と「2 やや易しかった」の回答割合の合計 17.15%は、最小 0.00%(中国語学科)から最大 37.50%(現代経済学科)の間にあり(平均値 17.16%)、「3 適切だった」は最小

42.86%(法律学科)から最大 85.19%(歴史文化学科)の間に分布している(平均値 66.79%)。 平均値は他の科目系に比べて相対的に低い 2.96%であった。

この分布から、保健体育系科目を履修した学生の 66.8%が授業内容を適切であると認識していることがわかる。一方で、難しいと認識している学生が 16.05%、易しいと捉えている学生が 17.15%で、ほぼ同じ割合でいることわかる。

授業内容の難易度の平均値 2.96 は、他の履修科目系に比べて最も低かった。

変動係数の平均値(28.98%)を上回っているのは 6 学科であった(健康科学科 43.68%・法律学科 39.37%・政治学科 38.80%・社会経済学科 38.30%・中国文学科 32.89%・英米文学科 32.05%)。1 と 2 の合計が高いのは健康科学科 35.00%と法律学科 33.33%であり、保健体育系科目の授業内容を易しいと認識している学生が相対的に多い。

変動係数の平均値(28.98%)を下回っているのは 14 学科であった。その中で、他学科に比べて、授業内容が難しいという認識(4 と 5 の合計)を示しているのは看護学科 28.13%、国際文化学科 25.00%、中国語学科 22.22%、日本語学科 20.00%の 4 学科であった。これに対して、相対的に易しいという認識(1 と 2 の合計)を示しているのは教育学科 26.92%、書道学科 20.00%、日本語学科 20.00%、社会経済学科 19.36%の 4 学科であった。

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q 2 「難易度適切」の学科別(左) および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	61	3.033	0.652	21.500%
中国文学科	16	2.938	0.966	32.893%
英米文学科	51	2.961	0.949	32.049%
教育学科	26	2.731	0.710	26.009%
書道学科	15	3.000	0.730	24.343%
歴史文化学科	27	3.074	0.378	12.287%
社会経済学科	31	2.871	1.100	38.301%
現代経済学科	8	2.500	0.707	28.284%
中国語学科	9	3.222	0.416	12.902%
英語学科	26	2.962	0.649	21.925%
日本語学科	5	3.000	0.632	21.082%
法律学科	21	2.857	1.125	39.370%
政治学科	14	2.786	1.081	38.802%
国際関係学科	9	2.889	0.737	25.512%
国際文化学科	8	3.000	0.707	23.570%
経営学科	34	3.029	0.618	20.388%
スポーツ科学科	51	3.020	0.874	28.953%
健康科学科	40	2.600	1.136	43.684%
看護学科	32	3.344	0.814	24.353%
社会学科	64	3.016	0.820	27.176%
全学	548	2.960	0.858	28.977%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	459	2.980	0.882
2	80	2.863	0.720
3	4	3.000	0.000
4	4	2.500	0.866

Q2「難易度適切」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
3 11 / HP7-3	_	_		•	
日本文学科	4.918%	4.918%	72.131%	18.033%	0.000%
中国文学科	12.500%	6.250%	62.500%	12.500%	6.250%
英米文学科	9.804%	7.843%	68.627%	3.922%	9.804%
教育学科	7.692%	19.231%	65.385%	7.692%	0.000%
書道学科	0.000%	20.000%	66.667%	6.667%	6.667%
歴史文化学科	0.000%	3.704%	85.185%	11.111%	0.000%
社会経済学科	19.355%	0.000%	64.516%	6.452%	9.677%
現代経済学科	12.500%	25.000%	62.500%	0.000%	0.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	77.778%	22.222%	0.000%
英語学科	3.846%	11.538%	69.231%	15.385%	0.000%
日本語学科	0.000%	20.000%	60.000%	20.000%	0.000%
法律学科	14.286%	19.048%	42.857%	14.286%	9.524%
政治学科	21.429%	0.000%	64.286%	7.143%	7.143%
国際関係学科	11.111%	0.000%	77.778%	11.111%	0.000%
国際文化学科	0.000%	25.000%	50.000%	25.000%	0.000%
経営学科	2.941%	5.882%	79.412%	8.824%	2.941%
スポーツ科学科	5.882%	11.765%	64.706%	9.804%	7.843%
健康科学科	25.000%	10.000%	52.500%	5.000%	7.500%
看護学科	3.125%	0.000%	68.750%	15.625%	12.500%
社会学科	4.688%	12.500%	65.625%	10.938%	6.250%
全学	8.212%	8.942%	66.788%	10.766%	5.292%

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q2「難易度適切」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	8.932%	7.407%	66.013%	11.983%	5.664%
2	3.750%	18.750%	68.750%	5.000%	3.750%
3	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%	0.000%
4	25.000%	0.000%	75.000%	0.000%	0.000%

Q3 あなたはこの授業で教員に授業に関連して質問したことがありますか。【質問対応】

全学共通科目全体と似た傾向であったが、現代経済学科、中国語学科、国際文化学科は、質問したことがある学生が 0.00%であった。とはいえ、質問したことがある学生が 15.44% と、全共科目全体 13.2%よりも高い結果となった。

Q3「質問対応」の学科別(左)および学年別(右)回答

(1「いいえ、したことがありません」/ 2「はい、あります」)

学科 / 部局	1	2
日本文学科	85.246%	14.754%
中国文学科	81.250%	18.750%
英米文学科	94.118%	5.882%
教育学科	76.923%	23.077%
書道学科	80.000%	<mark>2</mark> 0.000%
歴史文化学科	84.615%	15.385%
社会経済学科	83.871%	16.129%
現代経済学科	100.000%	0.000%
中国語学科	100.000%	0.000%
英語学科	80.769%	<mark>1</mark> 9.231%
日本語学科	80.000%	<mark>2</mark> 0.000%
法律学科	80.952%	19.048%
政治学科	78.571%	<mark>2</mark> 1.429%
国際関係学科	77.778%	<mark>2</mark> 2.222%
国際文化学科	100.000%	0.000%
経営学科	88.235%	11.765%
スポーツ科学科	74.000%	26.000%
健康科学科	90.000%	10.000%
看護学科	71.875%	28.125%
社会学科	90.323%	9.677%
全学	84.559%	15.441%

学年	1	2
1	85.275%	14.725%
2	78.750%	<mark>2</mark> 1.250%
3	100.000%	0.000%
4	100.000%	0.000%

Q4 質問に対する教員の対応が適切だったと思いますか。【フィードバック】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 7 割(75.61%)を超えており、学生が教員の対応を概ね評価していると言える。20 学科中 18 学科が 1 と 2 が 0 %で、5 に集中する結果となった。ただし、スポーツ科学科は 1 が 7.41%、看護学科は 1 と 2 の合計が 15.79%を示し、バラツキがみられた。フィードバックの平均値は 4.28 であった。

Q4「フィードバック」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	13	4.615	0.625	13.540%
中国文学科	8	4.250	0.829	19.510%
英米文学科	14	4.286	0.881	20.548%
教育学科	9	4.778	0.629	13.155%
書道学科	5	4.600	0.800	17.391%
歴史文化学科	7	4.714	0.700	14.845%
社会経済学科	12	4.000	0.913	22.822%
現代経済学科	3	4.000	0.816	20.412%
中国語学科	2	3.500	0.500	14.286%
英語学科	14	4.643	0.610	13.145%
日本語学科	1	5.000	0.000	0.000%
法律学科	10	4.600	0.663	14.420%
政治学科	9	4.222	0.916	21.701%
国際関係学科	5	4.000	0.894	22.361%
国際文化学科	2	4.000	0.000	0.000%
経営学科	15	4.200	0.748	17.817%
スポーツ科学科	27	4.037	1.201	29.756%
健康科学科	14	4.286	0.958	22.361%
看護学科	19	3.895	1.334	34.240%
社会学科	16	4.375	0.781	17.843%
全学	205	4.283	0.951	22.216%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	172	4.262	0.974
2	31	4.355	0.825
3	1	5.000	0.000
4	1	5.000	0.000

Q4「フィードバック」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	7.692%	23.077%	69.231%
中国文学科	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%
英米文学科	0.000%	0.000%	28.571%	14.286%	57.143%
教育学科	0.000%	0.000%	11.111%	0.000%	88.889%
書道学科	0.000%	0.000%	20.000%	0.000%	80.000%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	14.286%	0.000%	85.714%
社会経済学科	0.000%	0.000%	41.667%	16.667%	41.667%
現代経済学科	0.000%	0.000%	33.333%	33.333%	33.333%
中国語学科	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%	0.000%
英語学科	0.000%	0.000%	7.143%	21.429%	71.429%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
法律学科	0.000%	0.000%	10.000%	20.000%	70.000%
政治学科	0.000%	0.000%	33.333%	11.111%	55.556%
国際関係学科	0.000%	0.000%	40.000%	20.000%	40.000%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	0.000%
経営学科	0.000%	0.000%	20.000%	40.000%	40.000%
スポーツ科学科	7.407%	0.000%	25.926%	14.815%	51.852%
健康科学科	0.000%	0.000%	35.714%	0.000%	64.286%
看護学科	10.526%	5.263%	15.789%	21.053%	47.368%
社会学科	0.000%	0.000%	18.750%	25.000%	56.250%
全学	1.951%	0.488%	21.951%	18.537%	57.073%

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q4「フィードバック」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	2.326%	0.581%	22.093%	18.605%	56.395%
2	0.000%	0.000%	22.581%	19.355%	58.065%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%

Q5 あなたはこの授業に対して意欲/熱意をもって取り組んだと思いますか。【学生意欲】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が 9 割(92.18%) を示し、学生が自身の熱意を評価している。平均値は 4.50 であった。

Q5「自分意欲」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	61	4.443	0.587	13.222%
中国文学科	16	4.500	0.791	17.568%
英米文学科	51	4.490	0.606	13.502%
教育学科	26	4.654	0.731	15.702%
書道学科	15	4.600	0.490	10.650%
歴史文化学科	27	4.519	0.739	16.352%
社会経済学科	31	4.419	0.872	19.722%
現代経済学科	8	4.500	0.707	15.713%
中国語学科	9	3.889	0.567	14.569%
英語学科	26	4.154	0.769	18.519%
日本語学科	5	5.000	0.000	0.000%
法律学科	21	4.714	0.547	11.605%
政治学科	14	4.429	0.904	20.402%
国際関係学科	9	4.444	0.685	15.411%
国際文化学科	8	4.500	0.500	11.111%
経営学科	34	4.471	0.696	15.569%
スポーツ科学科	51	4.627	0.593	12.810%
健康科学科	40	4.600	0.663	14.420%
看護学科	33	4.424	0.653	14.754%
社会学科	65	4.554	0.556	12.200%
全学	550	4.502	0.674	14.961%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	461	4.510	0.674
2	80	4.450	0.687
3	4	4.750	0.433
4	4	4.250	0.433

Q5「自分意欲」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	4.918%	45,902%	49,180%
中国文学科	0.000%		18.750%	12.500%	68.750%
英米文学科	0.000%	0.000%	5.882%	39.216%	54.902%
教育学科	0.000%	3.846%	3.846%	15.385%	76.923%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	40.000%	60.000%
歴史文化学科	0.000%	3.704%	3.704%	29.630%	62.963%
社会経済学科	3.226%	0.000%	6.452%	32.258%	58.065%
現代経済学科	0.000%	0.000%	12.500%	25.000%	62.500%
中国語学科	0.000%	0.000%	22.222%	66.667%	11.111%
英語学科	0.000%	0.000%	23.077%	38.462%	38.462%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
法律学科	0.000%	0.000%	4.762%	19.048%	76.190%
政治学科	0.000%	7.143%	7.143%	21.429%	64.286%
国際関係学科	0.000%	0.000%	11.111%	33.333%	55.556%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	50.000%	50.000%
経営学科	0.000%	2.941%	2.941%	38.235%	55.882%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	5.882%	25.490%	68.627%
健康科学科	0.000%	0.000%	10.000%	20.000%	70.000%
看護学科	0.000%	0.000%	9.091%	39.394%	51.515%
社会学科	0.000%	0.000%	3.077%	38.462%	58.462%
全学	0.182%	0.727%	6.909%	33.091%	59.091%

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q5「自分意欲」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.217%	0.651%	6.941%	32.321%	59.870%
2	0.000%	1.250%	7.500%	36.250%	55.000%
3	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	75.000%	25.000%

Q6 教員は熱意をもってこの授業を行ったと思いますか。【教員熱意】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計は 90%超えており (95.64%)、学生が教員の熱意を高く評価している。全共科目全体 (91.94%) と比べても教員の熱意を高く評価していることがわかる。 1 から 3 (日本語学科は 1 から 4)が 0.00% の学科が 6 学科あるのも特徴といえる。平均値は 4.64 であった。

Q6「教員熱意」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数	
日本文学科	61	4.574	0.527	11.514%	
中国文学科	16	4.188	0.808	19.288%	
英米文学科	51	4.647	0.478	10.284%	
教育学科	26	4.731	0.523	11.058%	
書道学科	15	4.733	0.442	9.343%	
歴史文化学科	27	4.593	0.562	12.230%	
社会経済学科	31	4.774	0.489	10.247%	
現代経済学科	8	4.625	0.484	10.468%	
中国語学科	9	4.333	0.667	15.385%	
英語学科	26	4.615	0.625	13.540%	
日本語学科	5	5.000	0.000	0.000%	
法律学科	21	4.571	0.904	19.764%	
政治学科	14	4.500	0.627	13.929%	
国際関係学科	9	4.556	0.685	15.035%	
国際文化学科	8	4.375	0.484	11.066%	
経営学科	34	4.735	0.441	9.317%	
スポーツ科学科	51	4.725	0.563	11.911%	
健康科学科	40	4.725	0.547	11.580%	
看護学科	33	4.697	0.460	9.784%	
社会学科	65	4.600	0.628	13.643%	
全学	550	4.636	0.580	12.518%	

学年	回答者数	平均	標準偏差	
1	461	4.640	0.575	
2	80	4.625	0.599	
3	4	4.750	0.433	
4	4	4.250	0.829	

Q6「教員熱意」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
日本文学科	0.000%	0.000%	1.639%	39.344%	59.016%
中国文学科	0.000%	0.000%	25.000%	31.250%	43.750%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	35.294%	64.706%
教育学科	0.000%	0.000%	3.846%	19.231%	76.923%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	26.667%	73.333%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	3.704%	33.333%	62.963%
社会経済学科	0.000%	0.000%	3.226%	16.129%	80.645%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	37.500%	62.500%
中国語学科	0.000%	0.000%	11.111%	44.444%	44.444%
英語学科	0.000%	0.000%	7.692%	23.077%	69.231%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
法律学科	4.762%	0.000%	0.000%	23.810%	71.429%
政治学科	0.000%	0.000%	7.143%	35.714%	57.143%
国際関係学科	0.000%	0.000%	11.111%	22.222%	66.667%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	62.500%	37.500%
経営学科	0.000%	0.000%	0.000%	26.471%	73.529%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	5.882%	15.686%	78.431%
健康科学科	0.000%	0.000%	5.000%	17.500%	77.500%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	30.303%	69.697%
社会学科	0.000%	0.000%	7.692%	24.615%	67.692%
全学	0.182%	0.000%	4.182%	27.273%	68.364%

【 全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q6「教員熱意」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.217%	0.000%	3.688%	27.766%	68.330%
2	0.000%	0.000%	6.250%	25.000%	68.750%
3	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%
4	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	50.000%

Q7 この授業を通じて「知識が増えた」あるいは「ものごとの捉え方が深くなった」あるいは「技能が向上した」などの成長があったと思いますか。【成長感覚】

「5 強くそう思う」と「4 どちらかと言えばそう思う」の回答割合の合計が80%を超えており(87.77%)、「1 まったくそう思わない」と「2 どちらかと言えばそう思わない」の回答割合の合計が1.83%と、学生は「成長感覚」を高く評価している。すなわち、自身の成長を強く

実感していると言える。「成長感覚」の平均値は4.38であった。

変動係数の結果を見ると、平均値(17.31%)を大きく上回っている学科は現代経済学科32.74%、国際関係学科24.17%、健康科学科22.09%の3学科である。この3学科の回答分布をみると、1と2の合計は、現代経済学科12.5%、国際関係学科11.11%で、健康科学科5.00%で、他学科に比べて「成長感覚」を低く評価している学生の割合が多かった。

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	61	4.164	0.728	17.492%
中国文学科	16	4.250	0.661	15.563%
英米文学科	50	4.560	0.668	14.652%
教育学科	26	4.231	0.750	17.721%
書道学科	15	4.533	0.618	13.638%
歴史文化学科	27	4.148	0.705	16.988%
社会経済学科	31	4.516	0.713	15.779%
現代経済学科	8	3.875	1.269	32.738%
中国語学科	8	4.625	0.484	10.468%
英語学科	26	4.346	0.731	16.814%
日本語学科	6	4.833	0.373	7.711%
法律学科	21	4.714	0.452	9.583%
政治学科	14	4.357	0.811	18.619%
国際関係学科	9	4.111	0.994	24.174%
国際文化学科	8	4.250	0.661	15.563%
経営学科	34	4.676	0.527	11.268%
スポーツ科学科	50	4.440	0.726	16.341%
健康科学科	40	4.375	0.967	22.094%
看護学科	33	4.576	0.605	13.212%
社会学科	65	4.169	0.796	19.081%
全学	548	4.378	0.758	17.313%

学年	回答者数	平均	標準偏差
1	460	4.350	0.776
2	78	4.474	0.655
3	4	5.000	0.000
4	4	4.750	0.433

Q7「成長感覚」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5
	1		J	-	3
日本文学科	0.000%	3.279%	9.836%	54.098%	32.787%
中国文学科	0.000%	0.000%	12.500%	50.000%	37.500%
英米文学科	0.000%	2.000%	4.000%	30.000%	64.000%
教育学科	0.000%	0.000%	19.231%	38.462%	42.308%
書道学科	0.000%	0.000%	6.667%	33.333%	60.000%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	18.519%	48.148%	33.333%
社会経済学科	0.000%	0.000%	12.903%	22.581%	64.516%
現代経済学科	12.500%	0.000%	12.500%	37.500%	37.500%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	37.500%	62.500%
英語学科	0.000%	0.000%	15.385%	34.615%	50.000%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	16.667%	83.333%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	28.571%	71.429%
政治学科	0.000%	0.000%	21.429%	21.429%	57.143%
国際関係学科	0.000%	11.111%	11.111%	33.333%	44.444%
国際文化学科	0.000%	0.000%	12.500%	50.000%	37.500%
経営学科	0.000%	0.000%	2.941%	26.471%	70.588%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	14.000%	28.000%	58.000%
健康科学科	2.500%	2.500%	12.500%	20.000%	62.500%
看護学科	0.000%	0.000%	6.061%	30.303%	63.636%
社会学科	0.000%	4.615%	10.769%	47.692%	36.923%
全学	0.365%	1.460%	10.401%	35.584%	52.190%

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q7「成長感覚」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5
1	0.435%	1.739%	10.870%	36.304%	50.652%
2	0.000%	0.000%	8.974%	34.615%	56.410%
3	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	75.000%

Q8 すべてを総合して、この授業に対してどの程度満足しましたか。10を「100%満足」、1を「10%満足」として 10 段階で最も近いと思われるものを選んでください。【総合満足】

満足度の高い 10 (「大いに満足した」)から 8 までの回答割合の合計が 87.41%と高く、総合的な満足度が高いと言える。満足度の低い 1 (「まったく満足できなった」)から 4 までの回答割合の合計は僅か 0.37%であった。平均値は 9.03 であった。

変動係数から総合満足度を判断すると、次のように説明できる。変動係数の平均値 (14.14%)が全共科目の 4 分類のなかで最も低い数値を示している。この結果は総合満足度 に対する学生の授業評価が上位段階(10~8)に集中していることを示している。

次に、変動係数の平均値14.14%を上回っている学科は8学科であった(書道学科19.26%、 国際文化学科18.11%、社会経済学科16.32%、英語学科16.01%、政治学科16.06%、政治 学科15.93%、日本文学科15.49%、看護学科15.40%、国際関係学科14.47%)。変動係数 の値がその平均値を上回ると、授業認識の分布が平らに歪むが、1から3までの割合はゼロ で、4が4.77%(=社会経済学科3.23%+社会学科1.54%)と低かった。どの学科も、全共科 目全体と比較しても、保健体育系科目に対する総合満足度が高いことが示された。

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」の学科別(左)および学年別(右)の平均値と標準偏差

学科 / 部局	回答者数	平均	標準偏差	変動係数
日本文学科	61	8.738	1.354	15.494%
中国文学科	16	9.000	1.061	11.785%
英米文学科	51	9.196	1.221	13.278%
教育学科	26	9.000	1.271	14.122%
書道学科	15	8.867	1.707	19.258%
歴史文化学科	27	8.889	1.100	12.374%
社会経済学科	31	9.065	1.480	16.324%
現代経済学科	8	8.750	1.199	13.702%
中国語学科	8	8.625	1.218	14.126%
英語学科	26	8.731	1.402	16.060%
日本語学科	6	9.667	0.471	4.877%
法律学科	21	9.333	1.168	12.518%
政治学科	14	9.143	1.457	15.934%
国際関係学科	9	8.889	1.286	14.470%
国際文化学科	7	8.714	1.578	18.107%
経営学科	34	9.412	0.878	9.333%
スポーツ科学科	50	9.220	1.006	10.909%
健康科学科	40	9.200	1.288	14.004%
看護学科	33	8.970	1.381	15.400%
社会学科	65	8.908	1.249	14.025%
全学	548	9.027	1.276	14.138%

学年	回答者数	平均	標準偏差	
1	459	8.972	1.324	
2	79	9.304	0.946	
3	4	9.500	0.500	
4	4	9.000	1.225	

Q8「総合満足」に対する学科別回答分布

学科 / 部局	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	3.279%	4.918%	11.475%	11.475%	32.787%	36.066%
中国文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	18.750%	25.000%	43.750%
英米文学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.961%	3.922%	3.922%	11.765%	19.608%	58.824%
教育学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.692%	3.846%	23.077%	11.538%	53.846%
書道学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	6.667%	13.333%	0.000%	6.667%	13.333%	60.000%
歴史文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	11.111%	33.333%	11.111%	44.444%
社会経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	3.226%	0.000%	3.226%	9.677%	9.677%	12.903%	61.290%
現代経済学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	12.500%	0.000%	12.500%	50.000%	25.000%
中国語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	25.000%	12.500%	37.500%
英語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	15.385%	3.846%	11.538%	30.769%	38.462%
日本語学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	33.333%	66.667%
法律学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	4.762%	9.524%	0.000%	19.048%	66.667%
政治学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	7.143%	0.000%	7.143%	7.143%	14.286%	64.286%
国際関係学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	22.222%	22.222%	0.000%	5 5.556%
国際文化学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	14.286%	0.000%	0.000%	0.000%	57.143%	28.571%
経営学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	26.471%	5.882%	67.647%
スポーツ科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	8.000%	18.000%	18.000%	56.000%
健康科学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	5.000%	0.000%	5.000%	10.000%	20.000%	60.000%
看護学科	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	3.030%	6.061%	6.061%	12.121%	21.212%	51.515%
社会学科	0.000%	0.000%	0.000%	1.538%	0.000%	3.077%	6.154%	23.077%	23.077%	43.077%
全学	0.000%	0.000%	0.000%	0.365%	1.642%	3.650%	6.934%	15.511%	20.438%	51.460%

【全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】

Q8「総合満足」に対する学年別回答分布

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	0.000%	0.000%	0.000%	0.436%	1.961%	4.139%	7.407%	15.904%	19.826%	50.327%
2	0.000%									
3	0.000%	1	}			1			50.000%	50.000%
4	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	25.000%	0.000%		50.000%

【クロス表に関する結果(保健体育系)】

教員熱意と学生熱意とのクロス表(表 1: 回答数、表 2: パーセント)では、それぞれの行で最も高い回答数値を赤字で示している。右端の列(4+5)に、4「どちらかと言えばそう思う」と 5「強くそう思う」の割合を加算した数字を記載している。尚、4 と 5 の合計はローデータに基づいて計算しているため、表では 100 分の 1 の誤差が生じる場合がある。

この回答数を示した表 1 に注目すると、教員熱意が向上すればするほど、右側の数字が高くなっていることが見てとれる。右端の列の数字 $(1\to 0\to 8\to 137\to 361)$ から、教員熱意が向上すればするほど、その数値が上がっていくことが顕著になる。次に、教員熱意と学生意欲とのクロスチェック数値(赤字: $0\to 0\to 14\to 105\to 287)$ も互いに上昇していることを確認できる。この結果から、学生が教員熱意を感じるようになると、自分意欲も強く感じるように

なっていくことがわかる。

表 1

●【 **全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉】**クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) 「回答数】

			0.71					
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	1	1
教員熱	2 どちらかと言えばそう思わない		0	0	0	0	0	0
	3 どちらとも言えない	1	0	14	3	5	23	8
	4 どちらかと言えばそう思う	0	1	12	105	32	150	137
	5 強くそう思う	0	3	12	74	287	376	361
	合計	1	4	38	182	325	550	507

表 2

●【 全学共通科目(保健体育系)(学生所属別)] クロス集計(【自分意欲】×【教員熱意】) [パーセント]

	/		0.71					
		1 まったくそう思わない	2 どちらかと言えばそう思わない	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言えばそう思う	5 強くそう思う	合計	4+5
	1 まったくそう思わない	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%	100.000%	100.000%
教	2 どちらかと言えばそう思わない	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	-	0.000%
員熱	3 どちらとも言えない	4.348%	0.000%	60.870%	13.043%	21.739%	100.000%	34.783%
意	4 どちらかと言えばそう思う	0.000%	0.667%	8.000%	70.000%	21.333%	100.000%	91.333%
	5 強くそう思う	0.000%	0.798%	3.191%	19.681%	76.330%	100.000%	96.011%

【相関係数表に関する結果(保健体育系)】

相関係数に関しては、+0.3 以上+0.6 未満($-0.3\sim-0.6$)で弱い正(負)の相関関係、+0.6 以上+1 未満($-0.6\sim-1$)で強い正(負)の相関関係があると解釈できる。当該相関係数表では、弱い正の相関関係を青字、強い正の相関関係を赤字でそれぞれ記す。

分析の結果、「難易度が適切かどうか」に関わるもの以外の全ての変数(項目)に関して、 正の相関関係がみられた。

「総合満足度」に対しては、「成長実感(成長感覚)」との間に弱い正の相関関係 0.49 がみられ、正の相関関係の順に「学生意欲 0.49」「教員熱意 0.43」「シラバス通り 0.32」「FB 丁寧 0.28」と続く。つまり、「総合満足度」と「成長感覚」が弱い相関関係にあることから、「総合満足度」の向上に「成長感覚」がやや影響することを示している。

次に、「成長感覚」との相関関係を順に見ていくと、「教員熱意」との間に弱い正の相関関係 0.40 がみられた。その後は弱い正の相関関係順に、「学生意欲 0.40」「シラバス通り 0.32」 「FB 丁寧 0.29」と続く。ここから、「成長感覚」の向上は教員熱意があるかどうかがやや影響していることを確認できる。

「難易度が適切か」に関しては、相関係数表に基づくと、すべての項目間で相関関係がみられない。

まとめると、「教員熱意」が学生の「成長感覚」を促し、「成長感覚」が「総合満足度」に影響を与えているという弱い相関関係が示された。保健体育系の科目を履修している学生は成長感覚に対する認識が低いものと言える。今後の授業改善において参考にすべき傾向である。

●【**全学共通科目(保健体育系)〈学生所属別〉**】相関係数表

		Q1b	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
		【ショバス通り】	【難易度適切】	【FB丁寧】	【自分意欲】	【教員熱意】	【成長感覚】	【総合満足】
Q1b	【シラバス通り】	1.000						
Q2	【難易度適切】	-0.021	1.000					
Q4	【FB丁寧】	0.294	0.006	1.000				
Q5	【自分意欲】	0.396	-0.123	0.416	1.000			
Q6	【教員熱意】	0.351	-0.029	0.438	0.476	1.000		
Q7	【成長感覚】	0.318	0.010	0.292	0.399	0.403	1.000	
Q8	【総合満足】	0.317	-0.130	0.281	0.487	0.430	0.488	1.000

まとめと結論【全学共通科目・4系分類(学生所属別)】

2025年度前期から、全学共通科目を人文系・社会系・自然系・保健体育系に分類し、各系科目に対する授業認識の相違が生じるかどうかの分析を行った。全共科目全体で動向を把握すると、どの質問項目においても上位評価が多くなる。ところが、4分類でみると全共科目全体ではみえてこなかった傾向が示された。学科の状況は、特徴的な結果を示した学科を中心に質問項目毎に本文中で言及したので、そちらを確認して頂きたい。ここでは分類単位で学生の認識を比較し特徴をまとめる。

回答者数(回答率)は人文系1,542人(44.26%)、社会系2,248人(37.67%)、自然系550人(41.67%)、保健体育系548人(48.45%)であった。回答者数は、本学の各分類の科目数の多寡も影響していると思われる。結果は以下の通りである。

- 1. 「質問に対するフィードバック」「教員の熱意」「学生の成長感覚」は全共科目全体でみると上位評価に集中する傾向にある。この傾向は4分類の科目でもみても同様であった。
- 2.4分類に共通して、他の質問項目と異なる動きが示されたのは「難易度」であった。授業の難易度については、「5とても難しかった」と「4やや難しかった」の割合合計が、人文系50.26%、社会系50.53%、自然系46.00%を示し、全共科目全体の5と4の合計46.04% (2024)

年度後期41.57%)よりも高い数値であった。つまり、人文系、社会系、自然系の科目の授業内容に対して難しいと受け止めている学生が多いということになる。これは全共科目全体でみると、2024年度後期と比べても増えている。

これに対して、保健体育系科目は5と4の合計16.06%、1と2の合計17.15%を示し、どちらも低くほぼ同じ割合であった。中位評価が多く、上位と下位評価に二分される結果となった。

人文系、社会系、自然系科目に対して難しいと認識する学生が今後さらに増えるのか、この割合が維持されるのか、保健体育系科目に対する難易度の認識と併せて注視しておく必要がありそうだ。2025年度入学生は新学習指導要領で学んだ学生であることから、それがどのように影響してくるのか経年変化をみていく必要があるだろう。

- 3. 総合満足度は、「概ね満足している(8+9+10)」の割合が相対的に高かったのは、保健体育系87.41%であった。人文系69.65%、自然系68.18%、社会系67.57%であり、20%の差が生じている。留意すべきは、4分類の結果よりも高評価となる全共科目全体の数値(70.44%)をみても、2024年度後期75.70%に比べ、総合満足度が低下している点である。保健体育系の科目は、難易度だけでなく総合満足度においても他の3分類の科目とは異なる傾向が見られた。
- 4. 相関係数からは、人文系、社会系、自然系科目において、「成長感覚」と「総合満足度」との間に強い正の相関関係が見られた。学生が成長を実感すればするほど授業に対する満足度も上がるということである。
 - 一方で、保健体育系科目では「成長感覚」と「総合満足度」には弱い正の相関関係が見られたが、他の3分類ほどの強さではなかった。保健体育系科目の「難易度」については、すべての項目間で相関関係がみられないという結果になった。上記2で、保健体育系科目は他の3分類に比べると、難易度が高いとは認識されてはいないという結果に言及したが、相関係数表からもクロス集計からもその理由はわからなかった。
- 5. 全共科目は履修する学生の所属や学年が全学科にわたるため、科目担当教員は幅広い層の学生に対応せざるを得ず、苦慮されていると思われる。それでもクロス集計から、各系の授業認識において、教員熱意が向上すればするほど学生意欲も上昇するという傾向が見られた。この点は、全共科目全体も4分類の結果も同様の傾向であった。

4分類の各質問項目の回答結果を詳細にみていくと、大きな括りでは良い結果を示していても、質問によっては極端な数値を示す学科もある。今回だけの傾向なのか、学生の学力差を反映しているのか、データを積み重ねてみる必要があるだろう。

以上